

東浦町
子育て支援に関するアンケート調査
調査結果報告書

令和6年3月

東 浦 町

目次

| | |
|---|-----|
| I 調査概要 | 1 |
| 1 調査の目的 | 1 |
| 2 調査対象 | 1 |
| 3 調査期間 | 1 |
| 4 調査方法 | 1 |
| 5 回収結果 | 1 |
| 6 報告書の見方 | 2 |
| II 調査結果 | 3 |
| 1 お住まいの地域について | 3 |
| 2 宛名のお子さんと家族の状況について | 4 |
| 3 子どもの育ちをめぐる環境について | 8 |
| 4 宛名のお子さんの保護者の就労状況について | 30 |
| 5 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について | 51 |
| 6 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について | 60 |
| 7 宛名のお子さんの土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について | 67 |
| 8 宛名のお子さんの病気の際の対応について | 72 |
| 9 宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について | 78 |
| 10 放課後の過ごし方について | 90 |
| 11 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について | 108 |
| 12 町立保育園の民営化(社会福祉法人や民間企業等に運営主体を移すこと)について | 121 |
| 13 本町の子育て支援の現状に対する満足度について | 123 |
| 14 子どもの生命と健康を守ることにについて | 126 |
| 15 子育て等に関する困りごとについて | 128 |
| 16 ご家庭の経済状況について | 130 |
| III 自由意見 | 128 |

I 調査概要

1 調査の目的

本調査は、子ども・子育て支援法(平成24年法律第65号)第61条の規定に基づく現行の「第2期東浦町子ども・子育て支援事業計画」に基づく次期第3期計画を策定するにあたって、子ども・子育て支援に関するニーズ調査を行い、本町の現状や課題を分析し、同計画策定のための基礎資料となる報告書の作成を目的とします。

2 調査対象

- ①東浦町在住の就学前児童(0～5歳)1,000人を無作為抽出
- ②東浦町在住の小学生(6～12歳)500人を無作為抽出

3 調査期間

令和6年1月29日～令和6年2月13日(調査基準日 令和5年12月1日)

4 調査方法

Web調査

5 回収結果

| | 就学前児童 | 小学生 |
|----------|-------|------|
| 配布数(件) | 1,000 | 500 |
| 有効回収数(件) | 454 | 247 |
| 有効回答率(%) | 45.4 | 49.4 |

6 報告書の見方

- 図表中の「n」は回答者数(あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人)を示しています。
- グラフ中の「%」は、小数第2位を四捨五入しているため、単数回答の設問(1つだけに○をつけるもの)であっても合計が100.0%にならない場合があります。また、複数回答の設問の場合(いくつでも○をつけるものなど)は「n」に対する各選択肢の回答者数の割合を示しています。
- 調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを網かけしています。
- 性別、年代別等で示しているグラフの「n」を合わせた数は、性別や年代等の無回答を除いた数であるため、全体の「n」と一致しません。
- 図表において、選択肢等の文字数が長い場合に簡略化している場合があります。
- 報告書内の表現で『就学前』は「就学前児童の保護者」、『小学生』は「小学生の保護者」を指しています。
- 有効回答とは、調査対象者より得られた回答から、集計に不適正な回答や無回答等を除いた回答のことです。有効回収数を調査対象者数で割ることで算出されます。

Ⅱ 調査結果

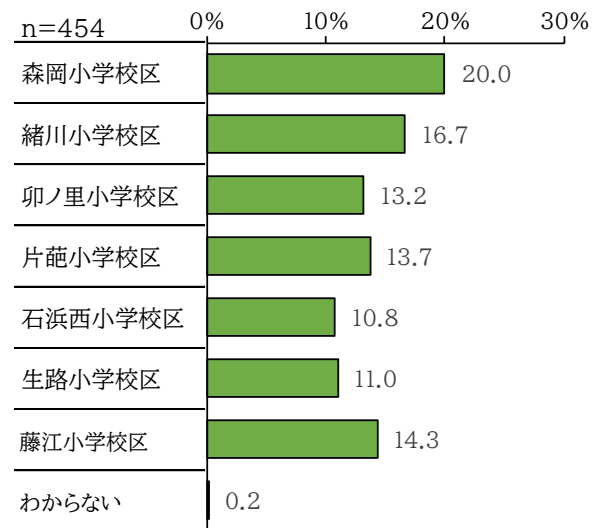
1 お住まいの地域について

問 お住まいの地区として当てはまる番号1つに○をつけてください。

【就学前:問1、小学生:問1】

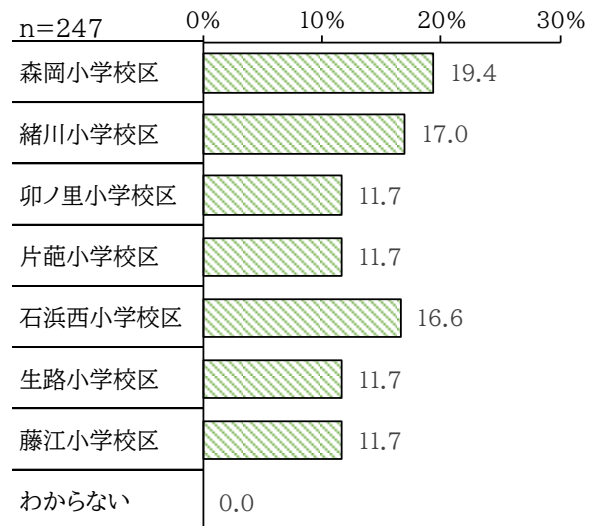
就学前

「森岡小学校区」が20.0%で最も高く、次いで「緒川小学校区」が16.7%、「藤江小学校区」が14.3%となっています。



小学生

「森岡小学校区」が19.4%で最も高く、次いで「緒川小学校区」が17.0%、「石浜西小学校区」が16.6%となっています。



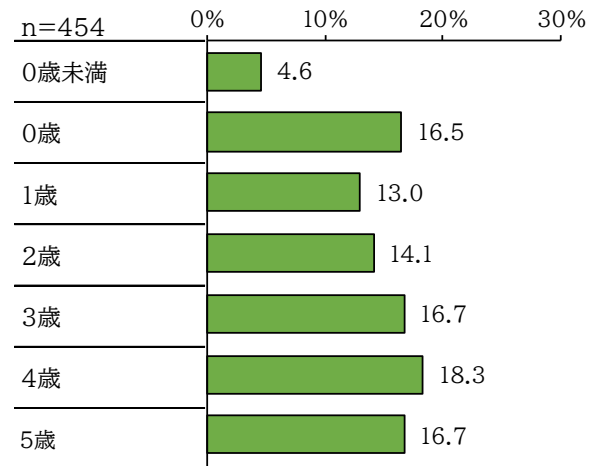
2 宛名のお子さんと家族の状況について

問 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。()内に数字でご記入ください。

【就学前:問2、小学生:問2】

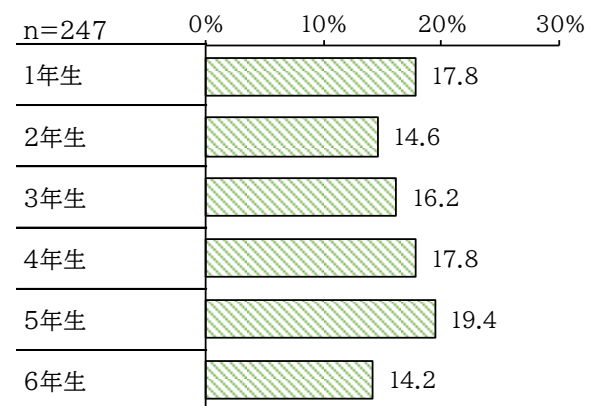
就学前

「4歳」が18.3%で最も高く、次いで「3歳」「5歳」がともに16.7%、「0歳」が16.5%となっています。



小学生

「5年生」が19.4%で最も高く、次いで「1年生」「4年生」がともに17.8%、「3年生」が16.2%となっています。



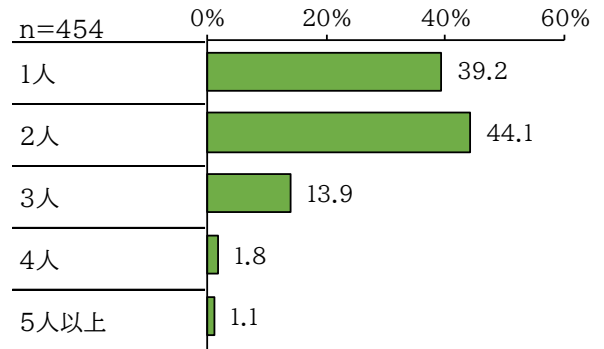
※就学前児童については、調査時点の年齢を4月1日基準の「学齢」に換算して集計しています。

問 宛名のお子さんのきょうだいは何人いますか。宛名のお子さんを含めた人数を()内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがある場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。
【就学前:問3、小学生:問3】

①きょうだい数

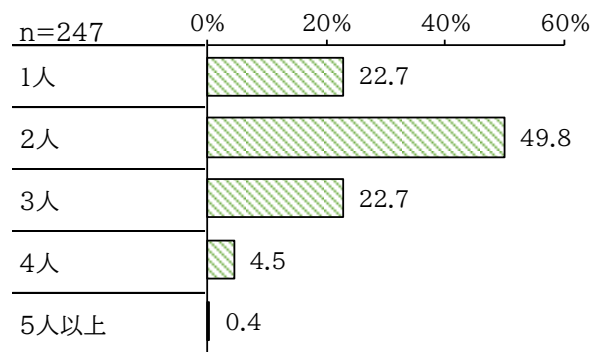
就学前

「2人」が44.1%で最も高く、次いで「1人」が39.2%、「3人」が13.9%となっています。



小学生

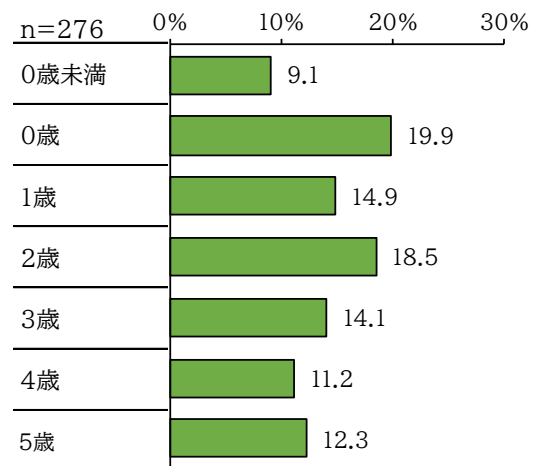
「2人」が49.8%で最も高く、次いで「1人」「3人」がともに22.7%となっています。



②末子の年齢

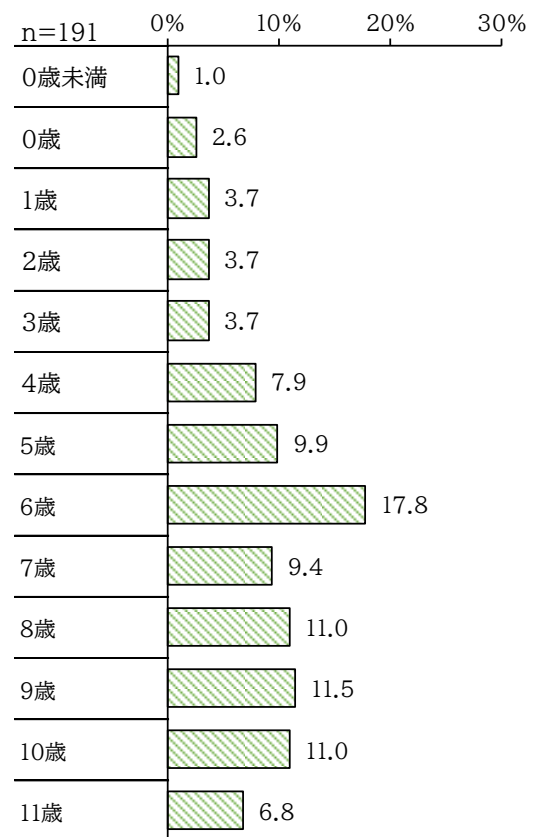
就学前

「0歳」が19.9%で最も高く、次いで「2歳」が18.5%、「1歳」が14.9%となっています。



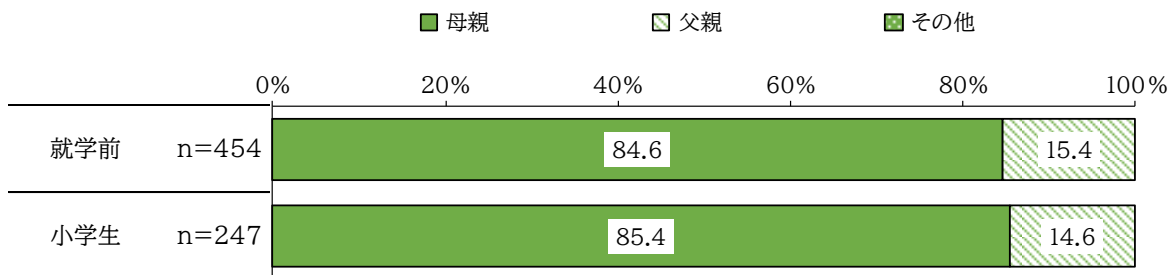
小学生

「6歳」が17.8%で最も高く、次いで「9歳」が11.5%、「8歳」「10歳」がともに11.0%となっています。



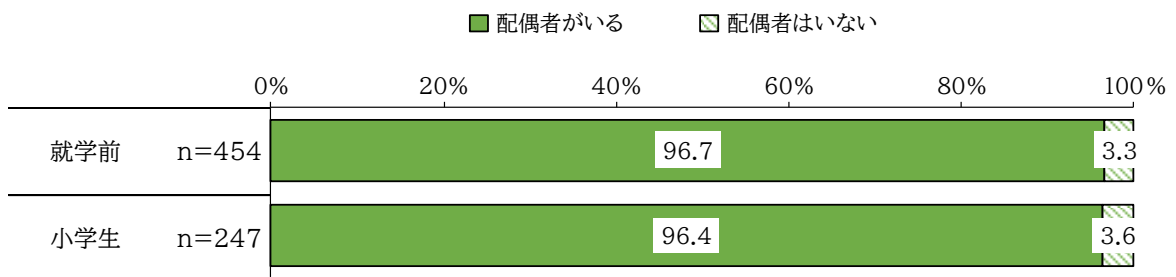
問 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。 【就学前:問4、小学生:問4】

就学前・小学生ともに、「母親」が8割を占めています。



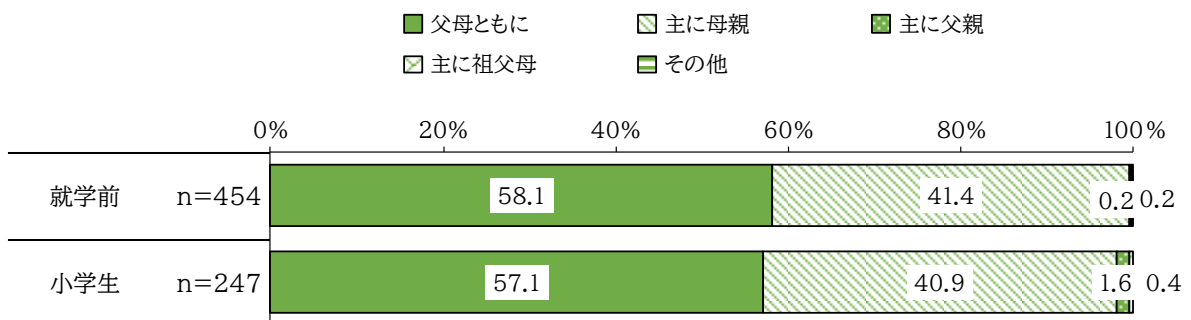
問 この調査票にご回答いただいている方の配偶者の有無をお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。 【就学前:問5、小学生:問5】

就学前・小学生ともに、「配偶者がいる」が9割を占めています。



問 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。 【就学前:問6、小学生:問6】

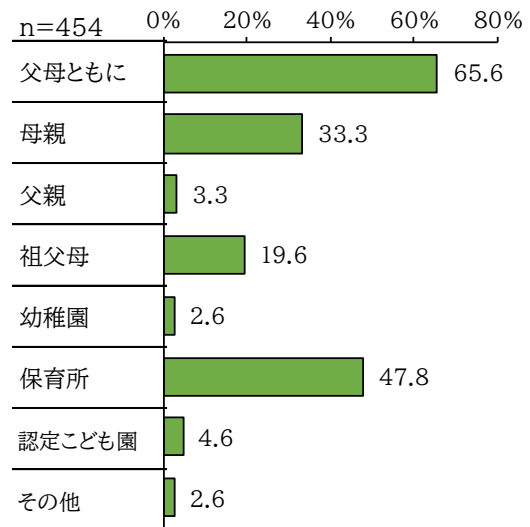
就学前・小学生ともに「父母ともに」(58.1%、57.1%)が最も高く、次いで「主に母親」(41.4%、40.9%)となっています。



3 子どもの育ちをめぐる環境について

問 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。お子さんから見た関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。【就学前:問7】

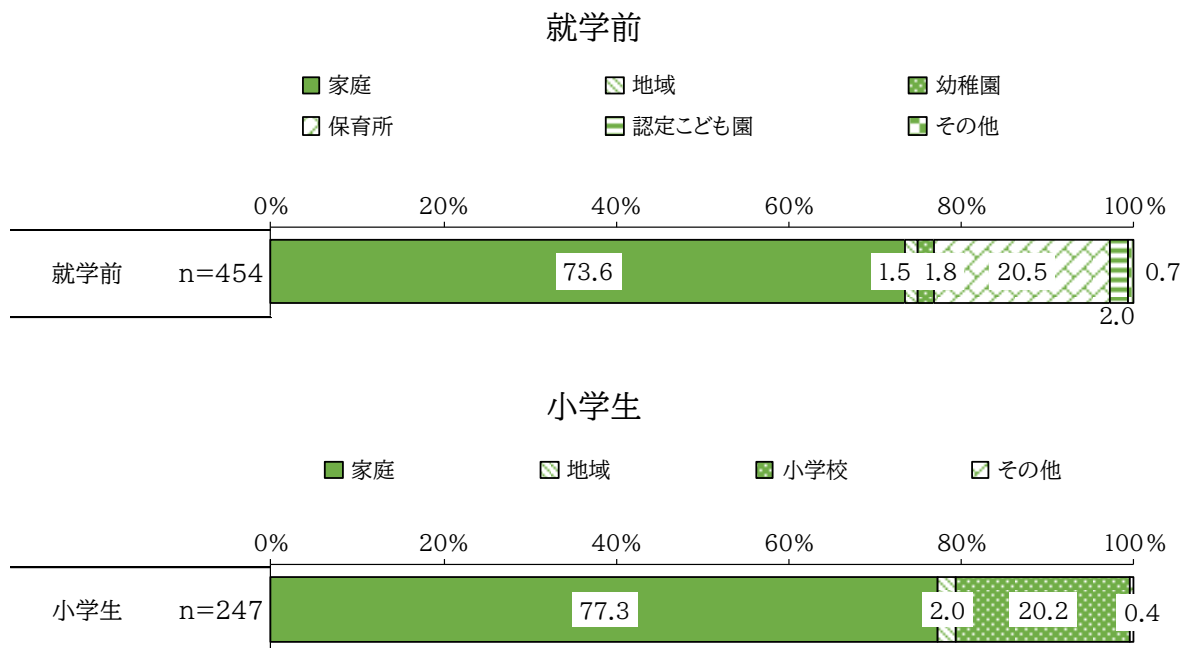
「父母ともに」が65.6%で最も高く、次いで「保育所」が47.8%、「母親」が33.3%となっています。



問 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、もっとも影響すると思われる環境についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。【就学前:問8、小学生:問7】

就学前は、「家庭」が73.6%で最も高く、次いで「保育所」が20.5%、「認定こども園」が2.0%となっています。

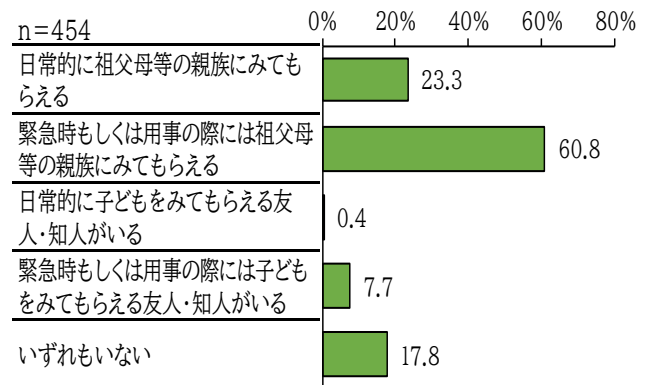
小学生は、「家庭」が77.3%で最も高く、次いで「小学校」が20.2%、「地域」が2.0%となっています。



問 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。
【就学前：問9、小学生：問8】

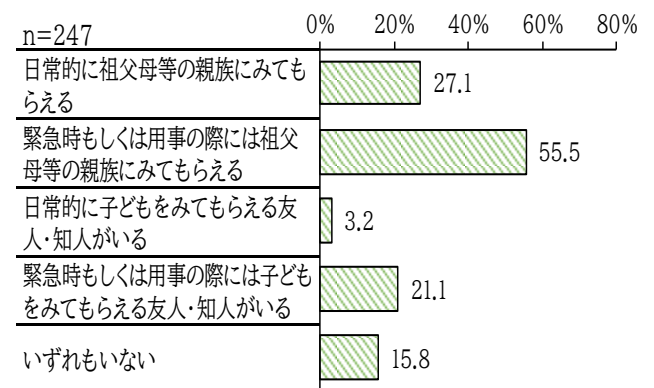
就学前

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が60.8%で最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が23.3%、「いずれもない」が17.8%となっています。



小学生

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が55.5%で最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が27.1%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が21.1%となっています。



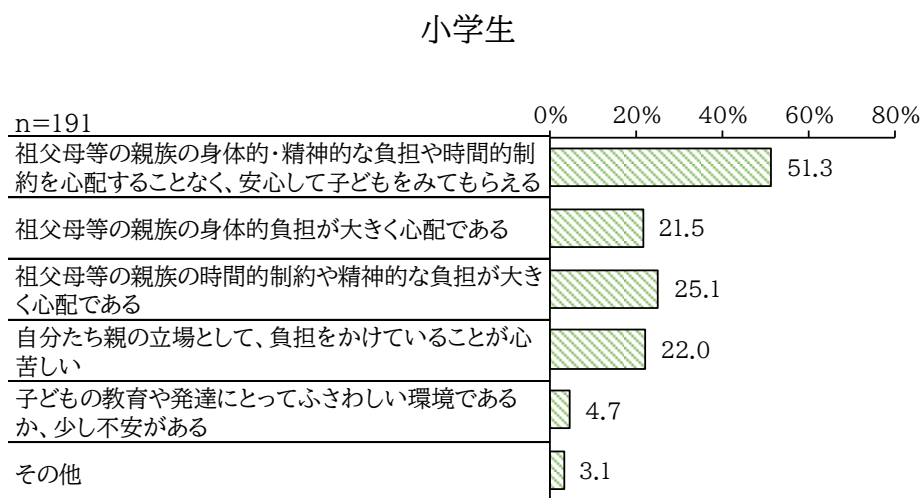
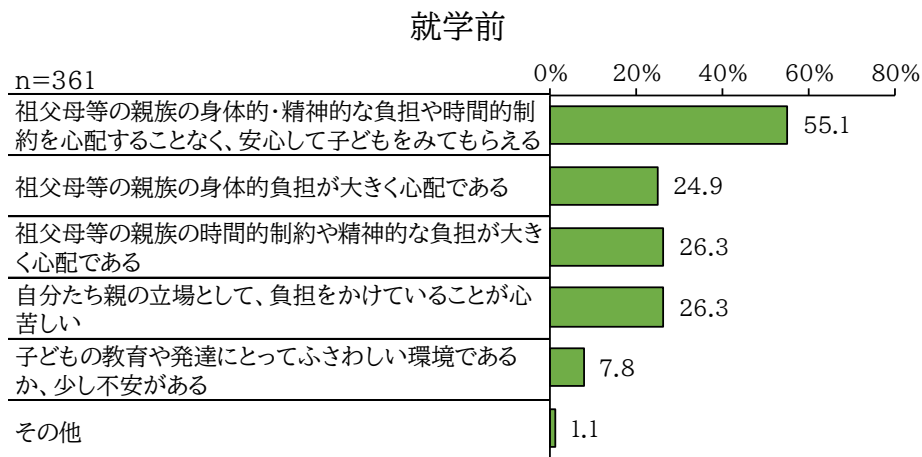
(就学前)問9で「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方うかがいます。

(小学生)問8で「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方うかがいます。

問 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。 【就学前:問9-1、小学生:問8-1】

就学前は、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が55.1%で最も高く、次いで「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」がともに26.3%、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」が24.9%となっています。

小学生は、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が51.3%で最も高く、次いで「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が25.1%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が22.0%となっています。



(就学前)問9で「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方うかがいます。

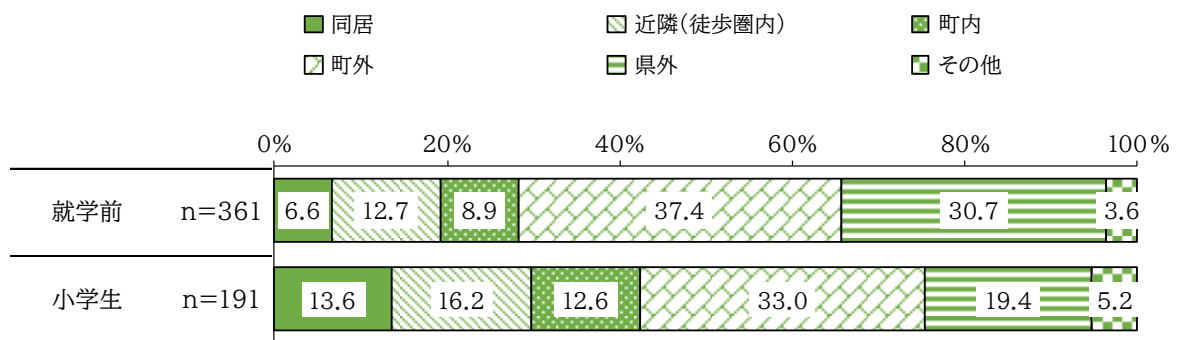
(小学生)問8で「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方うかがいます。

問 祖父母等の親族の住んでいる状況についてお答えください。当てはまる番号に○をつけてください。 【就学前:問9-1-1、小学生:問8-1-1】

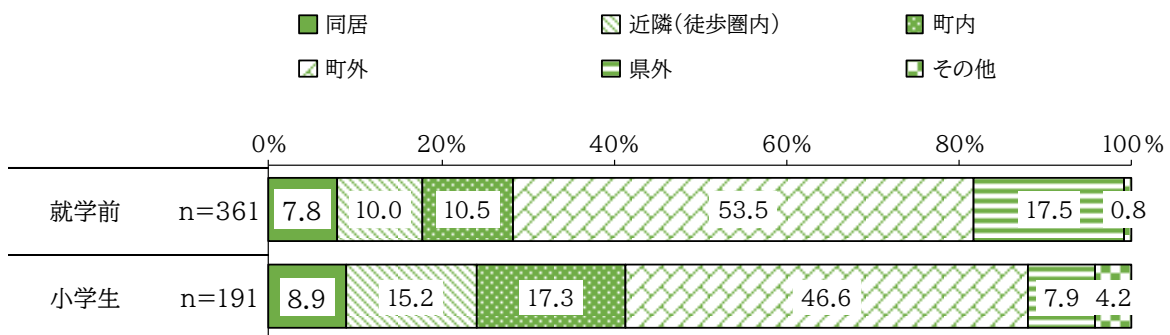
就学前は、父方では「町外」が37.4%で最も高く、次いで「県外」が30.7%、「近隣(徒歩圏内)」が12.7%となっています。母方では「町外」が53.5%で最も高く、次いで「県外」が17.5%、「町内」が10.5%となっています。

小学生は、父方では「町外」が33.0%で最も高く、次いで「県外」が19.4%、「近隣(徒歩圏内)」が16.2%となっています。母方では「町外」が46.6%が最も高く、次いで「町内」が17.3%、「近隣(徒歩圏内)」が15.2%となっています。

父方



母方



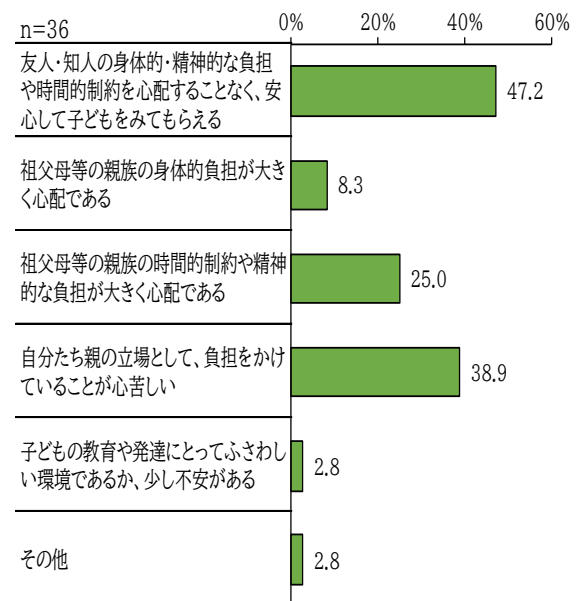
(就学前)問9で「3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方にうかがいます。

(小学生)問8で「3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方にうかがいます。

問 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。 【就学前:問9-2、小学生:問8-2】

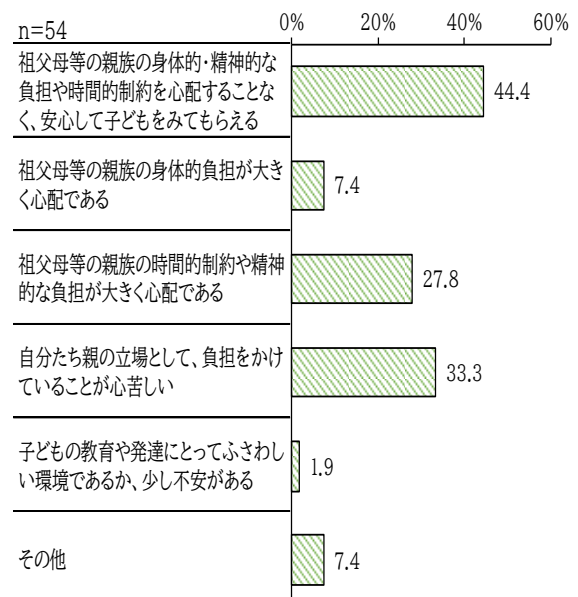
就学前

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が47.2%で最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が38.9%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が25.0%となっています。



小学生

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が44.4%で最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が33.3%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が27.8%となっています。

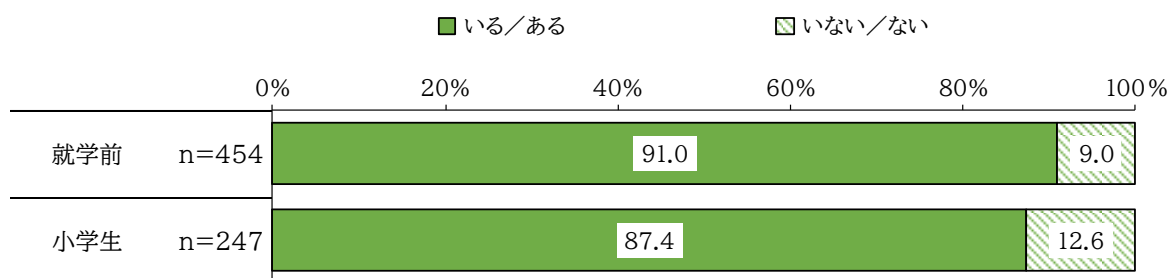


問 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人または気軽に相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

【就学前:問10、小学生:問9】

就学前は、「いる／ある」が91.0%、「いない／ない」が9.0%となっています。

小学生は、「いる／ある」が87.4%、「いない／ない」が12.6%となっています。



(就学前)問10で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

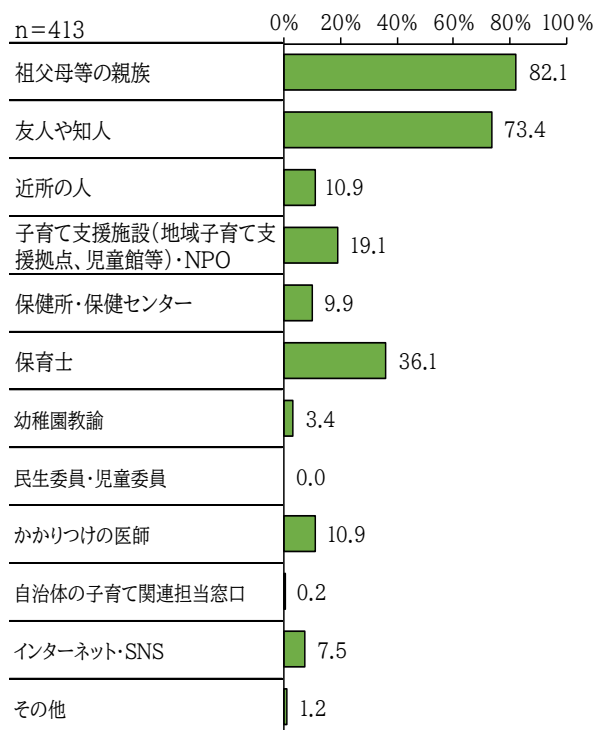
(小学生)問9で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

問 お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

【就学前:問10-1、小学生:問9-1】

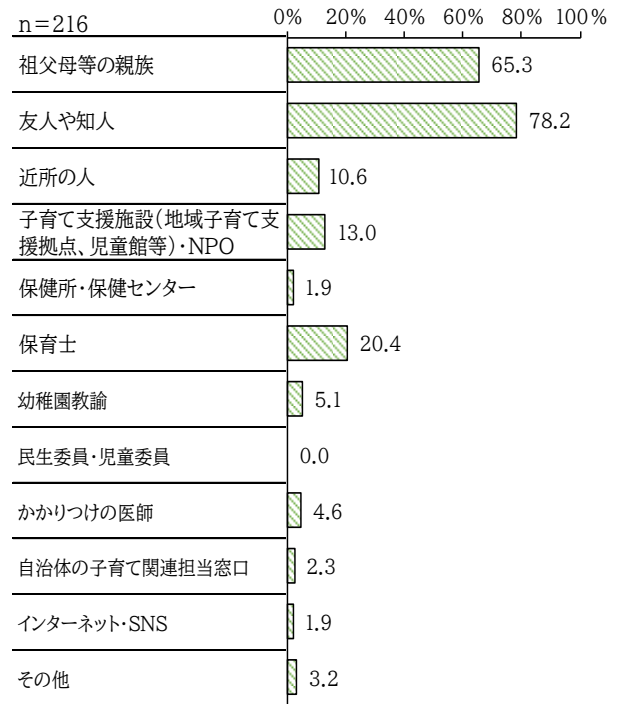
就学前

「祖父母等の親族」が82.1%で最も高く、次いで「友人や知人」が73.4%、「保育士」が36.1%となっています。



小学生

「友人や知人」が78.2%で最も高く、次いで「祖父母等の親族」が65.3%、「保育士」が20.4%となっています。



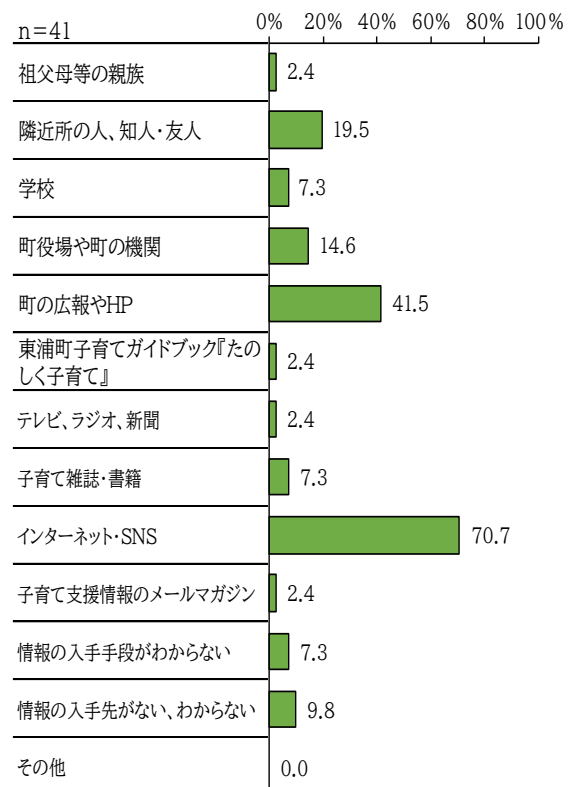
(就学前)問10で「2. いない／ない」に○をつけた方にうかがいます。

(小学生)問9で「2. いない／ない」に○をつけた方にうかがいます。

問 お子さんの子育て(教育を含む)に関して、子育て支援の情報をどこで入手していますか。また、どのような情報があるとよいですか。それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけてください。
【就学前:問10-2、小学生:問9-2】

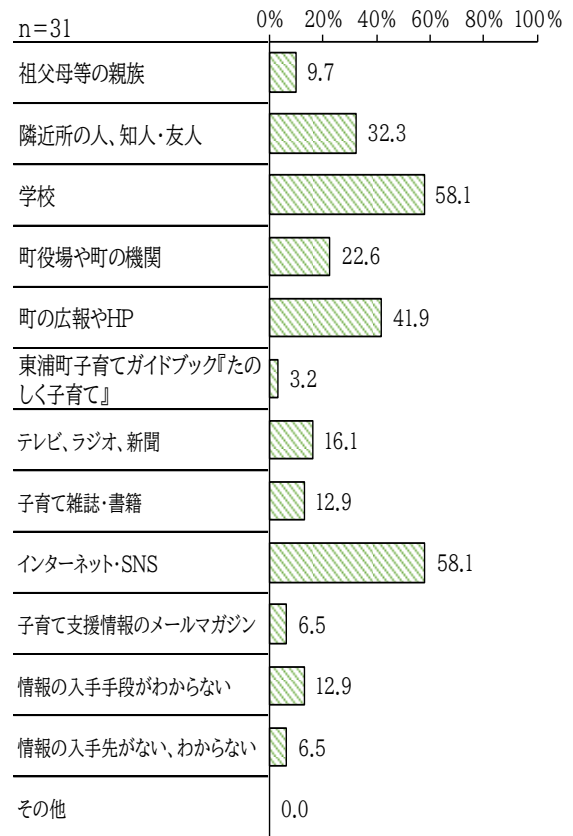
就学前【情報の入手先】

情報の入手先では「インターネット・SNS」が70.7%で最も高く、次いで「町の広報やHP」が41.5%、「隣近所の人、知人・友人」が19.5%となっています。



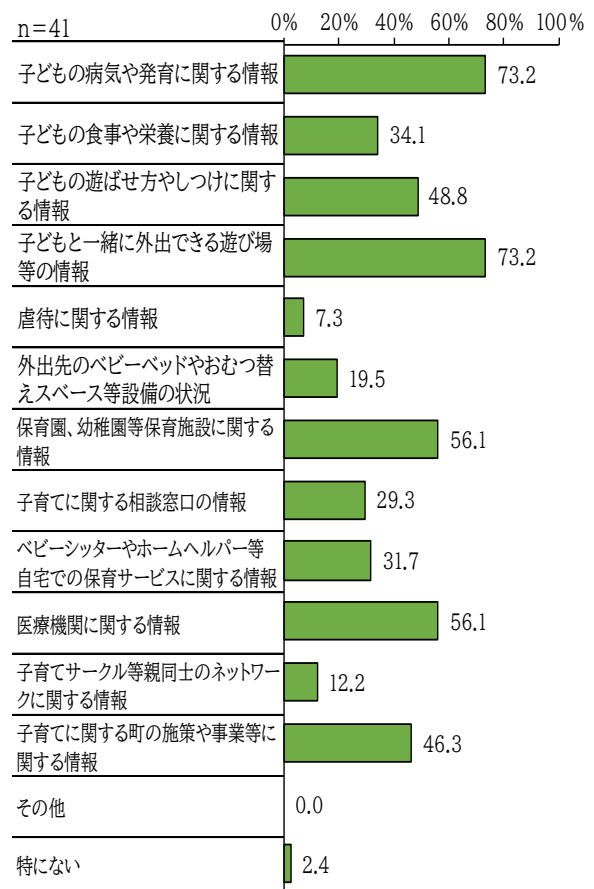
小学生【情報の入手先】

情報の入手先では「学校」「インターネット・SNS」がともに58.1%で最も高く、次いで「町の広報やHP」が41.9%、「隣近所の人、知人・友人」が32.3%となっています。



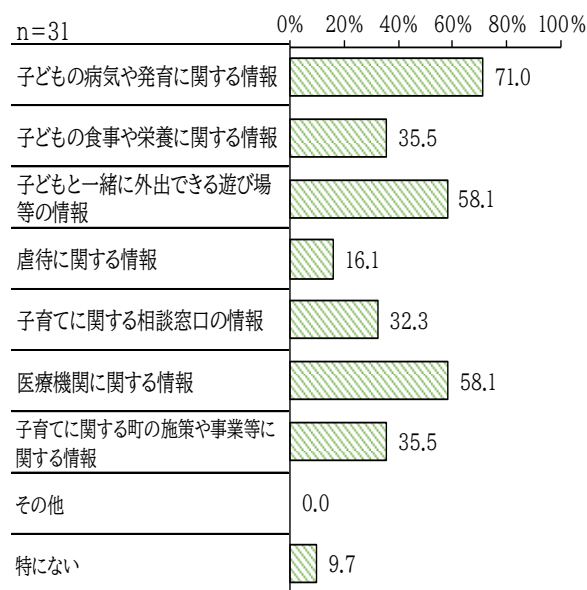
就学前【必要な情報】

必要な情報では「子どもの病気や発育に関する情報」「子どもと一緒に外出できる遊び場等の情報」がともに73.2%で最も高く、次いで「保育園、幼稚園等保育施設に関する情報」「医療機関に関する情報」がともに56.1%、「子どもの遊ばせ方やしつけに関する情報」が48.8%となっています。



小学生【必要な情報】

必要な情報では「子どもの病気や発育に関する情報」が71.0%で最も高く、次いで「子どもと一緒に外出できる遊び場等の情報」「医療機関に関する情報」がともに58.1%、「子どもの食事や栄養に関する情報」「子育てに関する町の施策や事業等に関する情報」がともに35.5%となっています。



問 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

【就学前:問11、小学生:問10】

就学前

1. 保育園・幼稚園(38件)

① 保育園の入園・退園条件(4件)

- 2人目以降の出産予定で、兄弟の年齢差が2歳未満の場合の保育園の退園制度を廃止してもらいたいです。産後体を休めたいのに、1歳や2歳になる兄弟子がいては、細切れ睡眠の中、昼寝する時間もなくて体が休まりません。なので2歳差未満ならば保育できる環境にあるとの判断は、子育て支援に反すると思います。
- 2人目の育休中に1人目の子が年少未満の場合、保育園を退園させられる制度をなくしてほしい。(その制度によって生み控えをしたので)
- 育休を取った時、2歳児以下も保育所に預けられるようにしてほしい。

② 保育の質(12件)

- うちが3月生まれなので、保育園では発達にあった遊びができるといいです。同学年だけの活動だとできることが難しいこともあります。
- まずは、保育園・学校等の人員配置増。子どもは保育園や学校で過ごす時間が長いのに、その保育園や学校で人員が不足している。先生方は非常になんばってくださっていると感じる。行政がもっと動いて充実させるべきだと思う。子育てに金をかけられない自治体では困る。これが何よりの安心材料。
- 仕事があるので、平日に子どもを習い事に通わせてあげられないため、保育園で夕方に外部の英語教室や体操教室を招いてほしい。

③延長保育・預かり保育・早朝保育(11件)

- 東浦町は早朝保育が7時半からしかやっていないため朝仕事に間に合うか毎回心配。お金は払うから7時からの園を作ってほしい。また学区の保育園は18時までしかやっておらず学区外の保育園に3人通わせる必要があり小学校入学時、親子共々知り合いがおらず不安だった。学区の保育園も19時までやっていたら朝も仕事に間に合うことができた地域で差があるのは不満。
- 私自身の体調が悪い時や急用時に保育所等に簡単な手続きで直ぐに延長して預けることができると助かります。
- 仕事があるので、平日に子どもを習い事に通わせてあげられないため、保育園で夕方に外部の英語教室や体操教室を招いてほしい。仕事が休みの日の保育園の利用時間を伸ばしてほしい。朝は8時(国の決まりでは8時から無料)から、夕方は延長を申し込んでいる時間(毎月延長料金を支払っているから)まで。

④保育環境の整備(1件)

- 石浜保育園のリフォーム。全体的に老朽化しており、安全性が不安。草刈りも足りず、夏場は虫が湧く。冬は床も冷たく、靴下を脱がせないといけませんが、子どもが寒そう。子育ての町を目指すなら、他県から移住したいと思われるような突き抜けた施策をお願いしたい。高齢者や非課税世帯優遇はやめ、未来に向けた投資をしてほしい。もっと他自治体の取組を参考にしてほしい。

⑤施設数の増加希望(4件)

- 認可外保育施設を増設してほしいです。
- 働いてる人、働いていない人どんな人でも子どもを預けれる場所があると良い。(年少から小学生まで)
- リフレッシュ保育ができる園や施設がもっとたくさんほしいです。

⑥保育士等の就労環境(6件)

- 保育園の保育士が不足していると感じます。先生方は一生懸命にしてくださいますが、お休みされた時の補充がなくギリギリの人数なので大変そうです。子どもにも目が届いているのか心配です。
- 保育士をもっと増やして気軽に話せるようにしてもらいたい。現状保育士みなさん忙しそうで聞ける雰囲気がない。
- 保育士さんが皆いい人なので、継続して働いてくれる環境にしてほしい。

2. 小学校(1件)

①教育環境の整備(1件)

- のびのび楽しく勉強ができるように、設備を整えてほしい。例えば、学校のトイレや体育館を綺麗にするなど。

3. 放課後児童クラブ(学童)・放課後子ども教室(10 件)

①運営基準(9件)

- 上の子が入学の時、敷地内同居だと言う理由で学童の許可がおりませんでした。書面上では家族ですが生活を共にしてる訳では無いので他世帯です。義両親どちらも私用で留守がちのため、子どもの予定に合わせて都度留守番をお願いするのが心苦しく結局パート先をお願いして勤務時間を調整した次第です。条件に当てはまらないと突っぱねるのではなく、各々の家庭環境に耳を傾けて欲しかったです。
- 祖父母と同居でも小学校入学後、両親フルタイム勤務の場合は学童が利用できるとよい。75 歳以下の祖父母と同居だと、申込ができないので、仕事を辞めるか働き方を変えなければならない。そのまま仕事を続ける場合、祖父母に子どもをみてもらうことになる。帰宅後や夏休みなどの長期休暇のときなど、祖父母に負担をかけてしまう。
- 困ったとき簡単に利用できるサービスが身近にもっとあるといい。習い事の送迎や家事の手伝いなどを含めて。学童に入れず、思うように働けない方もいるので、名古屋市などのように小学校で預かってくれるなど預けることができる選択肢が幅広くほしい。

②活動内容の拡充(1件)

- 学童での過ごし方を充実させてほしい。宿題の時間、勉強の時間の設定をしてほしい。

4. その他の子育てサービス(71 件)

①一時保育(一時預かり)(39 件)

- いつでも気軽に育児の相談ができたり、緊急時にすぐ子どもを預かって貰えるようなサポートがあると助かります。
- 専業で2歳児と毎日過ごしています。主人は出張で不在のことが多いです。突然どうしても子どもを預かってほしい時に頼れる場所、人がなく心配をしています。個人の情報は事前登録をしておき、当日または前日など突発的に預けられるサポートがあると嬉しいです。
- 難しいとは思いますが、年に数回、無料で一時保育を利用できる制度があるといいなと思います。朝から晩まで子どもたちと一緒にいることは体力的にも精神的にも辛いときがあります。仕事をしていないお母さんは、お金の面や自分が楽をするために子どもを預けることへの抵抗もあります。どんなお母さんでも無料で預けてゆっくり休んでもいい日があると心の余裕もできていいのかなと思います。

②休日保育(5件)

- 平日と同じ保育園での祝日対応。祝日のみ他保育園に預ける手段はあるが、環境が変わり、子どもの心労となる。また、親の対応も大変。
- 日、祝日の保育や放課後クラブまたは預かってもらえる環境。放課後クラブなどでも温かい食事をとれる環境。

③病児保育(12 件)

- 子どもが病気の時に預かってもらえる場所がもう少しあるとよいと思う。今は病児保育の施設が

少なすぎる。

- 両親共に就労しているので、病児保育を活用したい。申し込みしやすい制度にしてほしい。
- 病児保育が増えてくれると嬉しい。

④ファミリー・サポート(2件)

- ファミサポのシステムがもっと浸透すると良いと思う。
- 緊急時の対応ができるシッターやファミサポが公的にあればいいなと思います。

⑤子育て支援センター(3件)

- 子育て支援センターを各地区に設置してほしい。ママ友等ご近所で付き合える人や近所に住む同じ年齢の子どもを持つ親と話せる場がほしい。
- 宛名の子を育てる中でこの一年悩んでいることがあります。定期健診では保健師さん、支援センターではスタッフさんに打ち明けるも、軽視されているような回答がいつも返ってきます。笑い話にされるようなことなら、はじめから相談なんてしませんでした。私自身の言い方によってそうさせるのか、世間一般にはその程度のことなのかとも考えました。しかしながら、子育て支援の充実をというのであれば、もう少しでも一人ひとりに寄り添うような対応をしていただきたいかったです。悩みは人それぞれだということを、理解した上で相談にのってほしいと思いました。
- 子育てに関して悩みや不安なことがある時、保健センターや支援センターでは「いつでも相談してください」と言ってくれますが、実際相談すると有耶無耶な答えしか返ってこず解決しないことが多いです。困っていることへの答えがほしくて相談しているので、分からなかったり解決しないのならなら有料でもいいので然るべき機関に繋げてほしいです。検診でもいろいろなことを聞いてくださいますが、質問や相談をしても解決することはなく、辛い話を他人に話すだけになってしまうのはしんどいです。母乳育児に関しても職員の方によって言うことがバラバラで板挟みになり戸惑ったので、町としてなるべく指導内容を一貫してくださると助かります。

⑥児童館(2件)

- 日曜日も児童館を開放してほしい。
- 夫婦共働きで習い事への送迎ができないので、幼稚園であったように、児童館でも預けている時間に、体操教室や英語教室などが利用できると嬉しいです。

⑦発達支援(障がい児)(2件)

- 健常者だけではなく、日常生活行動に支障がある、障がい者にも手厚くサポートがあればよいと思います。
- 障がい児を持つ母親でも働きやすい環境の整備。(例えば、子どもを預かってもらえる時間を現在よりも長くする、母子通園日を少なくするなど)

⑧託児所(3件)

- 緊急時や用事等でも祖父母宅に預けられない時もあるため、今は託児所(刈谷)で預かって貰う時が時折あります。東浦にも託児所が増えてほしいです。

- 上の子の送迎、行事、習い事の短時間でも置いていける託児のようなものが充実すると有り難い。
- リフレッシュの一時保育で託児をお願いしたくても、現状は1ヶ月前から予約が必要だったり、すでに満員でキャンセル待ちの状態が多くて、いざ必要な時に託児を頼めない。もっと気軽に託児をお願いできるシステム、環境がほしい。

⑨施設(屋内施設等)(3件)

- 子ども連れ向けのランチ(有料)を提供してくれる場所がほしい。
- 子育て支援センターまで距離があり気軽に行けないので地域別に子育て支援の担当の方がいる所を作るか窓口みたいな所があれば良いと思います。
- 子ども向け施設以外で小さな子どもを連れていける、少し賑やかになっても他人の迷惑を考慮して窮屈にならないお店や講座が増えると良いと思います。(飲食店や美容院や市民講座など、託児や特段の配慮がなくてもいいので、母の周りや膝の上で居させてもらえるだけでありがたいです。)子どもを預けてリフレッシュも有難い人もいますが、日常の中で子どもをつれて行動できる範囲が広がること、子育て前と同じように行動してもいく先で嫌な顔されない環境が嬉しいです。

5. 保護者の支援(77件)

①経済的支援(22件)

- 金銭的支援が1番助かります。保育園は、長期休みがない上に給食費も込みで無償化しましたが、児童クラブを活用した途端、年間 76,000 円も利用料+長期休みではお弁当の準備が必要になります。近隣地域では、もっと安い所もあります。利用補助があると嬉しいです。
- 年齢制限なく扶養控除をつけてほしい。児童手当とは別にオムツ代・ミルク代に補助をつけてほしい。(月に 5,000 円ほど補助して頂けるとありがたいです。)オムツに関しては、保育園に預ける際に布おむつ、という訳にはいかず紙おむつが必須でかかってくるので、その費用を補助してほしい。若しくは保育園正規入園(乳児含む)した子には保育園からの紙おむつ支給で家庭での保育園で使う紙おむつの負担なしなど。扶養控除とミルク、オムツ代補助に関しては本当にあると助かります。他の市町村でやっていないことを東浦町が前進して行うことによって、他市町村から人口が流れてきて、結果として人口増加や子ども溢れる街になると思います。実現に向けよろしく願います。
- 遅い時間や日祝日まで働かなくても金銭的に余裕を持ち育てられる支援。(高校、大学無償化や塾代わりになる補習、制服代の補助、学習用品の補助など)

②相談支援(21件)

- 匿名で相談できたり、オンラインなどで家から出られなくても相談できるサポートがあればいいと思う。
- 育児相談や、ちょっとした相談(保健センター電話で)をするのに来訪や電話相談や専門の人の予約枠ではなく気軽に相談が LINE 等で出来る環境があると嬉しい。子どもが泣いていたり、昼寝中に電話が難しい。
- 自治体の相談窓口(サポート体制)が整っていると嬉しいです。基本的に夫婦共働きの場合は、平

日に相談するのが難しい場合が多く、こういった相談窓口が土日祝日でもあると嬉しいです。子育てをしていて相談したいけど、土日祝日でできないことがこれまでもあったためです。

③家事代行(7件)

- 自分が体調が悪かったり、保育園に連れて行けないときに安心して代わりに手伝いをしてもらえるなど。
- 家事のサポートがあると助かります。個人的には手作りの食事を提供してほしいです。共働きのため、帰宅後は食事作りに追われ、子どもと落ち着いてコミュニケーションが取れていません。疲労もたまっているので、精神的に余裕もありません。毎日お弁当を購入したり、外食するのは栄養面での偏りが気になりますし、経済的にも負担になります。私は実家が近いので、時々母がご飯を作って持ってきてくれるのですが、それがものすごく有難いです。以前、妊娠中に切迫流産になり、東浦町の委託先からヘルパーさんが来て、自宅で食事を作りに来てくださったことがあります。非常に安価でサービスが受けられて、栄養のあるおいしいごはんが食べられたことは幸せでした。実家が離れていてサポートを受けにくい方もいると思うので、第三者から安価で手作りごはん提供は喜ばれるのではないかと思いました。
- 子育ては変わってもらえないので、家事を気軽に代わりにやってもらえるようなサポートが充実すればよいと思う。

④送迎(3件)

- ファミサポより手軽に子どもの習い事送迎を近所の方をお願いできるようなサービスがあると思います。
- 習い事への送り迎え。
- 保育園から習い事の送迎をしてもらえるとありがたい。

⑤情報提供(9件)

- 施設が長期休みの時に親が2人とも仕事で子どもを見れない時、預け先や自宅に呼べるヘルパーのような人がいるのか、どういう制度が利用できるのか知りたい。
- 子育てに関する行政支援の情報が「まとめられた」資料やわかりやすいホームページがほしい。はぐみんカードの活用方法など知らないことも多かった。また公園規模や図書館などの子育てに関する施設情報がまとめられた資料もあれば嬉しい。
- 広報ひがしうらくらいしか情報を得ることができないので、更新されたらサイトのトップの新着情報に出るようにしてほしい。(配布は不要)

⑥保護者同士の交流(4件)

- 他のママたちと交流できる場所
- 同じ年の子を持つ親同士の座談会開催。(無償託児あり、親のみで行う)
- 何かあったときに声をかけやすいよう定期的に顔を合わせる機会があればいいなと思います。

⑦(ベビー)シッター(6件)

- 両親や友人に預けるのは精神的負担が大きい。気兼ねなく、気軽に預けられる、訪問してもらえるシッターのようなサポートがほしい。ネットで簡単に予約ができて、安価だとありがたい。
- 緊急時の対応ができるシッターやファミサポが公的にあればいいなと思います。
- どうしても面倒を見ることができない時に代理で子どもを見てもらえるサービス。

⑧職場支援(復帰等)(3件)

- 復職へのサポート。
- 理想としては実両親・きょうだいの近くに住みたかった。仕事を始めようと考えた場合、夏・冬・春休みなどの長期休みの間どうしようかと考える。児童館にお弁当を持たせて通うのも心配だし負担。留守番させるのも心配。職場に連れて行くのも子どもとしては暇をもてあますだろうし仕事中心どうしても気になってしまう。かといってどのようなサポートがあればいいのか、どんなサポートなら安心して働けるのかもわからない。

⑨祖父母・友人等の支援(2件)

- 我が家は難しいですが、祖父母の支援が得られる環境があればより良い子育てができると思います。緊急時やたまに親の1人時間を確保するために預けることで、親の時間・心のゆとりも生まれます。頼る人がいない中、両親だけで子育てをしていくのはとても難しいと身をもって感じています。我が家は、このままでは子どもにしわ寄せが来てしまうと考え、母である私が社員をあきらめて家庭優先にすることにしました。祖父母が頼れる環境だったら、違う未来があったかもしれないと思います。
- 祖父母と同居のシングルマザー(ファザー)に対しての子育て支援が薄い。世帯は別と役場へ言っても玄関2つが条件や、祖父母の歳が若いとそもそも支援を受ける資格がないことに違和感。就労(祖父母が若いと)できているのはわかるが、そもそもそこを一緒に考えたらするのは理解しがたく、あまりにもハードルが高すぎる。若い祖父母目線の話聞く機会を設けてもらいたい。実際いくら同居でも、若いからこそ働いているので、自分の子が熱の時は祖父母にお願いすることは難しく、自分(母)が休むことが多いこと、＝給料が減ることも理解してほしい。私の家族はいくら同居といえど、給料はそれぞれ管理、世帯別での暮らしなので、実際負担額が大きい。さまざまな世帯の事情を踏まえた上で支援策を考えていただけたら助かります。

6. 地域環境(16件)

①遊び場・公園等の整備(6件)

- 自然の中でのびのびと遊べる環境。プレーパークが平日でもあり、近所にあるととてもいいと思います。
- 毎日数時間(もしくは週2、3回)でも、両親を含む親族以外の大人や、同年代、同じ学区の子ども達とのふれあいの場が公園であるといいのではないかと思う。(現在の出張うららのような)公園の規模関係なく所在ガイドマップ等があると、移り住む子を持つ親としては嬉しいと思う。大きい公園は、インターネットでの検索で出てきますので、地元の子が知ってるくらいの小規模な公園でも昼間は静かな分、小さいお子さんは遊びやすいと思います。

- 大型公園の最新化(新規に新しい公園の設置もだが既存の公園の遊具の最新化←古い遊具は夏の太陽の日差しでの火傷が心配だったり、錆びた遊具での怪我が心配)

②歩道等の整備(2件)

- 歩道と車道の境界線がない。ガードレールがない。ミラーがない。高齢者が多く、いつ子どもが交通事故に巻き込まれるか不安な毎日。
- 人から何かしてもらおう、というより子どもを育てるにあたって地域の施設が今後より改善されるといいと思います。道路だけでなく歩道や自転車道の整備、バリアフリー(高齢者のためにも)、無料で室内で遊べる場所の無料化、トイレや授乳室、オムツ替えコーナーなどの充実、エレベーターの設置

③地域での交流、見守り(8件)

- 犯罪から守ってもらえるような地域であると安心です。(登下校時の見守り隊のような)
- 地域の子も達で集まって遊べる行事があると良い。ドッチボール、バスケ、サッカーなど。
- 見守り。交通事故防止のためや犯罪に巻き込まれないよう地域全体で子育て協力など支え合える環境があると安心感も増し心強いです。

7. 学びの環境(4件)

①習い事(4件)

- 仕事が不定休のためなかなか習い事ができない。他の市が取り入れているような曜日固定でない習い事や保育園などでも英語やそろばん、体操などの習い事ができる時間を設けてくれると有難い。
- 近場に多種多様な習い事がある環境。
- 習い事へ行くことができない子どもへのサポート。

8. 医療・保健(2件)

①医療等の充実(1件)

- 町内のウェブ診療。

②健診・訪問等の充実(1件)

- 定期的な身体計測を含む栄養指導など。

9. その他(17件)

①町職員・専門職の対応(6件)

- 口では共働き世代に対応と言っているがそれらは上澄みだけで、大抵のそれも重要な支援ほど土台が専業主婦がいる前提となっている。特に行政。何に困っていて何が問題の原因にあるか勉強してほしい。希望サポート以前の問題。
- 障がいのある子どもです。行政の方には、こちらから伺う前に、該当するサービスや支援を教えて

いただけると嬉しいです。現在主にお世話になっている障がい支援課の職員さんには、そういった点ではとても親身に対応していただいでいて、大変感謝しております。

- 子どもはもちろんのこと、父母にも親身に寄り添って物事を考えてくれる担当者。

②その他(11件)

- 母親が全てを行なっている、行わなければならない。という環境、思い込みを撤廃。イクメンなどという言葉の撤廃。出産の痛み、つわりの痛みの体験をお父さんだけではなく、祖父母、企業に勤める男性陣、その他希望する皆さんへ押し進める。
- 長男である娘のお兄ちゃんが障がい者だから健常者との子育ては全く違って、あれがどれやと、これがあれやと苦戦する日々でどうしても比べてしまう事がある。他ごとを考えられる余裕などない。
- 現状で良いと思う。

小学生

1. 小学校(8件)

①教育の質(5件)

- 夏休みや冬休みでやっている算数教室を、他の小学校でもやってほしい。学年が上がるにつれて、算数に対する嫌悪感が強くなり、先生以外でも教えてくれる機会があれば、大変助かります。
- 小学校で部活がなくなり、今後中学でも昔のような部活動がなくなると子どもにとって、新しいことを始めるチャンス、経験できるチャンスがなくなってしまうように感じます。吹奏楽や合唱などは他で習うことも難しいかと思うので、何とかこれまで通りか、それに近い種類の部活動に当たるような課外活動を維持して頂ければと思います。
- 中学校における通常級と支援級のあいだのクラスができれば良いなと思います。いわゆるグレーの子達が集まるクラス。可能なら教員配置も通常級より手厚く。

②教育の質(1件)

- 学校環境の整備。

③教師等の就労環境(2件)

- 身近なサポートという点で学校の教職員の方々には欠かせない存在かと思いますが、傍から見るに仕事量がオーバーフローしています。国に対して進言したい話になりますが、もっと教職員の給料を増額または増員すべきだと思います。教職員の方々には、無償の愛で他人の子どもを教育だとか、地方公務員だからしょうがない、とか世間のくだらない性善説、成長を見れる喜び、等々で日々奮闘して頂いておるかと思いますが、もう限界値に見えます。まずは教職員の方々の環境を整えてあげてほしいです。教職員の方の体が空けば、それは自ずと子ども達にとってプラスなことへ転用するでしょうし、保護者にとっても大きいサポート力になると思います。
- 自分の立場やことばかりを考えない教師が増えればいい。家庭以外に関わる大人は教師なので。

2. 放課後児童クラブ(学童)・放課後子ども教室(12件)

①運営基準(10件)

- 学童保育の充実。親が就労しているため、高学年でも気楽に通える仕組みになるとありがたい。
- 夏休みなど長期休暇の際の、学童の弁当について1週間でもいいのでお弁当が手配できるなどあったらいいと感じる。保冷剤をたくさん入れた弁当を持たせて行かせるのも辛い、毎日必ず弁当を持たせないと行けないというプレッシャーが辛い。
- 早くトワイライト作ってください。同居して家にも働いてない理由だけで学童に入れない。共働きだから結局実家に頼らざるをえない。同居してるから子どもの面倒みてくれるとは限らない。

②活動内容の拡充(2件)

- 児童クラブや学童クラブで、体操、そろばん、習字、プログラミングのような習い事を有償で行ってほしい。
- 有料で良いので、アフタースクールのような学校後に学校で、英語や運動など学べる環境がほしい。

3. その他の子育てサービス(26件)

①一時預かり(5件)

- 年齢や同居の親族の有無などの制限を撤廃して、仕事など有事のときに預けられる場所がほしい。
- 感染症がまだ続いている今、学級閉鎖の時など無料で預かってくれる場所があると大変助かるなど思います。そういう時に頼れる親族、知人は誰も居ないので、本人は元気なのに預け先がなくて仕事に行けなくなり毎日がドキドキです。
- 緊急時(仕事の帰りが遅くなる等)に子どもを預けられる(見てもらえる)体制。

②休日預かり(3件)

- 長期休みや祝日など、親は仕事だが学校が休みである日が多く、預かりをしてほしい。
- 両親共に共働きです。さまざまな職種がある中、自分たちは学校と同じように土日祝が休みではない仕事であるため、児童クラブだけではなく、町や民間などの低小学生くらいの児童を預かってくれる場があると非常に助かります。
- 休みの日に小学生、保育園児、未満児をまとめて預かってくれる場所

③病児預かり(5件)

- 病気になった時にサポートしてもらえるとところ。
- 子どもが病気した時に、仕事などで家で見れない場合預けられる場所がほしいです。小学生だと預けられる場所がないので、1人にして置くわけにはいかないと、コロナやインフルエンザで長く休まなきゃいけないと、親も休まなきゃいけないので預けられてケアしてもらえる場所があるととてもありがたいです。

④子育て支援センター(1件)

- 娘が小さかった頃は近くに祖父母も頼れる友人もいませんでしたが、子育て支援センター「うららん」と「ファミリーサポートセンター」に助けられて子育てしました。職員さんが頼れる友人がわりになってくれました。

⑤児童館(3件)

- 職員の人数もあると思いますが児童館へ行けるようにしてほしい。児童クラブへ入れないと仕事へ行きづらいです。午前中は行けても昼食に帰らないと行けないので困る。
- 仕事から帰ると、七時を過ぎてしまう。児童館や、学校で習い事ができるとありがたい。また、お弁当サービスがあると良い。
- 学校へ行けなかった子を、児童館の先生が温かく受け入れてくださいました。親子共々、話を聞いてもらえる安心できる居場所となり、こどもは少しずつ学校へ行けるようになってきました。居場所の選択肢が増えるといいと思います。

⑥発達支援(障がい児)(3件)

- 子どもは重度障がい児という特殊な状況なので、さまざまな福祉サービスでサポートを受けられています。
- 兄弟に特別支援学級に通っている子がいます。東浦ではそういう子を対象としたサポート(その子が生きて行くための学び)がほぼない状態です。行政などからも子育てに参考出来るようなイベント(発達障がい児や知的障がい)などが無い状態。そういう子を育てる親は不安や孤独の中で子育て生活しています。近年、発達障がい児などが増えてる事を考えるとそういう子供達を対象とした何らかのサポートなどがあれば嬉しく思います。
- 発達障がいやグレーゾーンの子(日常生活や学校生活は問題なく送れる)の高校進学や就職、就職後のサポートがあるとよいと思う。小さい子へのサポートは現在もあると思うので。

⑦施設(屋内施設等)(3件)

- 子どもを気軽に預けられる場。(支援センターが商業施設の中にあり、買い物の間子どもを預けられるというような市町村の取組を見たことがあります。)
- 緒川東仙台には児童館がなく、子ども達が遊べる場所がありません。また、図書館も遠く行きづらいので、そのような施設があると嬉しいです。
- 緊急時などに預かってもらえる制度や施設があるのかもしれないが、具体的な内容などを知らず利用したことがない。高学年も小学校や近隣地域のの体育館などで、土日などに気軽に集まって体を動かしたり遊んだり楽しめるような時間があるといいなと思う。

⑧その他(PTA等)(3件)

- 児童クラブではない子が急用時に学校から帰宅せずに児童館に直接向かい、利用できるようなシステムがあると嬉しいです。
- 子ども会、コミュニティ、下校サポートや、PTA など、親(母親)に負担がかかる役が多いので、業者へ外部委託するなど、なるべく子育て世代の負担を減らしてほしい。

- 今は共働きが多いので、PTA や婦人会などもう少し活動量を少なくすることはできませんか？そういう集まりなどに小さい子を連れて行ってもいいようにしてもらいたいです。

4. 保護者の支援(32 件)

①経済的支援(8件)

- ランドセルや指定服の無償化。
- 給食費を無料にしてもらえたらありがたい。
- 我が家は核家族のため、行政のサポートは必須です。末子を里帰りせずこちらで出産後、産後ヘルパーにお世話になりました。非常に料金も安く利用できたため、とても有り難かったです。産後だけではなく、子どもに手がかからなくなるくらいまでお安く利用出来れば尚、有難いなと感じました。

②相談支援(14 件)

- 何かあったときに、すぐ対応してくれる人。勉強など教えてくれる方。相談に気軽に応じてくれるサービス。
- どこに相談すればよいかわからない場合があるので、総合窓口のようなものがあると良い。総合窓口で、相談内容に応じて振り分けてくれると良い。ファミサポのシステムがもっと浸透すると良いと思う。
- 出向く必要のないチャットなどでフランクに相談できる場所があると良い。悩みごとのコラムなどがあると参考になる。

③送迎(4件)

- 習い事の送迎。
- 学校からの早退時、習い事の送迎等が気軽に頼めるサポートがあると助かります。
- 共働きであり、夜の学童へのお迎えや、休日のサポートが気軽に受けられると嬉しい。

④情報提供(4件)

- 地域の習い事などの情報を一覧で教えてもらえると助かります。
- サポートよりも学校や役場からの適切な情報発信。部活動がなくなることなど中学校と小学校の連携がまわりの市町に比べ明らかに悪い。
- 子育てに関する情報提供。

⑤祖父母・友人等の支援(2件)

- 特に妻の親と妻の関係性が良くないと祖父母から支援してもらいにくいいため、良好な関係をつくる。
- 子どもが小さいうちは特に祖父母のサポートが受けれる人と受けれない人の差は大きいと思う。気兼ねなく頼れるという点においても。祖父母に頼れない人が受けれるサービスとかあったらよいと思う。

5. 地域環境(7件)

①イベント(3件)

- 何に興味を持てるのか、それを知るためのさまざまな教室やイベントの開催。(現状は毎年同じようなことで、新しいなと思うものがないと感じる)
- 子ども達にいろんな物を体験させてあげたい。於大公園で音楽イベント 楽器体験、於大公園でスポーツ体験イベント、国際交流と多様な文化を知るためのイベント(音楽・食べ物など)、犬・猫の譲渡会(命を考える)
- 友人と誘いあって参加できるようなお祭りやイベントの開催。(オンラインゲーム等の発達により外で友人と遊ぶ機会が少ないため、子が自分でお金を使う機会が少ない)

②地域での交流、見守り(4件)

- 子育て困りごとあるある情報交換。(悩んでいる、つらいのは自分だけではないと思えるようなもの。)
- 登下校(特に下校)の見守り、子ども達が外遊びをする場所の見守り。
- 集会所に平日だけいつも保護者というか住宅内の大人がいる状態で開放して、住宅内の子どもなら自由にに入れるようにしてもらえるといいのかも。9時~17時までとか時間を決めて。住宅内の大人で午前・午後、日にちも交代で集会所にいるようにするとか。

6. 学びの環境(3件)

①習い事(1件)

- 習い事のたくさん選択肢がほしい。(行政が積極的に招致・援助・推進、子どもの居場所作りにもなる)

②学習支援(2件)

- 学校以外にも学べる公共の場が徒歩圏内にあれば良いと思う。
- カリキュラムの割に学校での勉強する時間が少ないように感じるなので、そのサポートするシステムがあると良い。

7. 医療・保健(2件)

①健診・訪問等の充実(2件)

- 定期的な健診も、3歳児より長くまであれば相談しやすい環境に繋がるのにと感じたことはありません。
- 発達障がいの検査を気軽に受けたい。

8. その他(17件)

①町職員・専門職の対応(1件)

- 役場の学校教育課の相談員さんにはいつも大変お世話になっています。こちらでいただけるサポートは大変役に立っていますのでずっと継続してほしいです。

②不登校児への支援(2件)

- 不登校など、学校へ行くのが難しい子たちが、気軽に行ける居場所。
- 学習についてのつまずきや不登校・登校しぶりについて、発達の特門家からの意見を聞ける機会があるとよいと思う。

③いじめ・暴力について(1件)

- 学校内での暴力、いじめ加害者を隔離できる環境。

④その他(13件)

- 個性を尊重する体制が整うこと。
- 本音とたてまえがなく、純粋に、サポートしたい、協力したいと思っている方にサポートしていただけたら良いと思います。
- 「具体的な何か」がしてほしいことは稀にしかなく、温かく見守ってほしいです。行政等も何かあればいつでも頼れるという気持ちになれるような体制があるだけでいいと思います。金銭的なことに関してはいつでもサポートがあるに越したことはありません。

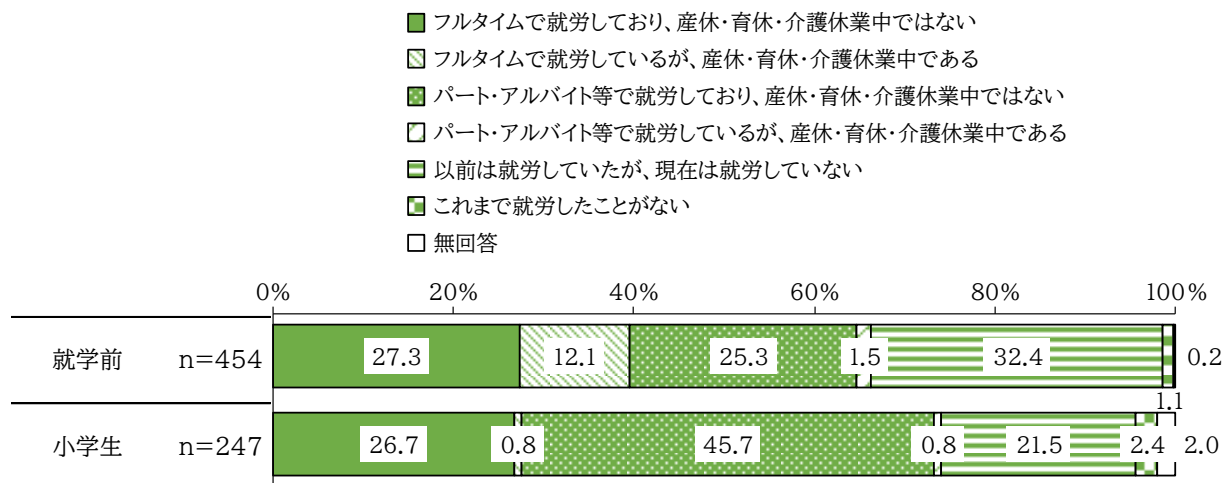
4 宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。
【就学前:問12(1)(2)、小学生:問11(1)(2)】

(1)母親【父子家庭の場合は記入は不要です】の当てはまる番号1つに○をつけてください。

就学前では、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が32.4%で最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が27.3%、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が25.3%となっています。

小学生では、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が45.7%で最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が26.7%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が21.5%となっています。



就学前(母親)

子どもの年齢別でみると、他に比べ、1歳で「以前は就労していたが、現在は就労していない」(50.8%)、3歳で「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労《育児のための短時間勤務含む》)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(38.2%)、4歳と5歳で「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(38.6%、42.1%)の割合が高くなっています。

単位:%

| 区分 | 有効回答数(件) | 業中での短時間勤務(1週5日程度)の割合 | フルタイム(1週5日程度)の割合 | パート・アルバイト等の割合 | パート・アルバイト等以外の割合 | 以前は就労していたが、現在は就労していない | これまで就労したことがない | 無回答 |
|----|----------|----------------------|------------------|---------------|-----------------|-----------------------|---------------|-----|
| 0歳 | 96 | 19.8 | 31.3 | 7.3 | 4.2 | 36.5 | 1.0 | - |
| 1歳 | 59 | 23.7 | 6.8 | 16.9 | - | 50.8 | 1.7 | - |
| 2歳 | 64 | 29.7 | 4.7 | 25.0 | - | 37.5 | 1.6 | 1.6 |
| 3歳 | 76 | 38.2 | 11.8 | 23.7 | - | 26.3 | - | - |
| 4歳 | 83 | 24.1 | 8.4 | 38.6 | 2.4 | 24.1 | 2.4 | - |
| 5歳 | 76 | 30.3 | 2.6 | 42.1 | 1.3 | 23.7 | - | - |

子育てを主に行っている人別でみると、他に比べ、父母ともに「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労《育児のための短時間勤務含む》)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(34.1%)の割合が高くなっています。

単位:%

| 区分 | 有効回答数(件) | 業中での短時間勤務(1週5日程度)の割合 | フルタイム(1週5日程度)の割合 | パート・アルバイト等の割合 | パート・アルバイト等以外の割合 | 以前は就労していたが、現在は就労していない | これまで就労したことがない | 無回答 |
|-------|----------|----------------------|------------------|---------------|-----------------|-----------------------|---------------|-----|
| 父母ともに | 264 | 34.1 | 13.3 | 23.9 | 1.5 | 26.5 | 0.4 | 0.4 |
| 主に母親 | 188 | 17.6 | 10.6 | 27.7 | 1.6 | 40.4 | 2.1 | - |
| 主に父親 | 1 | - | - | - | - | 100.0 | - | - |
| 主に祖父母 | 1 | 100.0 | - | - | - | - | - | - |
| その他 | - | - | - | - | - | - | - | - |

子どもをみてもらえる親族・知人の有無別でみると、他に比べ、緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいるで「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(40.0%)の割合が高くなっています。

単位:%

| 区分 | 有効回答数(件) | 業しめ日フル 中での8時間 はな、間程 い産勤度(1 ・含就週 育む(≒日 ・)育程 介で児度 護就の・ 休労た1 | 業て日フル 中いる8時 であが間 ある産度(1 ・就週 育休)日 ・で程 介就度 護労・ 休し1 | 中てタパ でおイト はな、ル・ い産以ア 休外ル ・のバ 育就イ 休労ト ・)等 介で(≒ 護就一 休労フ 業しル | 業てタパ 中いるムト であが、以 ある産外ル ・就イ 育休)等 ・で(≒ 介就一 護労フ 休しル | 就以前は 就労してい ないが、現 在は | これまで 就労したこ とがない | 無 回 答 |
|-------------------------------------|----------|--|---|---|---|------------------------------|-----------------------|-------------|
| 日常的に祖父母等の親族にみても らえる | 106 | 28.3 | 14.2 | 24.5 | 1.9 | 28.3 | 2.8 | - |
| 緊急時もしくは用事の際には祖父 母等の親族にみてもらえる | 276 | 25.7 | 11.6 | 24.6 | 2.2 | 35.5 | - | 0.4 |
| 日常的に子どもをみてもらえる友 人・知人がいる | 2 | - | - | 50.0 | - | 50.0 | - | - |
| 緊急時もしくは用事の際には子ど もをみてもらえる友人・知人がいる | 35 | 22.9 | 2.9 | 40.0 | - | 34.3 | - | - |
| いずれもない | 81 | 29.6 | 14.8 | 27.2 | - | 25.9 | 2.5 | - |

小学生(母親)

子どもの年齢別でみると、すべての年齢で「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が高くなっています。

単位:%

| 区分 | 有効回答数(件) | 業しめ日フル 中での8時間 はな、間程 い産勤度(1 ・含就週 育む(≒日 ・)育程 介で児度 護就の・ 休労た1 | 業て日フル 中いる8時 であが間 ある産度(1 ・就週 育休)日 ・で程 介就度 護労・ 休し1 | 中てタパ でおイト はな、ル・ い産以ア 休外ル ・のバ 育就イ 休労ト ・)等 介で(≒ 護就一 休労フ 業しル | 業てタパ 中いるムト であが、以 ある産外ル ・就イ 育休)等 ・で(≒ 介就一 護労フ 休しル | 就以前は 就労してい ないが、現 在は | これまで 就労したこ とがない | 無 回 答 |
|-----|----------|--|---|---|---|------------------------------|-----------------------|-------------|
| 1年生 | 44 | 20.5 | 4.5 | 43.2 | - | 27.3 | - | 4.5 |
| 2年生 | 36 | 33.3 | - | 41.7 | 2.8 | 19.4 | 2.8 | - |
| 3年生 | 40 | 17.5 | - | 45.0 | - | 32.5 | 2.5 | 2.5 |
| 4年生 | 44 | 27.3 | - | 50.0 | - | 18.2 | 2.3 | 2.3 |
| 5年生 | 48 | 31.3 | - | 50.0 | 2.1 | 12.5 | 4.2 | - |
| 6年生 | 35 | 31.4 | - | 42.9 | - | 20.0 | 2.9 | 2.9 |

子育てを主に行っている人別でみると、他に比べ、父母ともに「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労《育児のための短時間勤務含む》)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(32.6%)の割合が高くなっています。

単位:%

| 区分 | 有効回答数(件) | 業しめ日フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労含む)で就労している | 業て日フルタイム(1週5日程度)で就労している | 中てタパでおイーはリムト・ない産休・育休・介護休業している | 業てタパ中いイーでるムト・あがー・アル・就労している | 就以前は就労していたが、現在は | これまで就労したことがない | 無回答 |
|-------|----------|---------------------------------------|-------------------------|-------------------------------|----------------------------|-----------------|---------------|-------|
| 父母ともに | 141 | 32.6 | 0.7 | 46.8 | - | 16.3 | 2.8 | 0.7 |
| 主に母親 | 101 | 19.8 | 1.0 | 45.5 | 2.0 | 29.7 | 2.0 | - |
| 主に父親 | 4 | - | - | - | - | - | - | 100.0 |
| 主に祖父母 | 1 | - | - | 100.0 | - | - | - | - |
| その他 | - | - | - | - | - | - | - | - |

子どもをみてもらえる親族・知人の有無別でみると、他に比べ、緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいるで「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(51.9%)の割合が高くなっています。

単位:%

| 区分 | 有効回答数(件) | 業しめ日フルタイム(1週5日程度)で就労している | 業て日フルタイム(1週5日程度)で就労している | 中てタパでおイーはリムト・ない産休・育休・介護休業している | 業てタパ中いイーでるムト・あがー・アル・就労している | 就以前は就労していたが、現在は | これまで就労したことがない | 無回答 |
|---------------------------------|----------|--------------------------|-------------------------|-------------------------------|----------------------------|-----------------|---------------|-----|
| 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | 67 | 29.9 | - | 49.3 | 1.5 | 17.9 | - | 1.5 |
| 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | 137 | 24.8 | 0.7 | 43.8 | 0.7 | 26.3 | 2.2 | 1.5 |
| 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | 8 | 12.5 | - | 50.0 | - | 37.5 | - | - |
| 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | 52 | 21.2 | 1.9 | 51.9 | 1.9 | 17.3 | 1.9 | 3.8 |
| いずれもない | 39 | 33.3 | - | 46.2 | - | 15.4 | 5.1 | - |

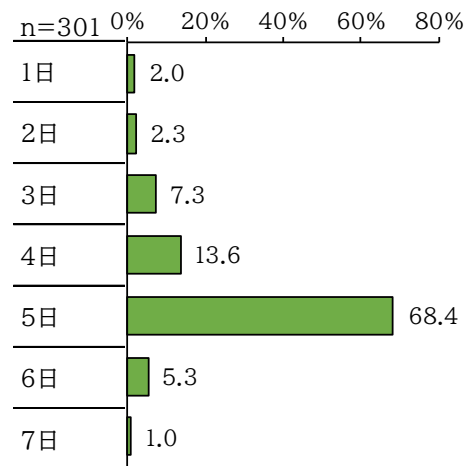
(1)－1 (1)で「1.フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労《育児のための短時間勤務含む》)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない～4.パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(就労している)に○をつけた方にかがいます。

問 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。()内に数字でご記入ください。【就労前:問12(1)-1、小学生:問11(1)-1】

就学前

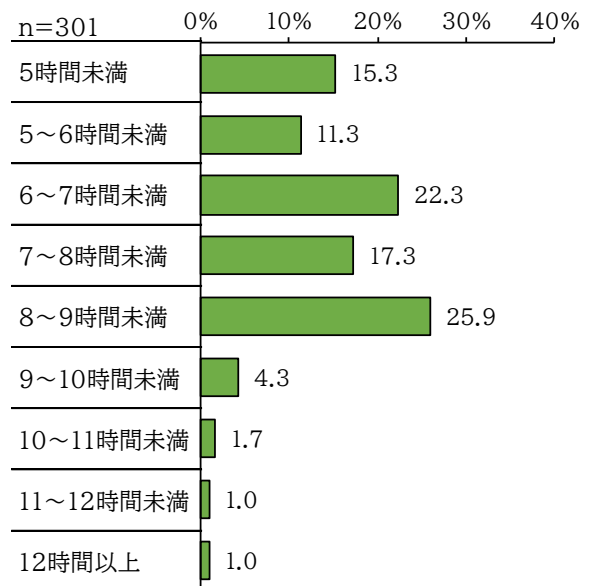
母親の1週当たりの就労日数

「5日」が68.4%で最も高く、次いで「4日」が13.6%、「3日」が7.3%となっています。



母親の1日当たりの就労時間

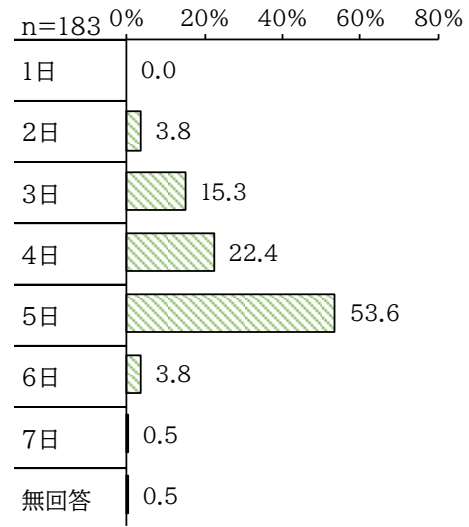
「8～9時間未満」が25.9%で最も高く、次いで「6～7時間未満」が22.3%、「7～8時間未満」が17.3%となっています。



小学生

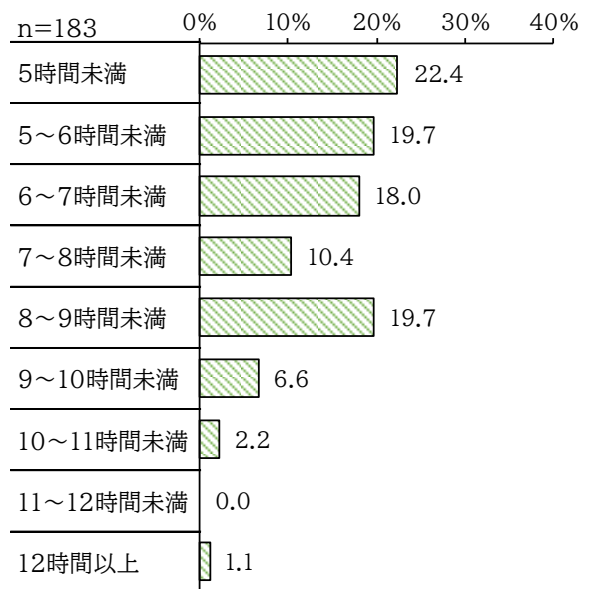
母親の1週当たりの就労日数

「5日」が53.6%で最も高く、次いで「4日」が22.4%、「3日」が15.3%となっています。



母親の1日当たりの就労時間

「5時間未満」が22.4%で最も高く、次いで「5～6時間未満」「8～9時間未満」がともに19.7%、「6～7時間未満」が18.0%となっています。



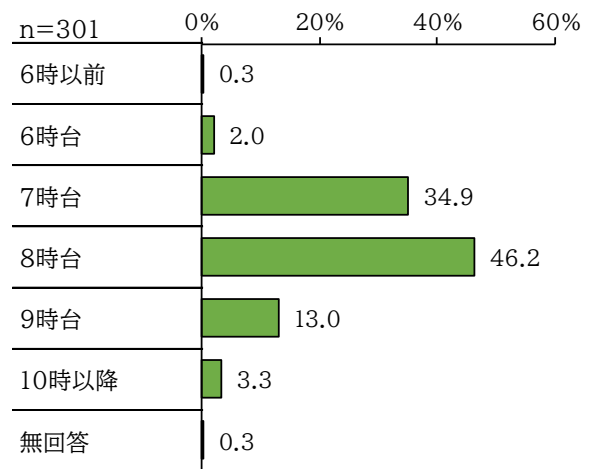
(1)－2 (1)で「1.フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労《育児のための短時間勤務含む》)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない～4.パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(就労している)に○をつけた方にかがいます。

問 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)8時～18時のように、24時間制でお答えください。()内に数字でご記入ください。 【就労前:問12(1)-2、小学生:問11(1)-2】

就学前

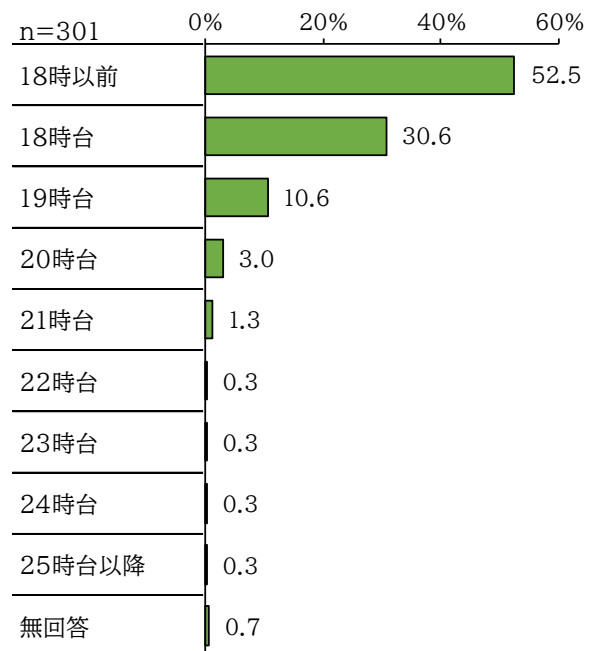
母親の家を出る時刻

「8時台」が46.2%で最も高く、次いで「7時台」が34.9%、「9時台」が13.0%となっています。



母親の帰宅時刻

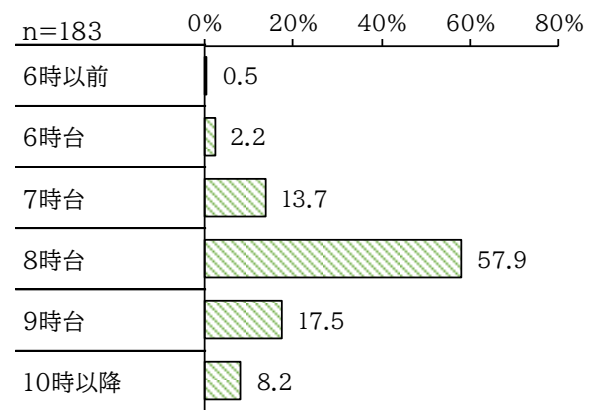
「18時以前」が52.5%で最も高く、次いで「18時台」が30.6%、「19時台」が10.6%となっています。



小学生

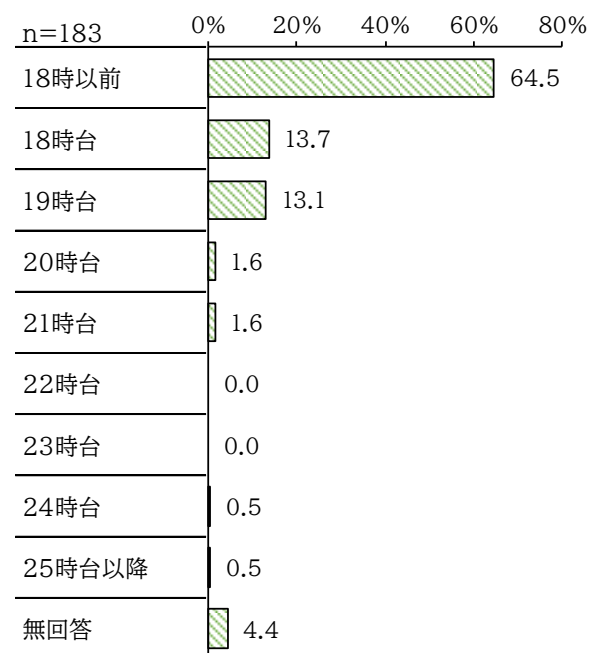
母親の家を出る時刻

「8時台」が57.9%で最も高く、次いで「9時台」が17.5%、「7時台」が13.7%となっています。



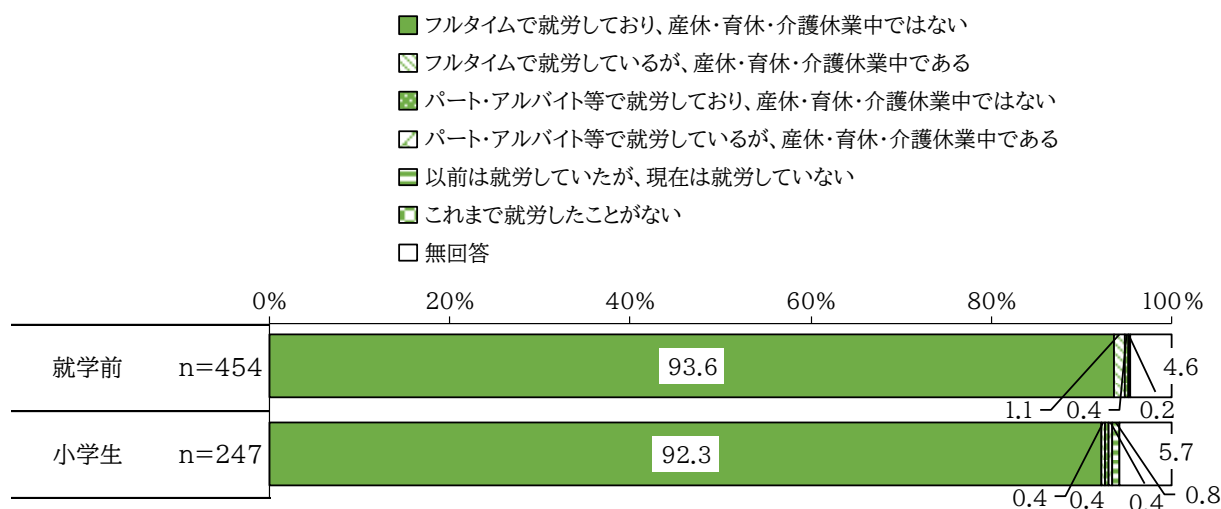
母親の帰宅時刻

「18時以前」が64.5%で最も高く、次いで「18時台」が13.7%、「19時台」が13.1%となっています。



(2)父親【母子家庭の場合は記入は不要です】の当てはまる番号1つに○をつけてください。

就学前・小学生ともに、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(93.6%、92.3%)が最も高くなっています。



就学前(父親)

子どもの年齢別で見ると、すべての年齢で「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労《育児のための短時間勤務含む》)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が高くなっています。

単位:%

| 区分 | 有効回答数 (件) | フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しているが、産休・育休・介護休業中ではない | フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である | パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中ではない | パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である | 以前は就労していたが、現在は就労していない | これまで就労したことがない | 無回答 |
|----|-----------|---|--|------------------------------------|-----------------------------------|-----------------------|---------------|-----|
| 0歳 | 96 | 90.6 | 3.1 | - | - | - | - | 6.3 |
| 1歳 | 59 | 94.9 | - | 1.7 | - | - | - | 3.4 |
| 2歳 | 64 | 92.2 | 1.6 | - | - | - | - | 6.3 |
| 3歳 | 76 | 93.4 | 1.3 | 1.3 | - | - | - | 3.9 |
| 4歳 | 83 | 95.2 | - | - | - | 1.2 | - | 3.6 |
| 5歳 | 76 | 96.1 | - | - | - | - | - | 3.9 |

就学前(父親)

子育てを主に行っている人別でみると、大きな差異はみられません。

単位:%

| 区分 | 有効回答数(件) | 業しめ日フル 中での8時間 は短時間程 な産務の1 い産務の1 育む労5日 休≒≒育程 ・)育程度 介で見の・ 護就の・ 休労た1 | 業て日フル 中い8時間 であるが、程 産度の1週 休・就週5 育労)日 ・)で程 介就度 護労・ 休し1 | 中てタパ でおイト はりムト ない産以 休外ル ・のバ 育就イ 休労ト ・)等 介でへ 護就一 休労フ 業しル | 業てタパ 中いイト であるが、以 産休のバ 育労ト等 ・)でへ 介就一 護労フ 休しル | 就以前は就 労して就 していない いたが、 現在は | これまで就 労したことが ない | 無 回 答 |
|-------|----------|---|---|---|---|---------------------------------------|-----------------------|-------------|
| 父母ともに | 264 | 94.7 | 1.5 | 0.8 | - | 0.4 | - | 2.7 |
| 主に母親 | 188 | 92.6 | 0.5 | - | - | - | - | 6.9 |
| 主に父親 | 1 | - | - | - | - | - | - | 100.0 |
| 主に祖父母 | 1 | 100.0 | - | - | - | - | - | - |
| その他 | - | - | - | - | - | - | - | - |

子どもをみてもらえる親族・知人の有無別でみると、他に比べ、緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる、緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいるで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労《育児のための短時間勤務含む》)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(95.3%、94.3%)の割合が高くなっています。

単位:%

| 区分 | 有効回答数(件) | 業しめ日フル 中での8時間 は短時間程 な産務の1 い産務の1 育む労5日 休≒≒育程 ・)育程度 介で見の・ 護就の・ 休労た1 | 業て日フル 中い8時間 であるが、程 産度の1週 休・就週5 育労)日 ・)で程 介就度 護労・ 休し1 | 中てタパ でおイト はりムト ない産以 休外ル ・のバ 育就イ 休労ト ・)等 介でへ 護就一 休労フ 業しル | 業てタパ 中いイト であるが、以 産休のバ 育労ト等 ・)でへ 介就一 護労フ 休しル | 就以前は就 労して就 していない いたが、 現在は | これまで就 労したことが ない | 無 回 答 |
|---------------------------------|----------|---|---|---|---|---------------------------------------|-----------------------|-------------|
| 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | 106 | 88.7 | 1.9 | 0.9 | - | 0.9 | - | 7.5 |
| 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | 276 | 95.3 | 1.1 | 0.4 | - | 0.4 | - | 2.9 |
| 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | 2 | 100.0 | - | - | - | - | - | - |
| 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | 35 | 94.3 | - | - | - | - | - | 5.7 |
| いずれもない | 81 | 92.6 | 1.2 | - | - | - | - | 6.2 |

小学生(父親)

子どもの年齢別で見ると、すべての年齢で「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労《育児のための短時間勤務含む》)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が高くなっています。

単位:%

| 区分 | 有効回答数(件) | 業中での時間勤務含育休介護休業 | 日8時間程度の就労(1週5日程度) | フルタイム(1週5日程度) | フルタイム(1週5日程度)で就労しているが、産休・育休・介護休業 | パート・アルバイト・業務外での就労(パート・アルバイト等) | パート・アルバイト・業務外での就労(パート・アルバイト等) | パート・アルバイト・業務外での就労(パート・アルバイト等) | 以前は就労していたが、現在は就労していない | これまで就労したことがない | 無回答 |
|-----|----------|-----------------|-------------------|---------------|----------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-----------------------|---------------|------|
| 1年生 | 44 | 95.5 | - | - | - | - | - | - | - | - | 4.5 |
| 2年生 | 36 | 97.2 | - | - | - | 2.8 | - | - | - | - | - |
| 3年生 | 40 | 90.0 | 2.5 | - | - | - | - | - | - | - | 7.5 |
| 4年生 | 44 | 93.2 | - | - | - | - | - | - | - | - | 6.8 |
| 5年生 | 48 | 95.8 | - | - | - | - | - | - | - | - | 4.2 |
| 6年生 | 35 | 80.0 | - | 2.9 | - | 5.7 | - | - | - | - | 11.4 |

子育てを主に行っている人別で見ると、大きな差異はみられません。

単位:%

| 区分 | 有効回答数(件) | 業中での時間勤務含育休介護休業 | 日8時間程度の就労(1週5日程度) | フルタイム(1週5日程度) | フルタイム(1週5日程度)で就労しているが、産休・育休・介護休業 | パート・アルバイト・業務外での就労(パート・アルバイト等) | パート・アルバイト・業務外での就労(パート・アルバイト等) | パート・アルバイト・業務外での就労(パート・アルバイト等) | 以前は就労していたが、現在は就労していない | これまで就労したことがない | 無回答 |
|-------|----------|-----------------|-------------------|---------------|----------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-----------------------|---------------|-------|
| 父母ともに | 141 | 93.6 | 0.7 | - | 0.7 | 1.4 | - | - | - | - | 3.5 |
| 主に母親 | 101 | 93.1 | - | - | 1.0 | - | - | - | - | - | 5.9 |
| 主に父親 | 4 | 50.0 | - | - | - | - | - | - | - | - | 50.0 |
| 主に祖父母 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 100.0 |
| その他 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |

小学生(父親)

子どもをみてもらえる親族・知人の有無別で見ると、他に比べ、緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる、緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいるで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労《育児のための短時間勤務含む》)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(95.6%、94.2%)の割合が高くなっています。

| 区分 | 有効回答数(件) | 単位:% | | | | | | これまで就労したことがない | 無回答 |
|---------------------------------|----------|--------|-------------------|------------------|------------------|------------------------|------------------------|---------------|-----|
| | | 業中ではない | め8時間程度(1週5日程度)の就労 | フルタイム(1週5日程度)の就労 | フルタイム(1週5日程度)の就労 | パート・アルバイト等(1日8時間程度)の就労 | パート・アルバイト等(1日8時間程度)の就労 | | |
| 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | 67 | 89.6 | - | 1.5 | - | 1.5 | - | 7.5 | |
| 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | 137 | 95.6 | 0.7 | - | - | - | - | 3.6 | |
| 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | 8 | 87.5 | 12.5 | - | - | - | - | - | |
| 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | 52 | 94.2 | 1.9 | - | - | - | - | 3.8 | |
| いずれもない | 39 | 84.6 | - | - | 2.6 | 2.6 | - | 10.3 | |

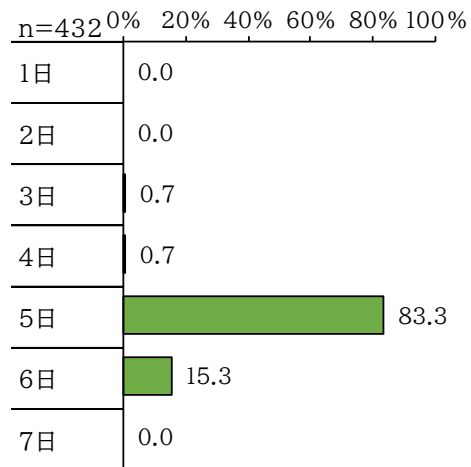
(2)-1 (2)で「1.フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労《育児のための短時間勤務含む》)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない～4.パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

問 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。()内に数字でご記入ください。【就労前：問12(2)-1、小学生：問11(2)-1】

就学前

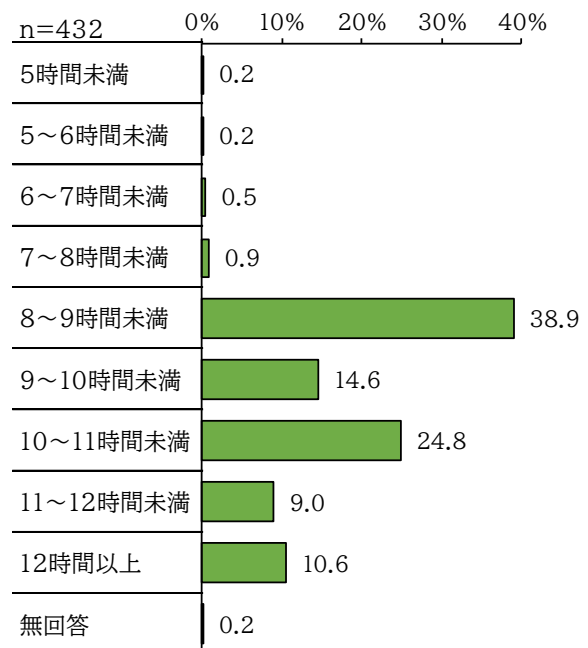
父親の1週当たりの就労日数

「5日」が83.3%で最も高く、次いで「6日」が15.3%となっています。



父親の1日当たりの就労時間

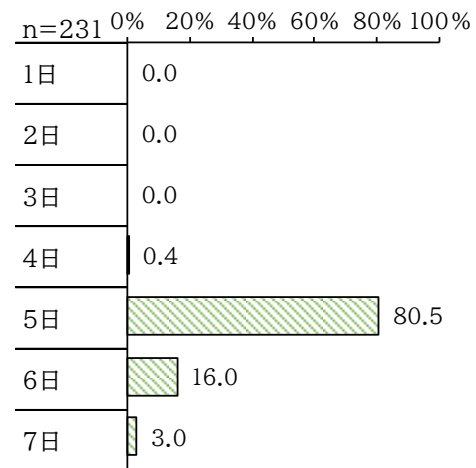
「8～9時間未満」が38.9%で最も高く、次いで「10～11時間未満」が24.8%、「9～10時間未満」が14.6%となっています。



小学生

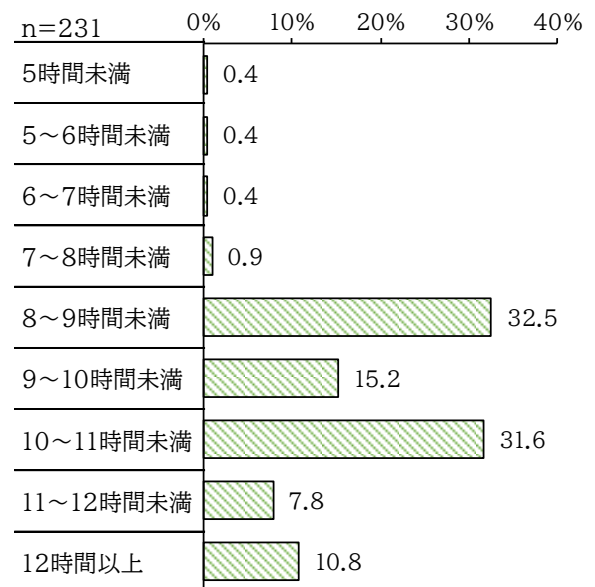
父親の1週当たりの就労日数

「5日」が80.5%で最も高く、次いで「6日」が16.0%となっています。



父親の1日当たりの就労時間

「8～9時間未満」が32.5%で最も高く、次いで「10～11時間未満」が31.6%、「9～10時間未満」が15.2%となっています。



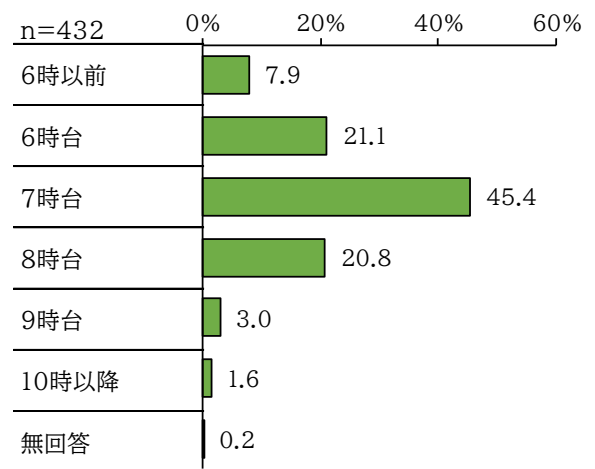
(2) - 2 (2)で「1.フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労《育児のための短時間勤務含む》)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない～4.パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

問 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)8時～18時のように、24時間制でお答えください。()内に数字でご記入ください。【就労前：問12(2)-2、小学生：問11(2)-2】

就学前

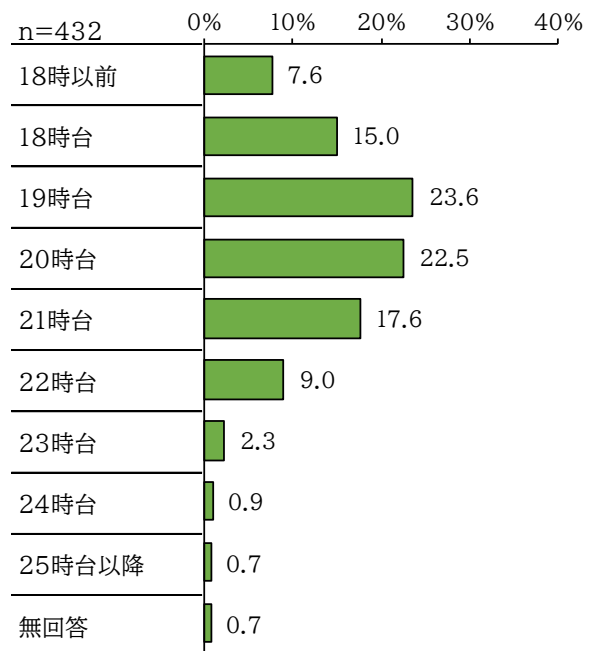
父親の家を出る時刻

「7時台」が45.4%で最も高く、次いで「6時台」が21.1%、「8時台」が20.8%となっています。



父親の帰宅時刻

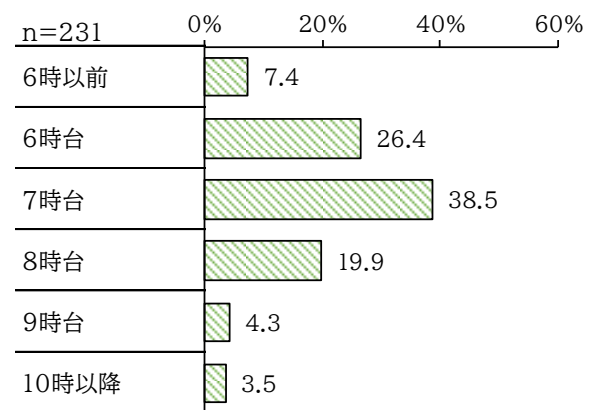
「19時台」が23.6%で最も高く、次いで「20時台」が22.5%、「21時台」が17.6%となっています。



小学生

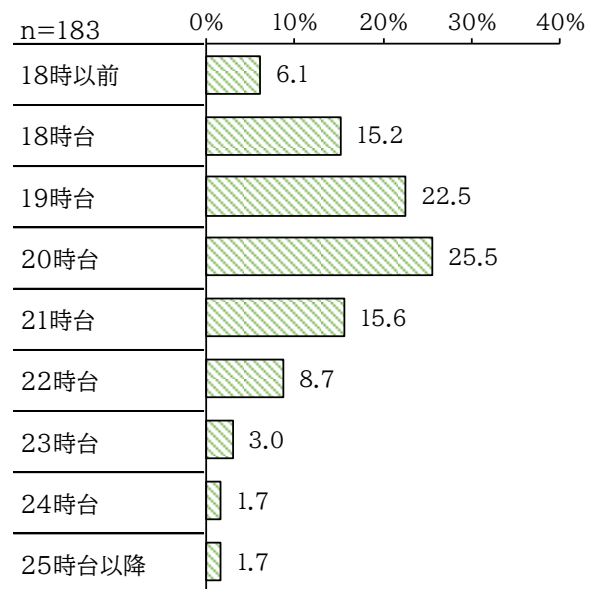
父親の家を出る時刻

「7時台」が38.5%で最も高く、次いで「6時台」が26.4%、「8時台」が19.9%となっています。



父親の帰宅時刻

「20時台」が25.5%で最も高く、次いで「19時台」が22.5%、「21時台」が15.6%となっています。



(就学前)問12の(1)または(2)で「3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14へお進みください。

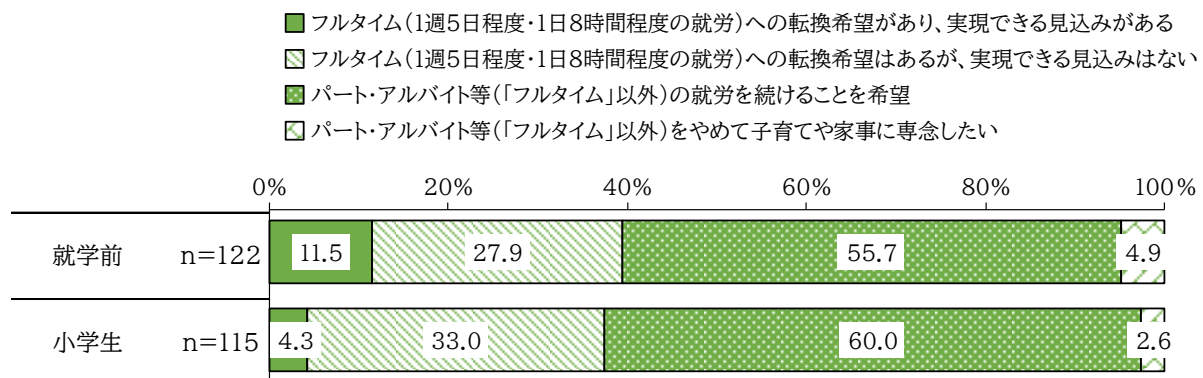
(小学生)問11の(1)または(2)で「3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14へお進みください。

問 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

【就学前:問13(1)(2)、小学生:問12(1)(2)】

(1)母親

就学前・小学生ともに「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」(55.7%、60.0%)が最も高くなっています。



(2)父親

就学前では、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある」が1件、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」が1件となっています。

小学生では、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みがない」が1件、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」が1件となっています。(有効回答数が少ないためグラフ省略)

(就学前)問12の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問15へお進みください。

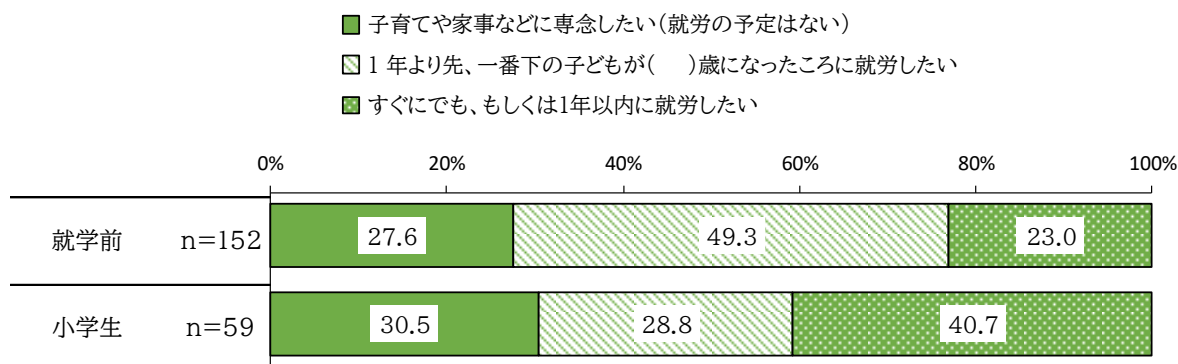
(小学生)問11の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問15へお進みください。

問 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する()内には数字でご記入ください。【就学前:問14(1)(2)、小学生:問13(1)(2)】

(1)母親

就学前は、「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」が49.3%で最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が27.6%、「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」が23.0%となっています。

小学生は、「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」が40.7%で最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が30.5%、「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」が28.8%となっています。

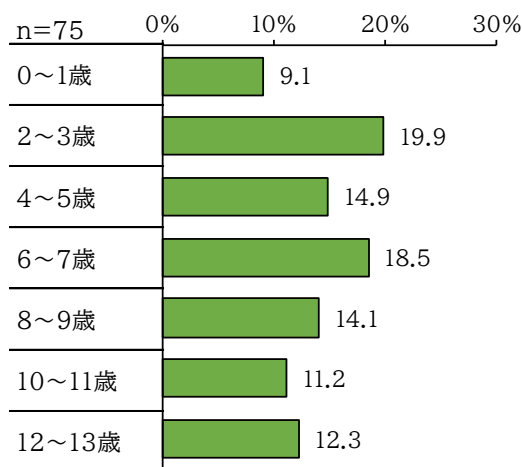


①「2.1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」

母親の就労を希望する時期(末子の年齢)

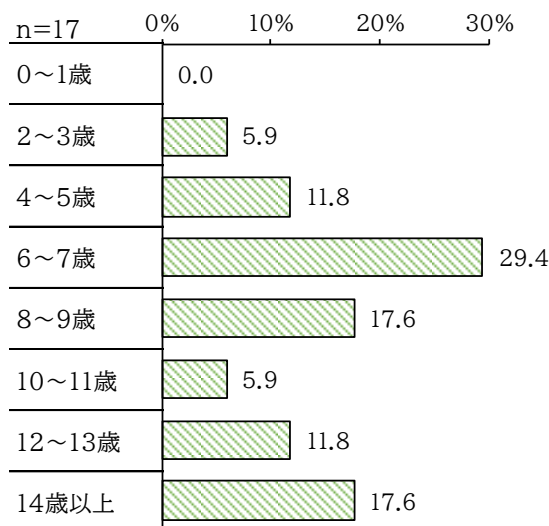
就学前

「2～3歳」が19.9%で最も高く、次いで「6～7歳」が18.5%、「4～5歳」が14.9%となっています。



小学生

「6～7歳」が29.4%で最も高く、次いで「8～9歳」「14歳以上」がともに17.6%、「4～5歳」「12～13歳」がともに11.8%となっています。

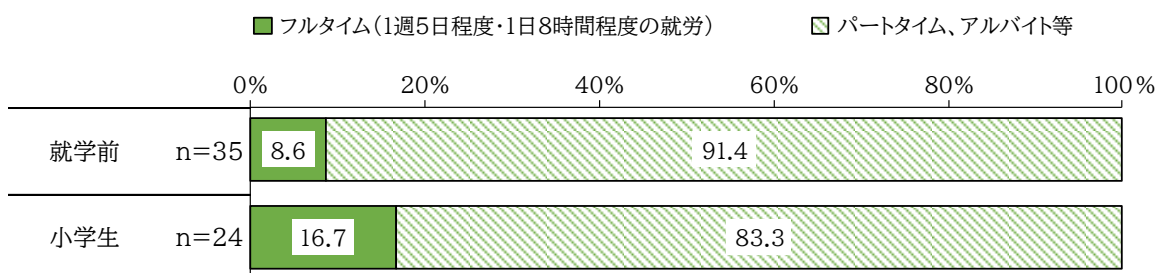


②「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」

母親の就労希望形態

就学前は、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」が8.6%、「パートタイム、アルバイト等」が91.4%となっています。

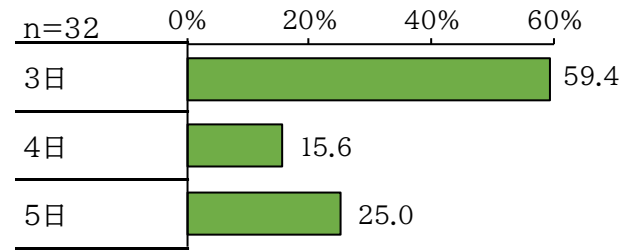
小学生は、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」が16.7%、「パートタイム、アルバイト等」が83.3%、となっています。



③母親の1週当たりの就労希望日数

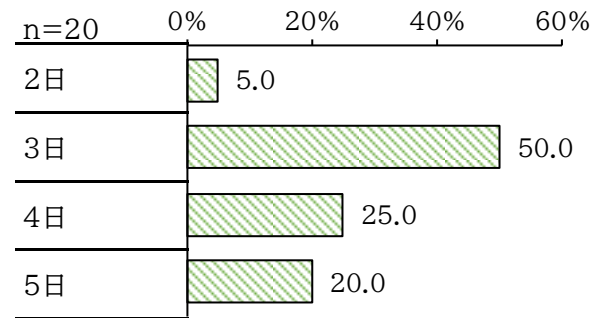
就学前

「3日」が59.4%で最も高く、次いで「5日」が25.0%、「4日」が15.6%となっています。



小学生

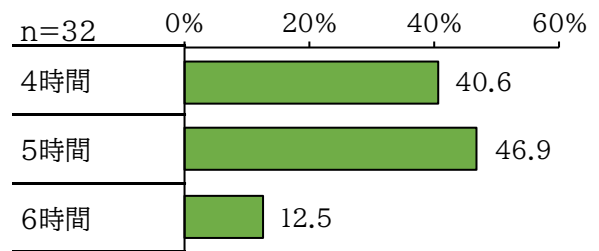
「3日」が50.0%で最も高く、次いで「4日」が25.0%、「5日」が20.0%となっています。



④母親の1日当たりの就労希望時間

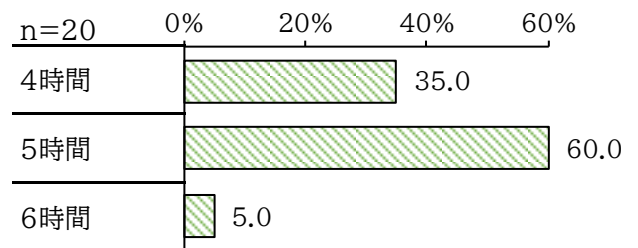
就学前

「5時間」が46.9%で最も高く、次いで「4時間」が40.6%、「6時間」が12.5%となっています。



小学生

「5時間」が60.0%で最も高く、次いで「4時間」が35.0%、「6時間」が5.0%となっています。



(2)父親

就学前では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が1件となっています。

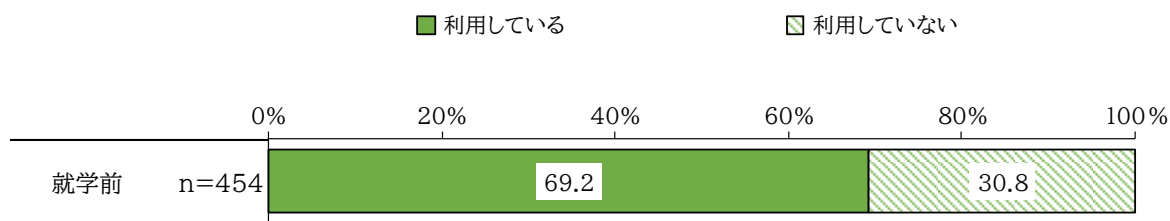
小学生では、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が1件、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が1件となっています。(有効回答数が少ないためグラフ省略)

- ①「2. 1年より先、一番下の子どもが()歳になったころに就労したい」のうち、父親の就労を希望する時期(末子の年齢)については、就学前・小学生ともに有効回答はありませんでした。
- ②「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」のうち、父親の就労希望形態は就学前・小学生ともに「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」が1件となっています。(有効回答数が少ないためグラフ省略)
- ③父親の1週当たりの就労希望日数については、就学前・小学生ともに有効回答はありませんでした。
- ④父親の1日当たりの就労希望時間については、就学前・小学生ともに有効回答はありませんでした。

5 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。 【就学前：問15】

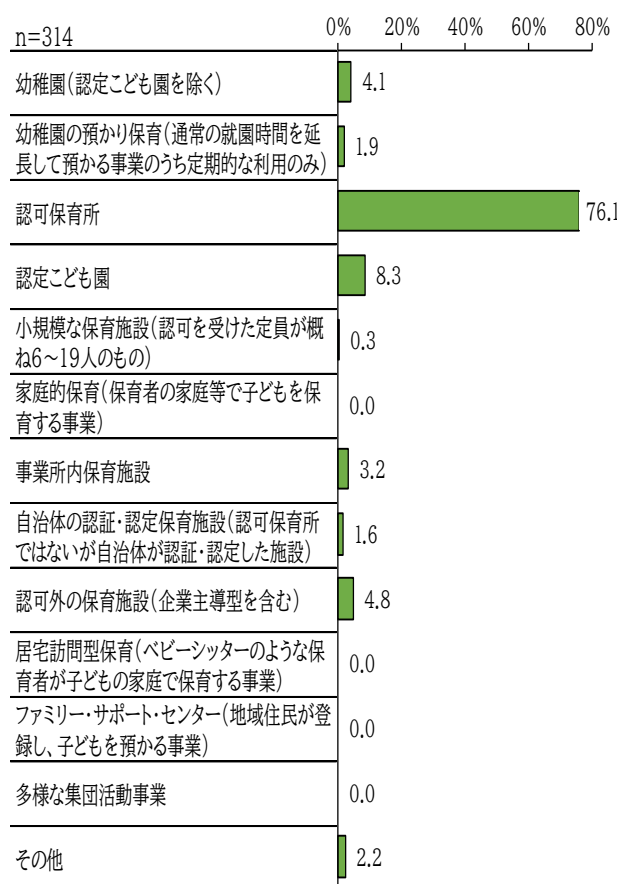
「利用している」が69.2%、「利用していない」が30.8%となっています。



問15-1～問15-4は、問15で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。 【就学前：問15-1】

「認可保育所」が76.1%で最も高く、次いで「認定こども園」が8.3%、「認可外の保育施設（企業主導型を含む）」が4.8%となっています。



子どもの年齢別でみると、0歳で「幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)」(12.0%)、1歳と2歳で「認可外の保育施設(企業主導型を含む)」(14.8%、14.7%)、3歳と4歳で「認可保育所」(81.3%、88.8%)の割合が高くなっています。

単位:%

| 区分 | 有効回答数(件) | 幼稚園(認定こども園を除く) | 幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ) | 認可保育所 | 認定こども園 | 小規模な保育施設(認可を受け、た定員が概ね6〜19人のもの) | 家庭的保育(保育者の家庭等で子どもを保育する事業) | 事業所内保育施設 | 自治体の認証・認定保育施設が認可保育所ではないが自治体 | 認可外の保育施設(企業主導型を含む) | 家庭で保育する事業(ベビシツの) | 居宅訪問型保育(ベビシツの) | ファミリー・サポート・センター(地域住民が登録し、子どもを預かる事業) | 多様な集団活動事業 | その他 |
|----|----------|----------------|---|-------|--------|--------------------------------|---------------------------|----------|-----------------------------|--------------------|------------------|----------------|-------------------------------------|-----------|-----|
| 0歳 | 25 | - | 12.0 | 56.0 | 8.0 | 4.0 | - | 16.0 | - | 8.0 | - | - | - | - | - |
| 1歳 | 27 | 3.7 | - | 74.1 | 3.7 | - | - | 7.4 | - | 14.8 | - | - | - | - | - |
| 2歳 | 34 | - | - | 61.8 | 11.8 | - | - | 5.9 | - | 14.7 | - | - | - | - | 5.9 |
| 3歳 | 75 | 4.0 | 1.3 | 81.3 | 8.0 | - | - | 1.3 | 2.7 | 2.7 | - | - | - | - | - |
| 4歳 | 80 | 3.8 | 1.3 | 88.8 | 6.3 | - | - | - | - | 1.3 | - | - | - | - | 1.3 |
| 5歳 | 73 | 8.2 | 1.4 | 71.2 | 11.0 | - | - | 1.4 | 4.1 | 1.4 | - | - | - | - | 5.5 |

教育・保育事業実施場所でみると、他に比べ、東浦町内の「認可保育所」(83.5%)の割合が高くなっています。

単位:%

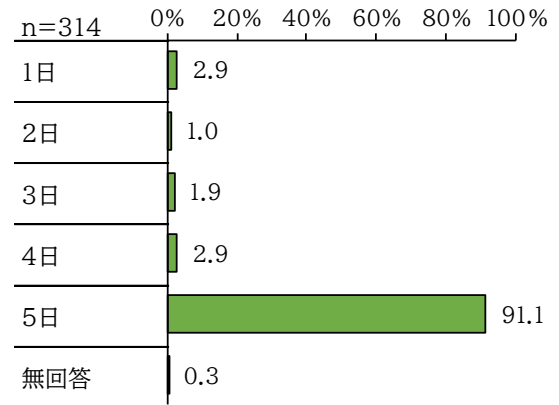
| 区分 | 有効回答数(件) | 幼稚園(認定こども園を除く) | 幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ) | 認可保育所 | 認定こども園 | 小規模な保育施設(認可を受け、た定員が概ね6〜19人のもの) | 家庭的保育(保育者の家庭等で子どもを保育する事業) | 事業所内保育施設 | 自治体の認証・認定保育施設が認可保育所ではないが自治体 | 認可外の保育施設(企業主導型を含む) | 家庭で保育する事業(ベビシツの) | 居宅訪問型保育(ベビシツの) | ファミリー・サポート・センター(地域住民が登録し、子どもを預かる事業) | 多様な集団活動事業 | その他 |
|-------|----------|----------------|---|-------|--------|--------------------------------|---------------------------|----------|-----------------------------|--------------------|------------------|----------------|-------------------------------------|-----------|-----|
| 東浦町内 | 284 | 2.5 | 1.4 | 83.5 | 7.4 | 0.4 | - | 1.1 | 1.8 | 1.8 | - | - | - | - | 2.1 |
| 他の市町村 | 30 | 20.0 | 6.7 | 6.7 | 16.7 | - | - | 23.3 | - | 33.3 | - | - | - | - | 3.3 |

問 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、()内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず(例)9時～18時のように24時間制でご記入ください。 【就学前:問15-2】

(1)現在

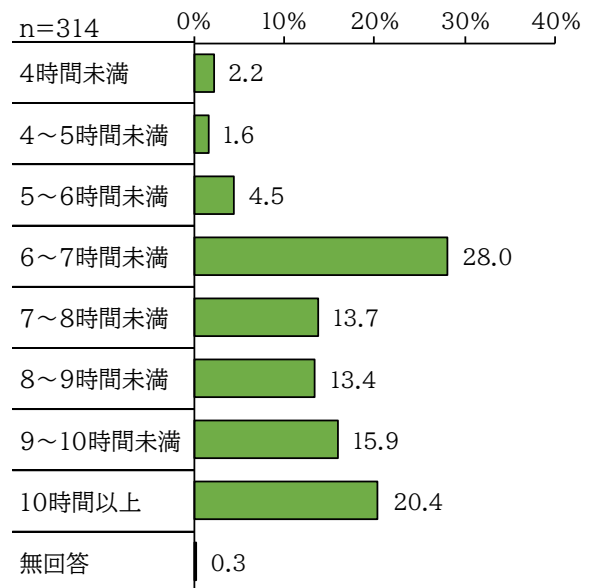
①1週当たりの利用日数

「5日」が91.1%で最も高くなっています。



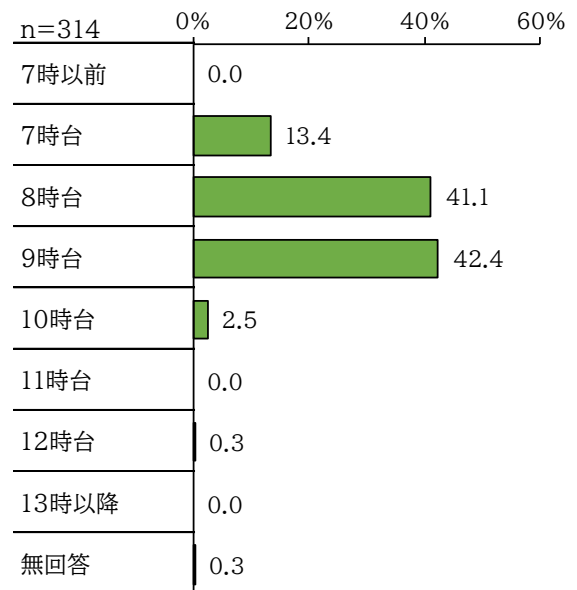
②1日当たりの利用時間

「6～7時間未満」が28.0%で最も高く、次いで「10時間以上」が20.4%、「9～10時間未満」が15.9%となっています。



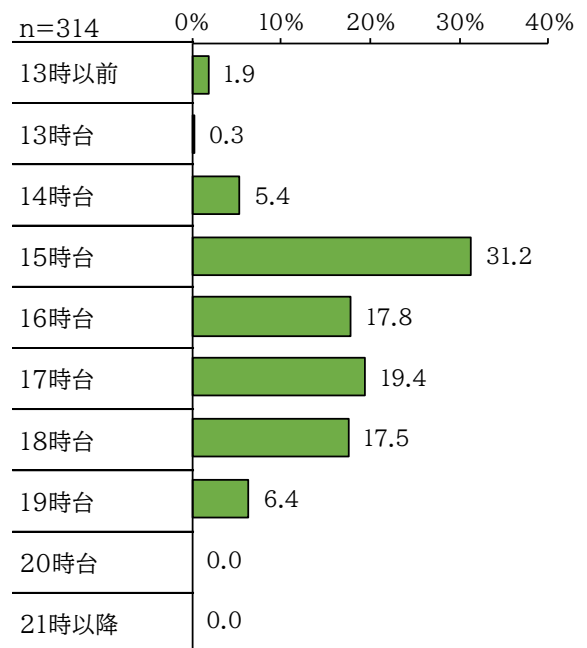
③利用開始時間

「9時台」が42.4%で最も高く、次いで「8時台」が41.1%、「7時台」が13.4%となっています。



④利用終了時間

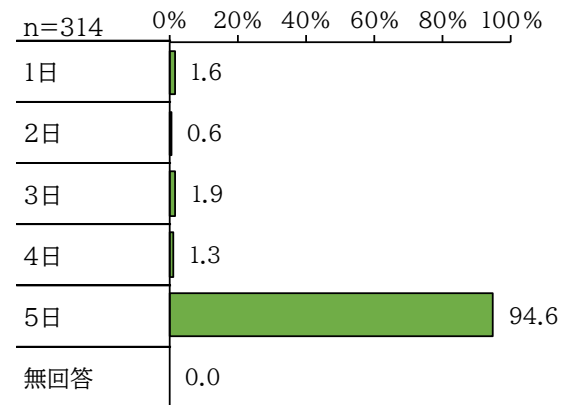
「15時台」が31.2%で最も高く、次いで「17時台」が19.4%、「16時台」が17.8%となっています。



(2)希望

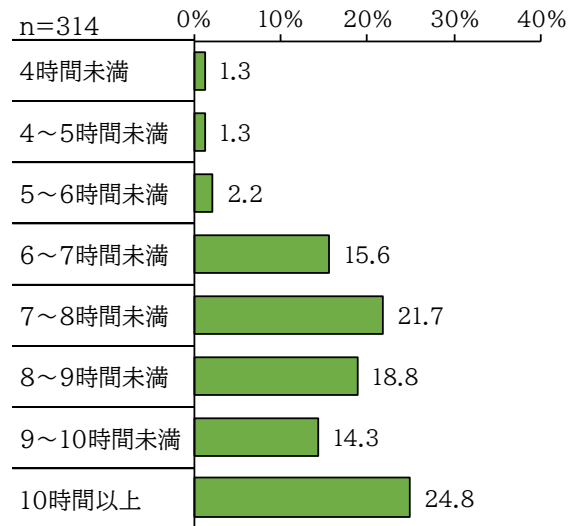
①1週当たりの希望利用日数

「5日」が94.6%で最も高くなっています。



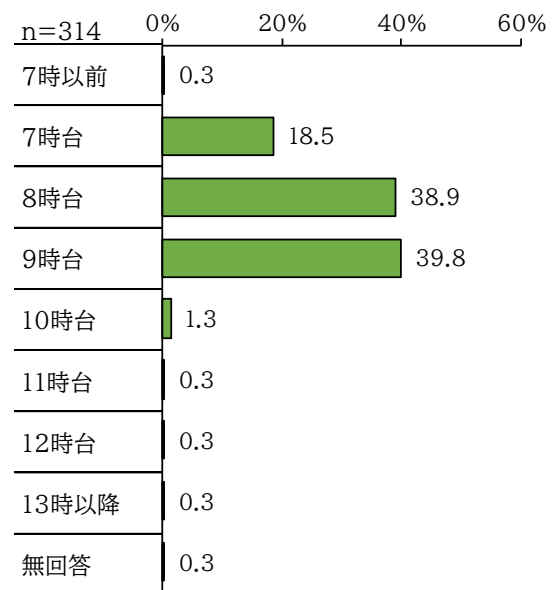
②1日当たりの利用希望時間

「10時間以上」が24.8%が最も高く、次いで「7～8時間未満」が21.7%、「8～9時間未満」が18.8%となっています。



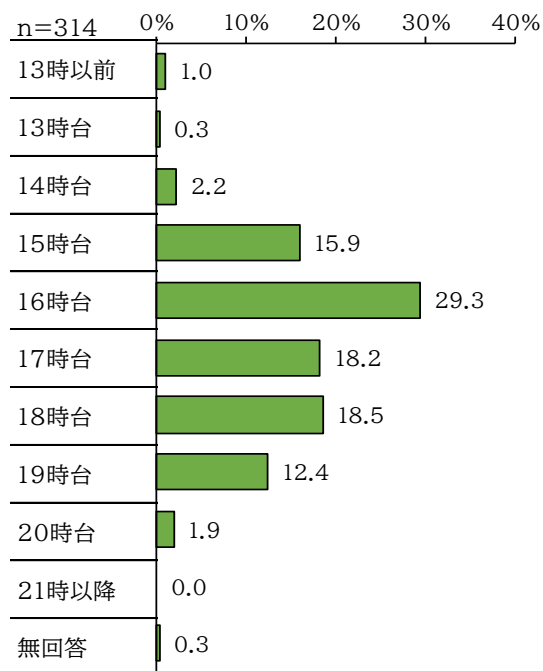
③利用開始時間

「9時台」が39.8%で最も高く、次いで「8時台」が38.9%、「7時台」が18.5%となっています。



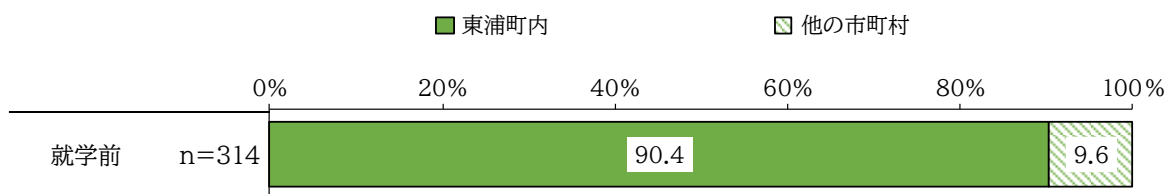
④利用終了時間

「16時台」が29.3%で最も高く、次いで「18時台」が18.5%、「17時台」が18.2%となっています。



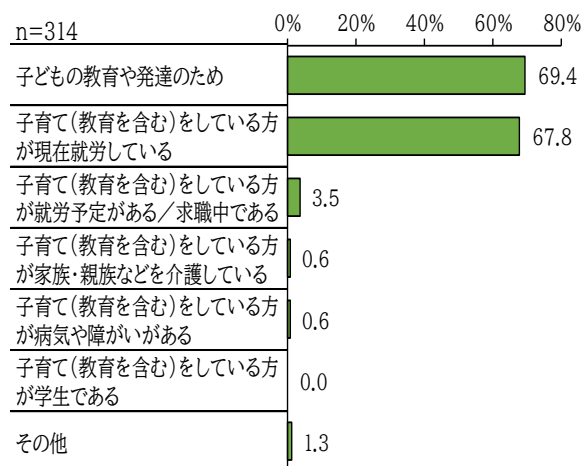
問 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。「1. 東浦町内」「2. 他の市町村」のいずれかに○をつけてください。【就学前:問15-3】

「東浦町内」が90.4%、「他の市町村」が9.6%となっています。



問 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。【就学前:問15-4】

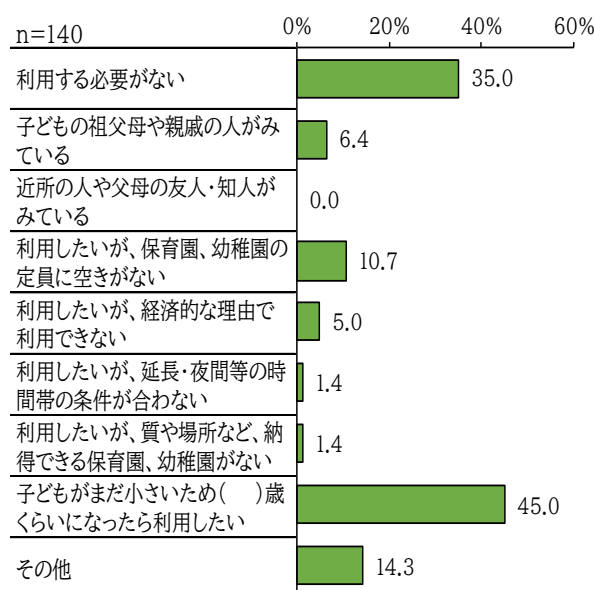
「子どもの教育や発達のため」が69.4%で最も高く、次いで「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」が67.8%となっています。



問15で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

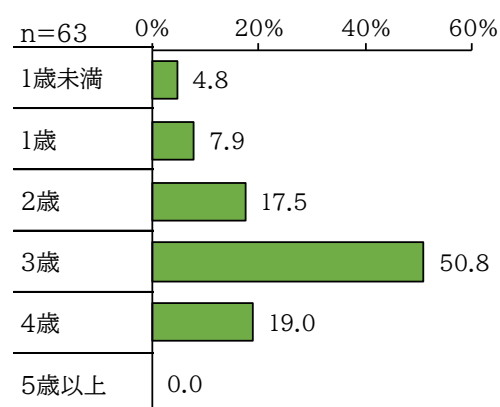
問 利用していない理由は何ですか。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。 【就学前：問15-5】

「子どもがまだ小さいため()歳くらいになったら利用したい」が45.0%で最も高く、次いで「利用する必要がない」が35.0%となっています。



「8. 子どもがまだ小さいため()歳くらいになったら利用したい」の年齢

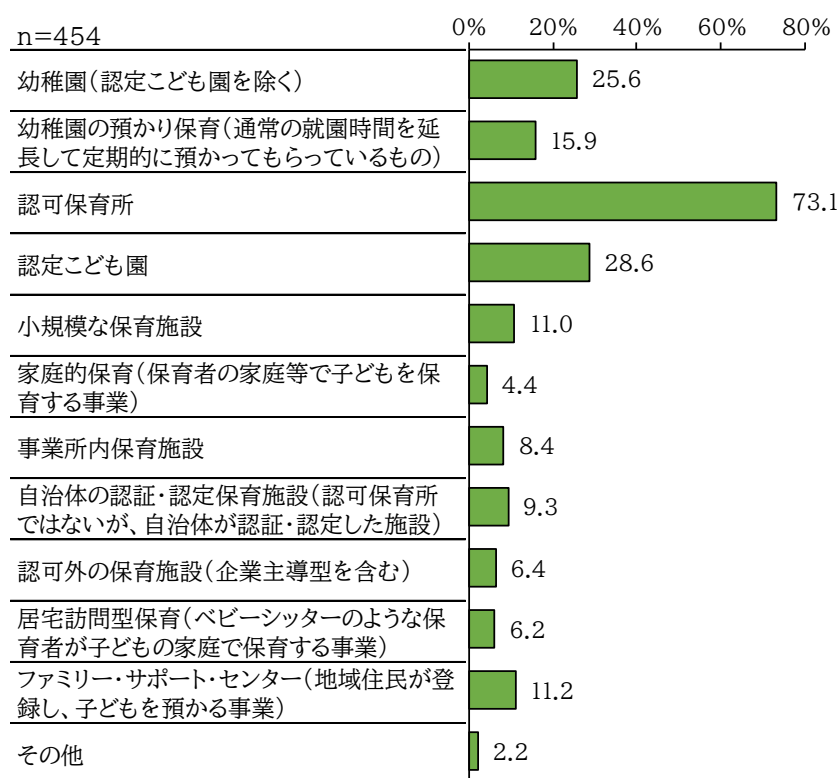
「3歳」が50.8%で最も高く、次いで「4歳」が19.0%、「2歳」が17.5%となっています。



すべての方にうかがいます。

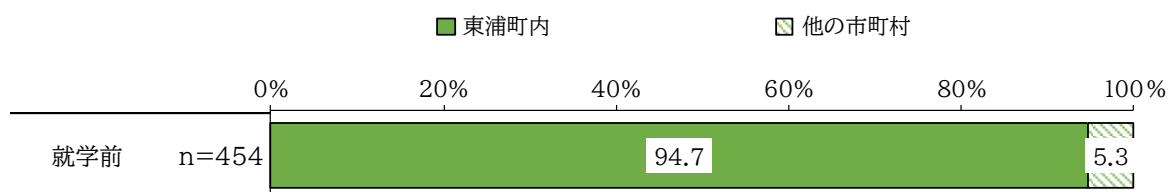
問 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。 【就学前:問16】

「認可保育園」が73.1%が最も高く、次いで「認定こども園」が28.6%、「幼稚園(認定こども園を除く)」が25.6%となっています。



問 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「1. 東浦町内」「2. 他の市町村」のいずれかに○をつけてください。 【就学前:問16-1】

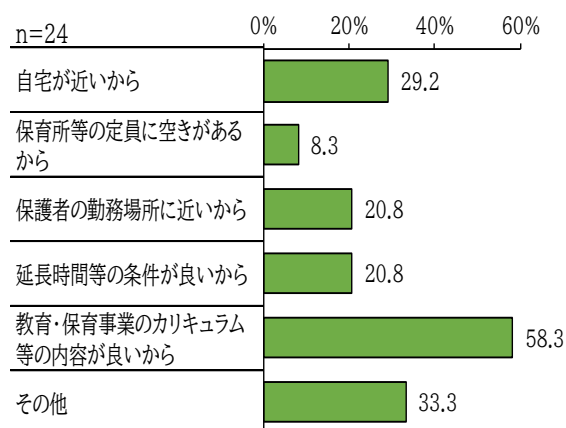
「東浦町内」が94.7%、「他の市町村」が5.3%となっています。



問16-1で「2. 他の市町村」に○をつけた方にうかがいます。

問 他の市町村で利用したい理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。 【就学前:問16-1-1】

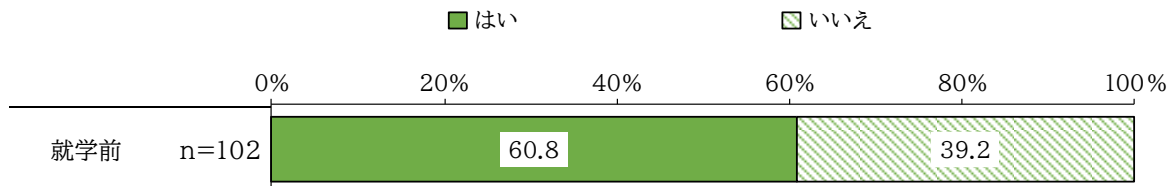
「教育・保育事業のカリキュラム等の内容が良いから」が58.3%で最も高く、「自宅が近いから」が29.2%、「保護者の勤務場所に近いから」「延長時間等の条件が良いから」がともに20.8%となっています。



問16で「1. 幼稚園(認定こども園を除く)」または「2. 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「3. 認可保育所～12. その他」にも○をつけた方にうかがいます。

問 どちらかと言えば幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。当てはまる番号に○をつけてください。 【就学前:問16-2】

「はい」が60.8%、「いいえ」が39.2%となっています。

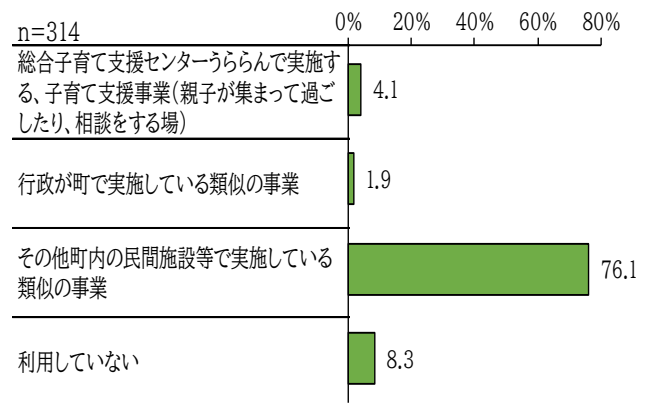


6 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています)を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数(頻度)を()内に数字でご記入ください。

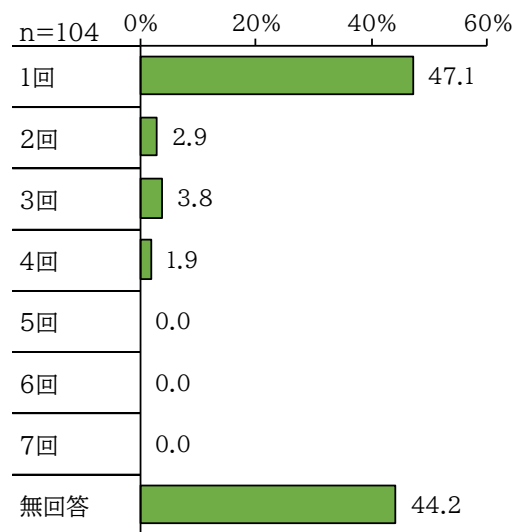
【就学前:問17】

「その他町内の民間施設等で実施している類似の事業」が76.1%で最も高く、次いで「利用していない」が8.3%、「総合子育て支援センターうららんで実施する、子育て支援事業(親子が集まって過ごしたり、相談をする場)」が4.1%となっています。



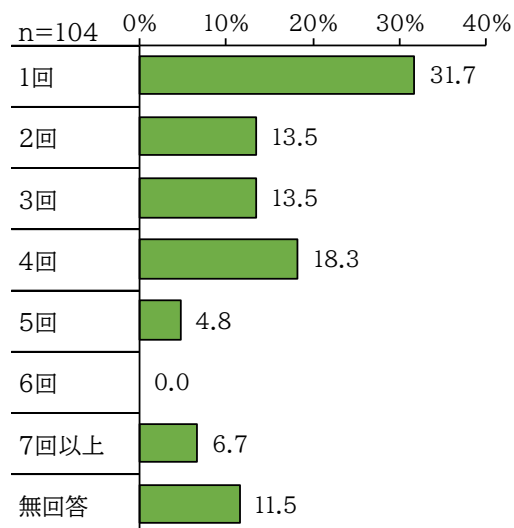
①「総合子育て支援センター」の1週当たりの利用回数

「1回」が47.1%で最も高くなっています。



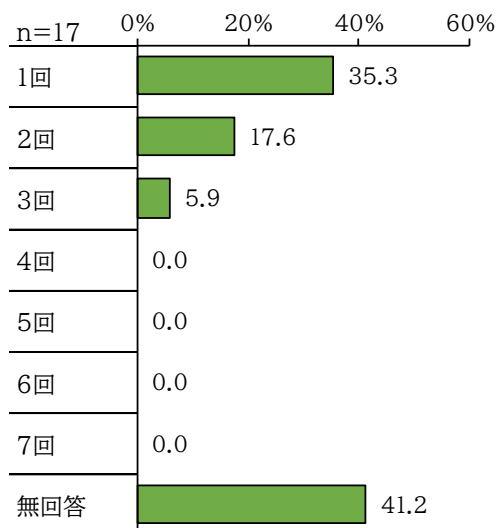
②「総合子育て支援センター」の1ヶ月当たりの利用回数

「1回」が31.7%で最も高く、次いで「4回」が18.3%、「2回」「3回」がともに13.5%となっています。



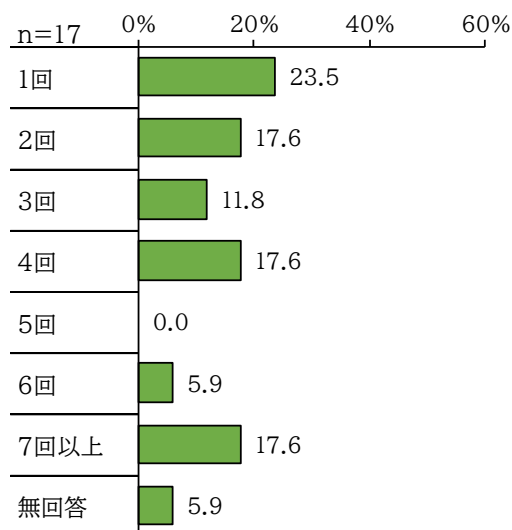
③「行政が町で実施している類似の事業」の1週当たりの利用回数

「1回」が35.3%で最も高く、次いで「2回」が17.6%、「3回」が5.9%となっています。



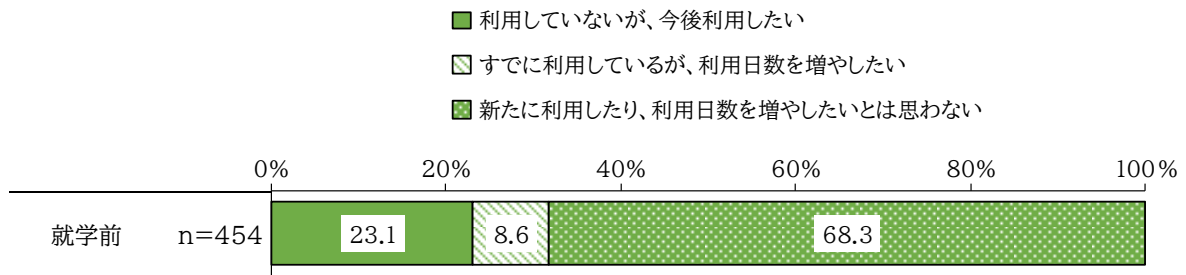
④「行政が町で実施している類似の事業」の1ヶ月当たりの利用回数

「1回」が23.5%で最も高く、次いで「2回」「4回」「7回以上」がともに17.6%、「3回」が11.8%となっています。



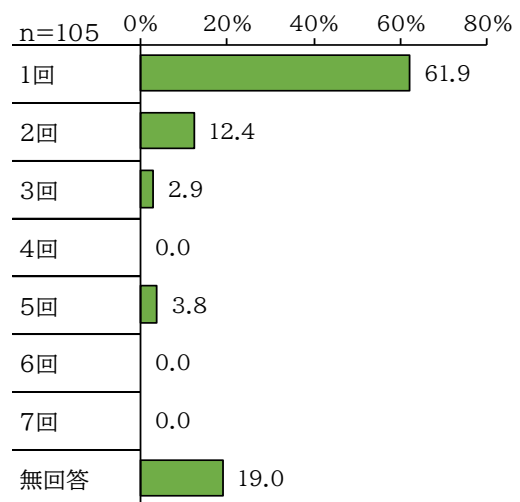
問 問17のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数(頻度)を()内に数字でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。 【就学前:問18】

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が68.3%で最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が23.1%、「すでに利用しているが、利用日数を増やしたい」が8.6%となっています。



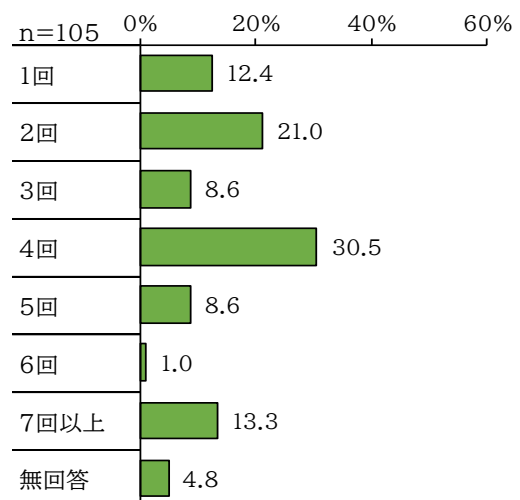
①「1. 利用していないが、今後利用したい」の1週当たりの利用回数

「1回」が61.9%で最も高く、次いで「2回」が12.4%、「5回」が3.8%となっています。



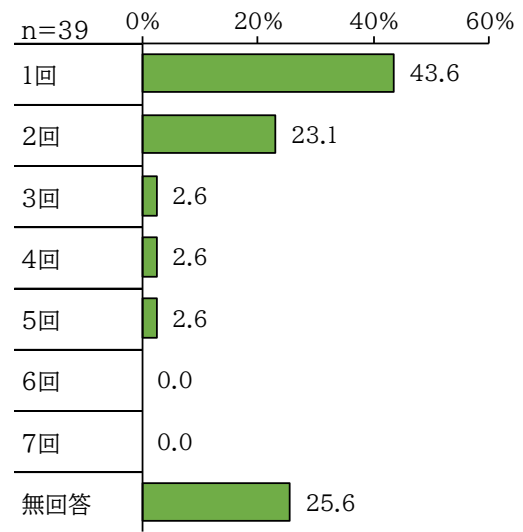
②「1. 利用していないが、今後利用したい」の1ヶ月当たりの利用回数

「4回」が30.5%で最も高く、次いで「2回」が21.0%、「7回以上」が13.3%となっています。



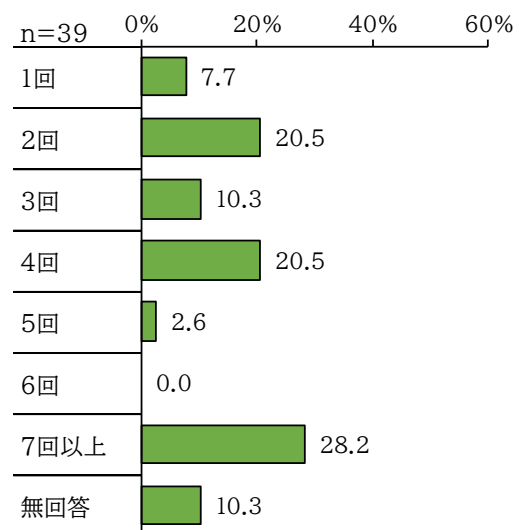
③「2. すでに利用しているが、利用日数を増やしたい」の1週当たりの利用回数

「1回」が43.6%で最も高く、次いで「2回」が23.1%、「3回」「4回」「5回」がともに2.6%となっています。



④「2. すでに利用しているが、利用日数を増やしたい」の1ヶ月当たりの利用回数

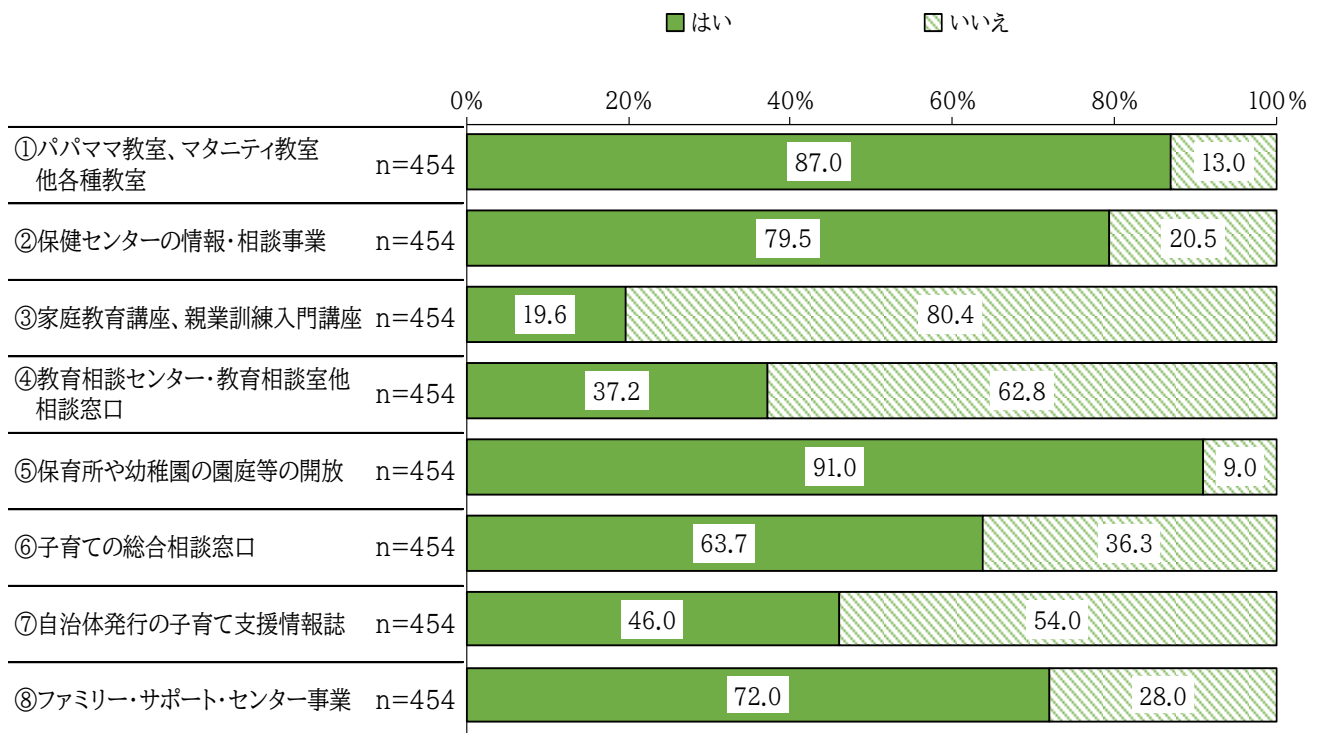
「7回以上」が28.2%で最も高く、次いで、「2回」「4回」がともに20.5%、「3回」が10.3%となっています。



問 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑧の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。 【就学前：問19】

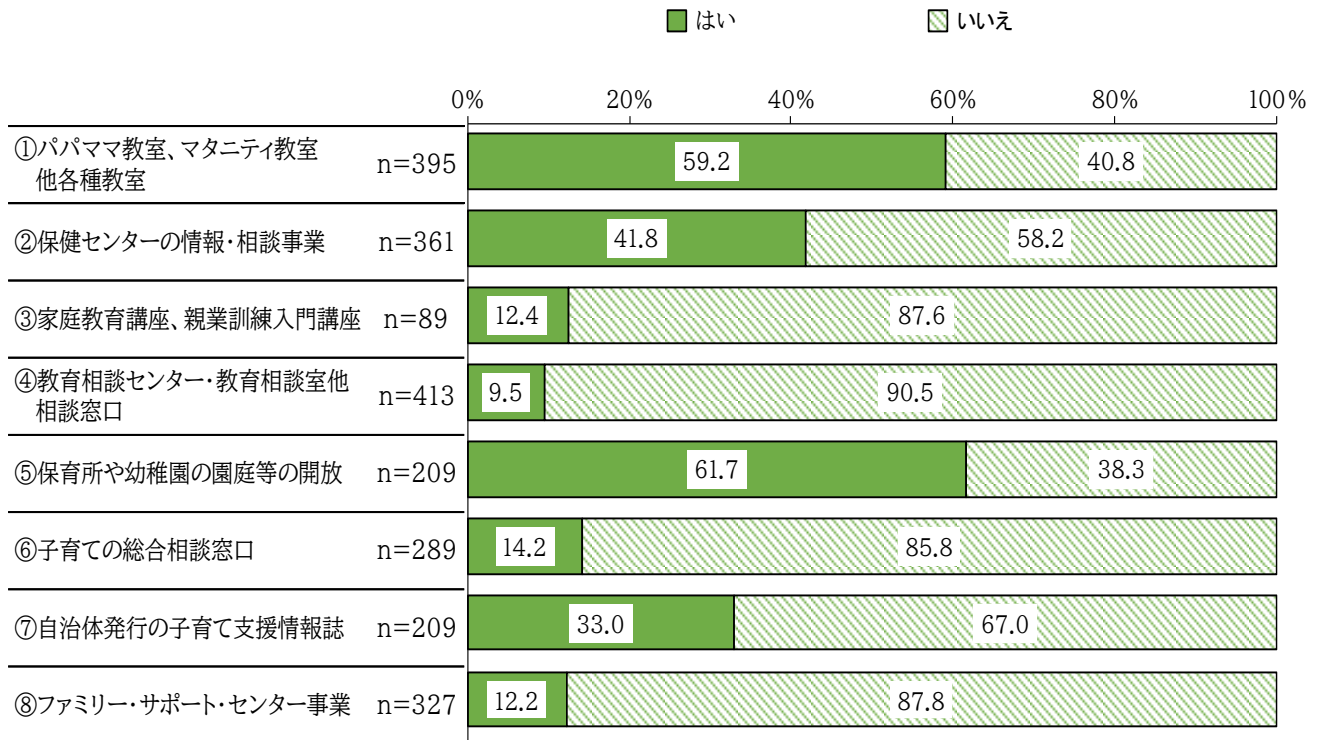
A 知っている

「①パパママ教室、マタニティ教室他各種教室」(87.0%)、「⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放」(91.0%)で「はい」の割合が高くなっています。一方、「③家庭教育講座、親業訓練入門講座」(80.4%)で「いいえ」の割合が高くなっています。



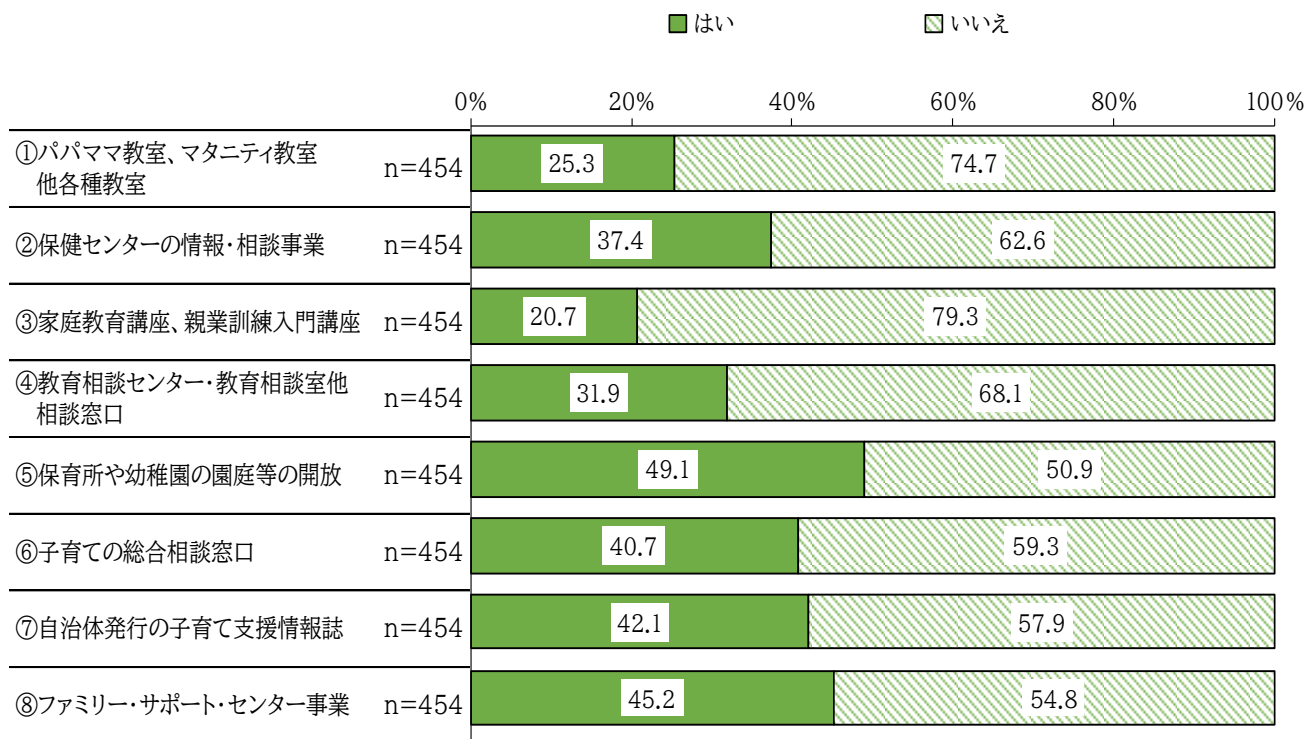
B これまでに利用したことがある

「①パパママ教室、マタニティ教室他各種教室」(59.2%)、「⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放」(61.7%)で「はい」の割合が高くなっています。一方、「③家庭教育講座、親業訓練入門講座」(87.6%)、「④教育相談センター・教育相談室他相談窓口」(90.5%)、「⑥子育ての総合相談窓口」(85.8%)、「⑧ファミリー・サポート・センター事業」(87.8%)で「いいえ」の割合が高くなっています。



C 今後利用したい

「⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放」(49.1%)で「はい」の割合が高くなっています。一方、「①パパママ教室、マタニティ教室他各種教室」(74.7%)、「③家庭教育講座、親業訓練入門講座」(79.3%)で「いいえ」の割合が高くなっています。

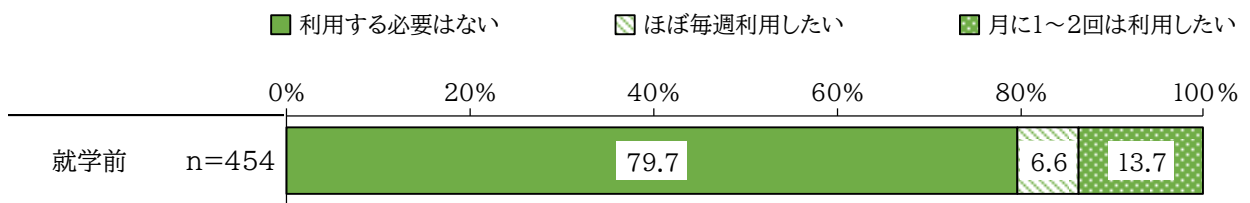


7 宛名のお子さんの土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問 宛名のお子さんについて、父・母・同居の祖父母ともに仕事をしている等の理由で土曜日、日曜日、祝日に、定期的な幼稚園・保育園の利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。当てはまる番号1つに○をつけ、該当する()内には数字でご記入ください。時間は、必ず(例)9時~18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。 【就学前:問20】

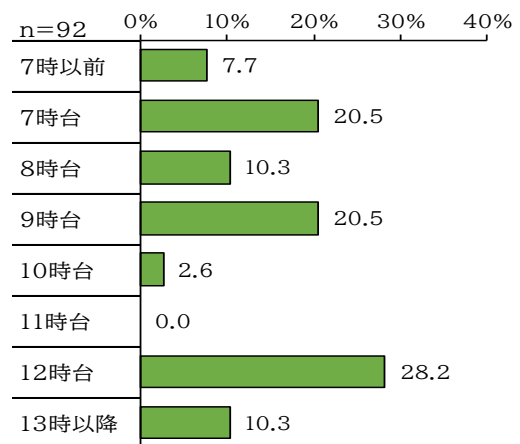
(1)土曜日

「利用する必要はない」が79.7%で最も高く、次いで「月1~2回は利用したい」が13.7%、「ほぼ毎週利用したい」が6.6%となっています。



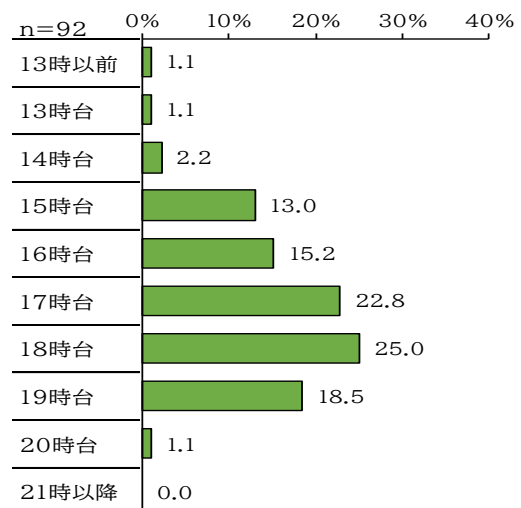
①土曜日の利用開始時間

「12時台」が28.2%で最も高く、次いで「7時台」「9時台」がともに20.5%、「8時台」「13時以降」がともに10.3%となっています。



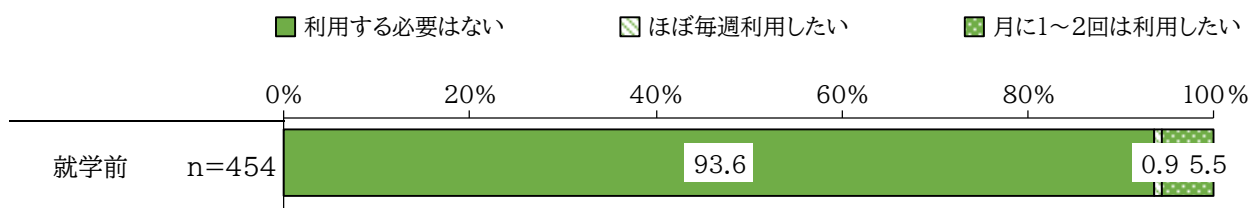
②土曜日の利用終了時間

「18時台」が25.0%で最も高く、次いで「17時台」が22.8%、「19時台」が18.5%となっています。



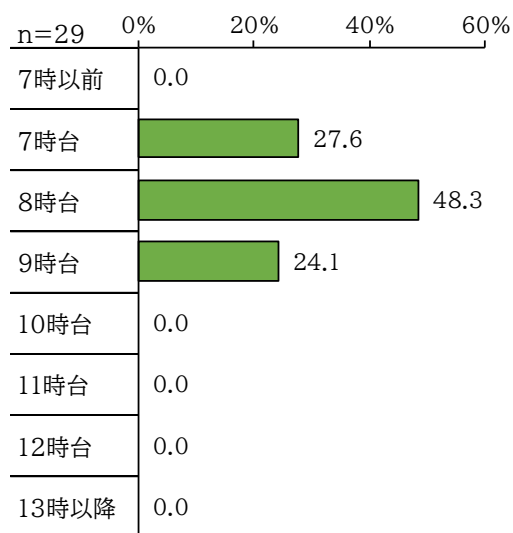
(2)日曜日

「利用する必要はない」が93.6%で最も高く、次いで「月1～2回は利用したい」が5.5%、「ほぼ毎週利用したい」が0.9%となっています。



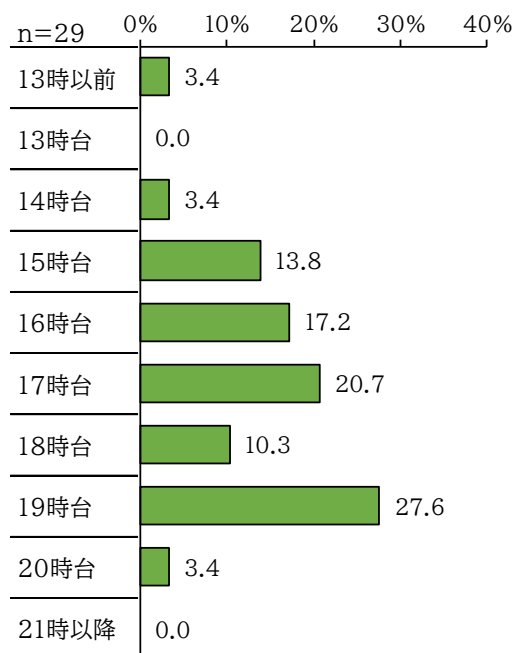
①日曜日の利用開始時間

「8時台」が48.3%で最も高く、次いで「7時台」が27.6%、「9時台」が24.1%となっています。



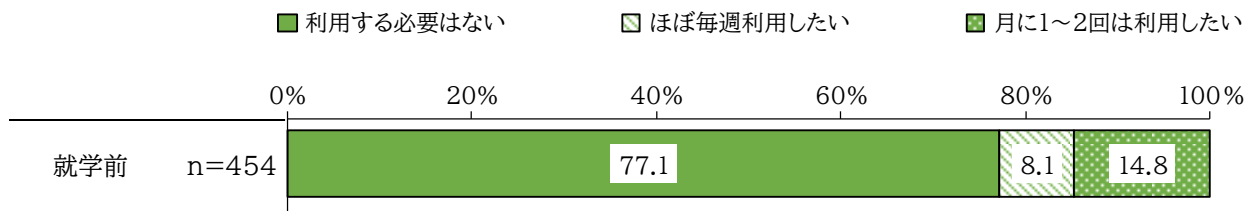
②日曜日の利用終了時間

「19時台」が27.6%で最も高く、次いで「17時台」が20.7%、「16時台」が17.2%となっています。



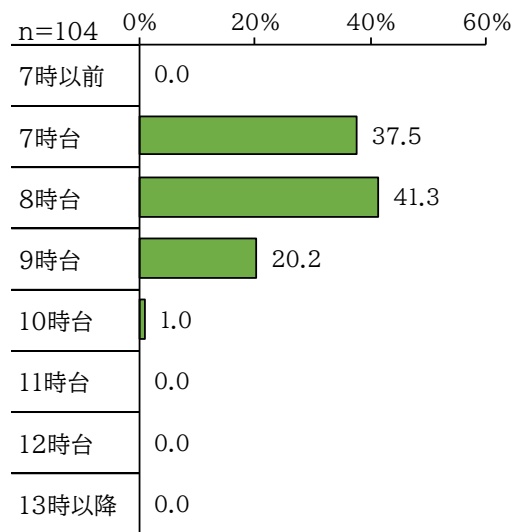
(3) 祝日

「利用する必要はない」が77.1%で最も高く、次いで「月に1~2回は利用したい」が14.8%、「ほぼ毎週利用したい」が8.1%となっています。



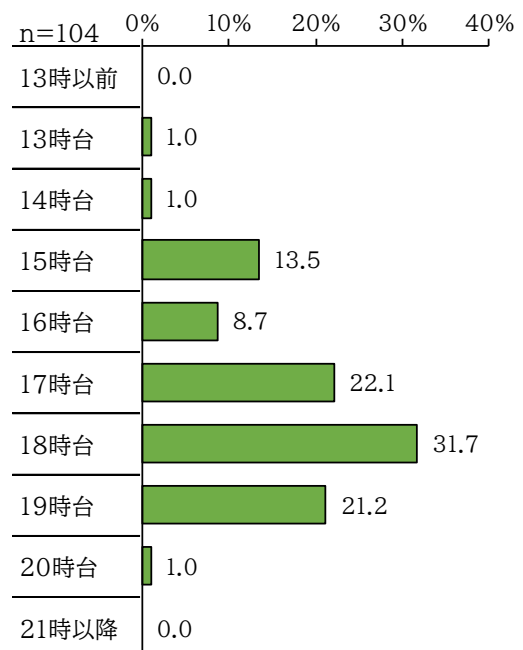
① 祝日の利用開始時間

「8時台」が41.3%で最も高く、次いで「7時台」が37.5%、「9時台」が20.2%となっています。



② 祝日の利用終了時間

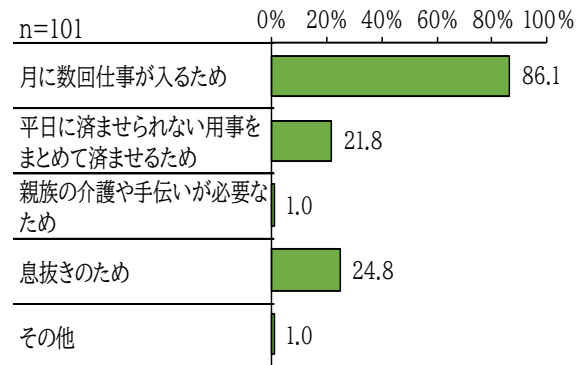
「18時台」が31.7%で最も高く、次いで「17時台」が22.1%、「19時台」が21.2%となっています。



問20の(1)から(3)のいずれかで、「3.月に1~2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。 【就学前:問20-1】

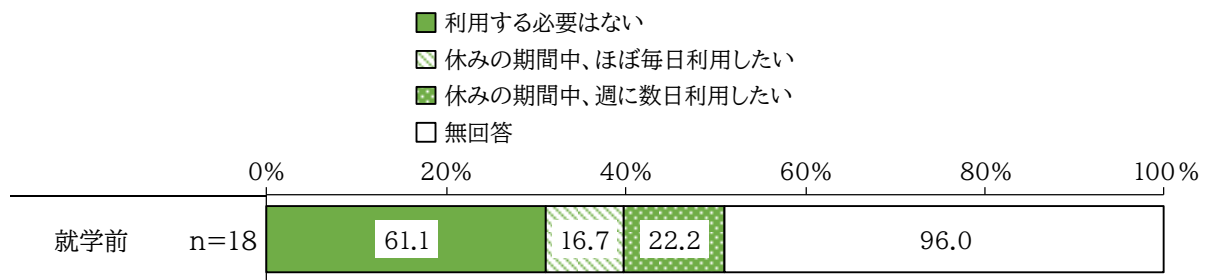
「月に数回仕事が入るため」が86.1%で最も高く、次いで「息抜きのため」が24.8%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が21.8%となっています。



「幼稚園(認定こども園を除く)」を利用されている方にうかがいます。

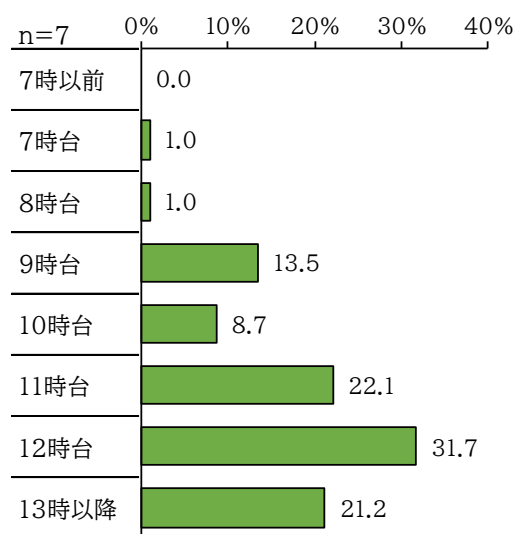
問 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の幼稚園、保育園の利用を希望しますか。当てはまる番号1つに○をつけ、該当する()内には数字でご記入ください。時間は、必ず(例)9時~18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。 【就学前:問21】

「利用する必要はない」が61.1%で最も高く、次いで「休みの期間中、週に数日利用したい」が22.2%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が16.7%となっています。



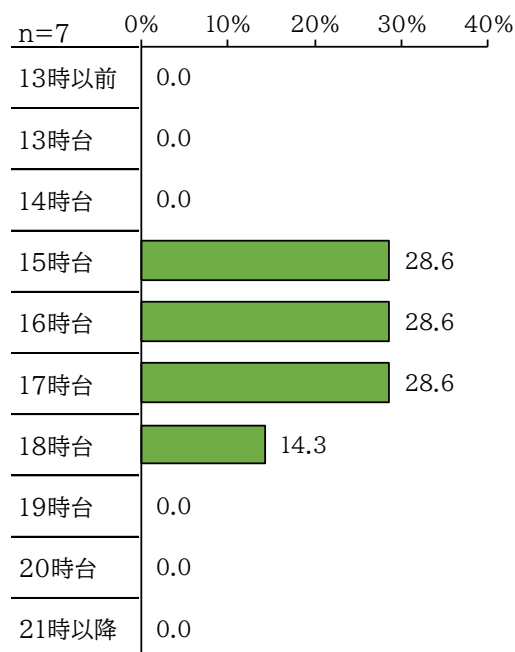
①「2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」の利用開始時間

「12時台」が31.7%で最も高く、次いで「11時台」が22.1%、「13時以降」が21.2%となっています。



②「2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」の利用終了時間

「15時台」「16時台」「17時台」がともに28.6%で最も高く、次いで「18時台」が14.3%となっています。



問21で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
 問 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。 【就学前:問21-1】

「週に数回仕事が入るため」「買い物等の用事をまとめて済ませるため」「息抜きのため」がともに2件となっています。(有効回答数が少ないためグラフ省略)

8 宛名のお子さんの病気の際の対応について

(就学前)平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方(問15で「1.利用している」に○をつけた方)にうかがいます。利用していない方は、問23にお進みください。

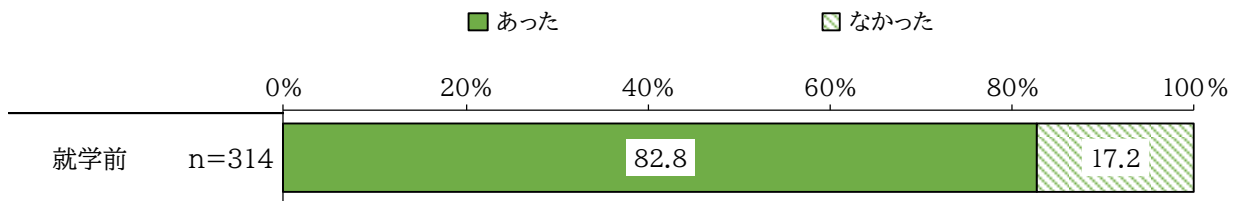
問 この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで通常の事業が利用できなかったことはありますか。 【就学前:問22】

問 この1年間に、宛名のお子さんが病気やけがで学校を休んだことはありますか。

【小学生:問14】

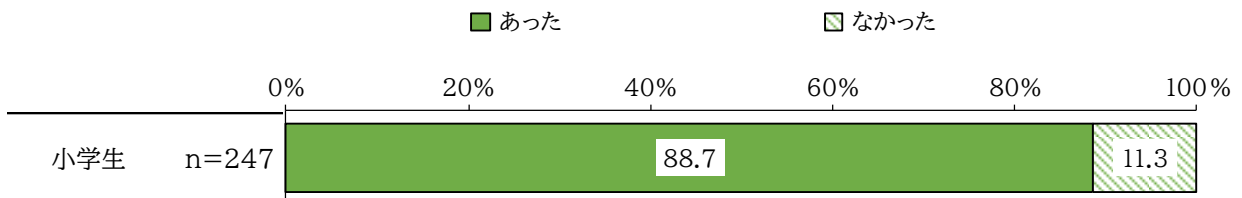
就学前

「あった」が82.8%、「なかった」が17.2%となっています。



小学生

「あった」が88.7%、「なかった」が11.3%となっています。



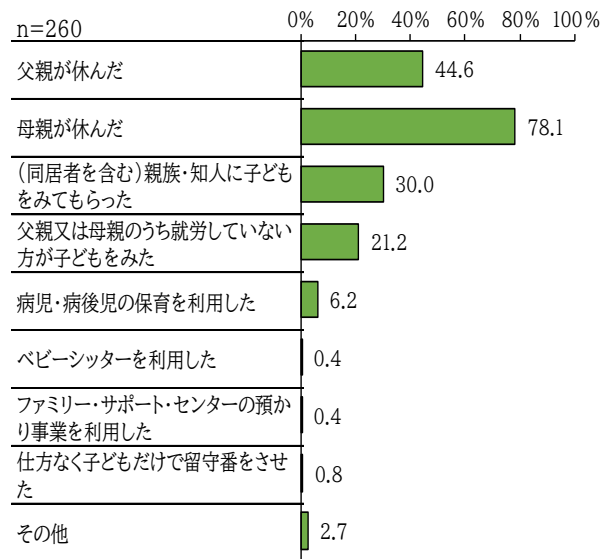
(小学生)問14で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。

問 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。) 【就学前:問22-1】

問 宛名のお子さんが病気やけがで学校を休んだ場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。) 【小学生:問14-1】

就学前

「母親が休んだ」が78.1%で最も高く、次いで「父親が休んだ」が44.6%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が30.0%となっています。



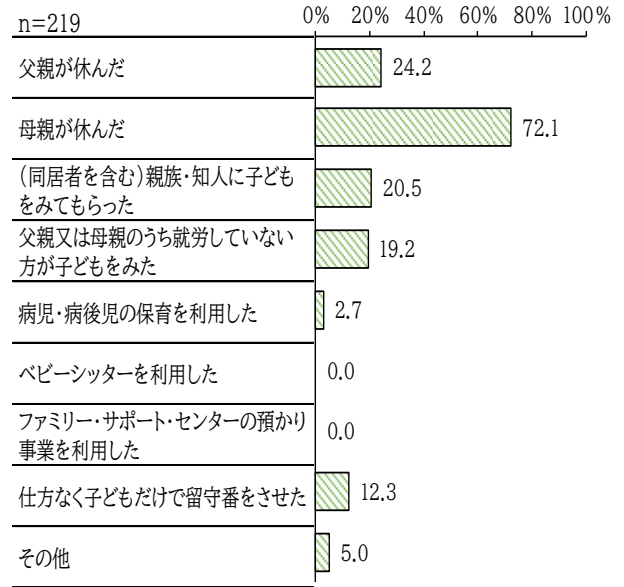
1年間の対処方法でみると、「エ 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が「20～30日」(40.0%)で割合が高くなっています。

単位:%

| 区分 | 全 体 (件) | 1 | 2 | 4 | 6 | 1 | 2 | 3 | 無 回 答 |
|------------------------------|-----------------------|------|-------|-------|-------|------|------|-----|-------------|
| | | 日 | 3 | 5 | 9 | 0 | 0 | 1 | |
| | | | 日 | 日 | 日 | 1 | 1 | 日 | |
| | | | | | | 9 | 3 | 以上 | |
| | | | | | | 日 | 0 | | |
| | | | | | | 日 | 日 | | |
| ア 父親が休んだ | 116 | 18.1 | 33.6 | 20.7 | 6.0 | 17.2 | 2.6 | - | 1.7 |
| イ 母親が休んだ | 203 | 3.9 | 11.3 | 19.7 | 12.3 | 29.1 | 19.2 | 3.4 | 1.0 |
| ウ (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった | 78 | 10.3 | 30.8 | 19.2 | 1.3 | 28.2 | 9.0 | - | 1.3 |
| エ 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた | 55 | 3.6 | 9.1 | 10.9 | 14.5 | 12.7 | 40.0 | 3.6 | 5.5 |
| オ 病児・病後児の保育を利用した | 16 | 12.5 | 37.5 | 12.5 | 18.8 | 6.3 | 12.5 | - | - |
| カ ベビーシッターを利用した | 1 | - | - | - | 100.0 | - | - | - | - |
| キ ファミリー・サポート・センターの預かり事業を利用した | 1 | - | - | 100.0 | - | - | - | - | - |
| ク 仕方なく子どもだけで留守番をさせた | 2 | - | 100.0 | - | - | - | - | - | - |
| ケ その他 | 7 | - | 57.1 | 14.3 | 28.6 | - | - | - | - |

小学生

「母親が休んだ」が72.1%で最も高く、次いで「父親が休んだ」が24.2%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が20.5%となっています。



1年間の対処方法でみると、「ウ (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が「2~3日」(53.3%)で割合が高くなっています。

単位: %

| 区分 | 全体 (件) | 1 | 2 | 4 | 6 | 1 | 2 | 3 | 無 回 答 |
|------------------------------|-----------|------|-------------|-------------|-------------|-----------------------|-----------------------|------------------|-------------|
| | | 日 | ~ 3 日 | ~ 5 日 | ~ 9 日 | 0 ~ 1 9 日 | 0 ~ 3 0 日 | 1 日 以 上 | |
| ア 父親が休んだ | 53 | 22.6 | 32.1 | 26.4 | 9.4 | 9.4 | - | - | - |
| イ 母親が休んだ | 158 | 10.8 | 25.9 | 19.6 | 13.3 | 22.8 | 5.7 | - | 1.9 |
| ウ (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった | 45 | 6.7 | 53.3 | 8.9 | 4.4 | 13.3 | 2.2 | 2.2 | 8.9 |
| エ 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた | 42 | 7.1 | 21.4 | 9.5 | 14.3 | 26.2 | 16.7 | 2.4 | 2.4 |
| オ 病児・病後児の保育を利用した | 6 | 33.3 | 16.7 | 16.7 | 16.7 | - | - | - | 16.7 |
| カ ベビーシッターを利用した | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| キ ファミリー・サポート・センターの預かり事業を利用した | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| ク 仕方なく子どもだけで留守番をさせた | 27 | 25.9 | 29.6 | 29.6 | - | 7.4 | - | - | 7.4 |
| ケ その他 | 11 | 9.1 | 45.5 | 9.1 | 9.1 | 27.3 | - | - | - |

(就学前)問22-1で「ア 父親が休んだ」「イ 母親が休んだ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

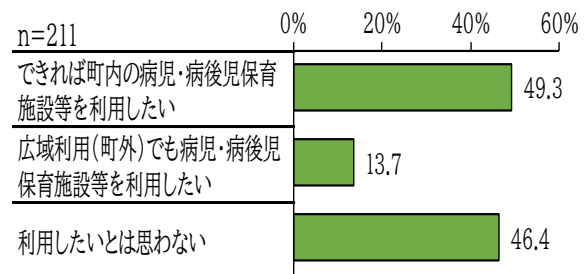
(小学生)問14-1で「ア 父親が休んだ」「イ 母親が休んだ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となる場合があります。また事前に登録が必要な場合もあります。【就学前:問22-2】

問 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても()内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となる場合があります。また事前に登録が必要な場合もあります。【小学生:問14-2】

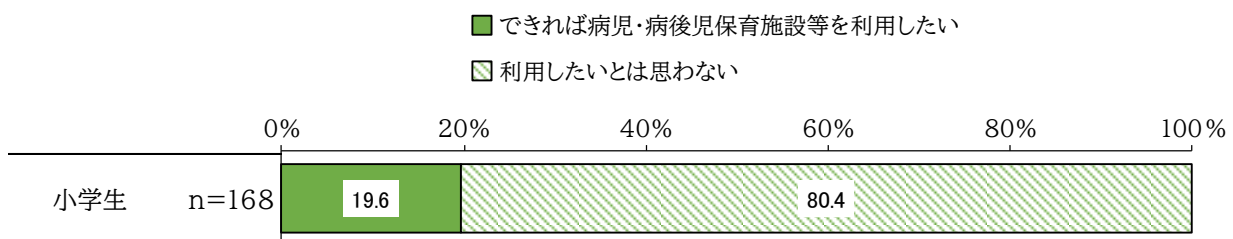
就学前

「できれば町内の病児・病後児保育施設等を利用したい」が49.3%で最も高く、次いで「利用したいとは思わない」が46.4%、「広域利用(町外)でも病児・病後児保育施設等を利用したい」が13.7%となっています。



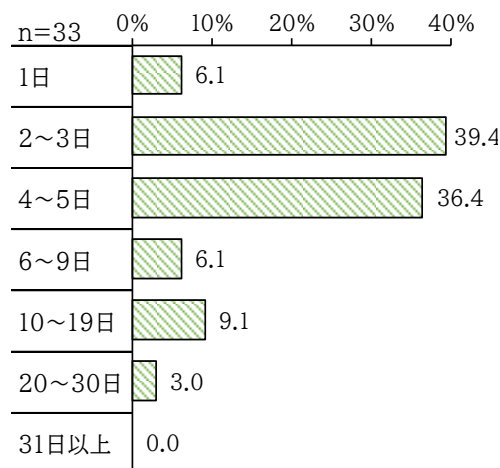
小学生

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が19.6%、「利用したいとは思わない」が80.4%となっています。



①「父親が休んだ」「母親が休んだ」の日数のうち利用したい日数

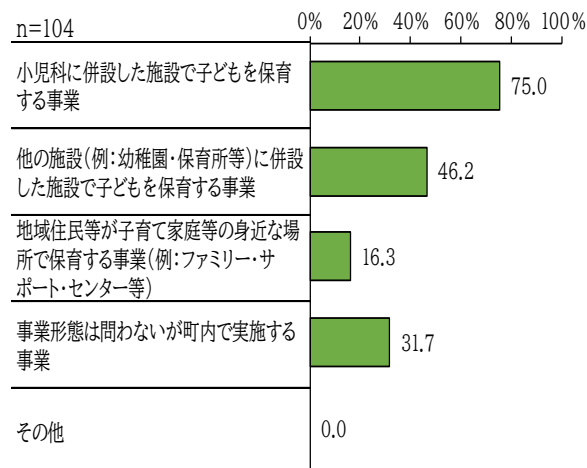
「2～3日」が39.4%で最も高く、次いで「4～5日」が36.4%、「10～19日」が9.1%となっています。



(就学前)問22-2で「1. できれば町内の病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
 (小学前)問14-2「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
 問 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。【就学前:問22-3、小学生:問14-3】

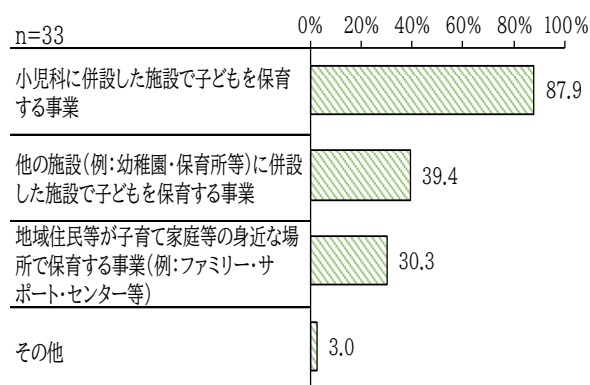
就学前

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が75.0%で最も高く、次いで「他の施設(例:幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業」が46.2%、「事業形態は問わないが町内で実施する事業」が31.7%となっています。



小学生

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が87.9%で最も高く、次いで「他の施設(例:幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業」が39.4%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)」が30.3%となっています。

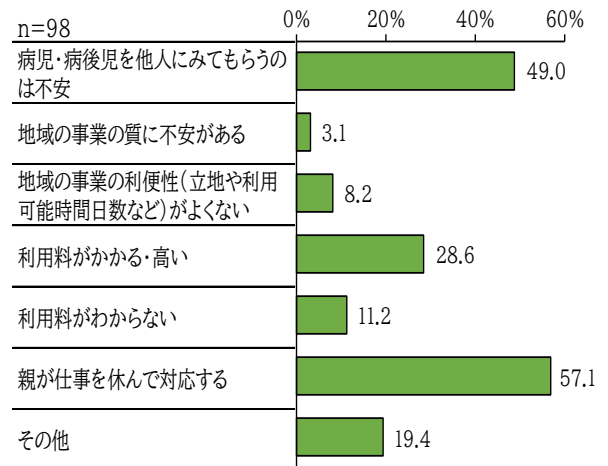


(就学前)問22-2で「3. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。
 (小学生)問14-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。
 問 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

【就学前:問22-4、小学生:問14-4】

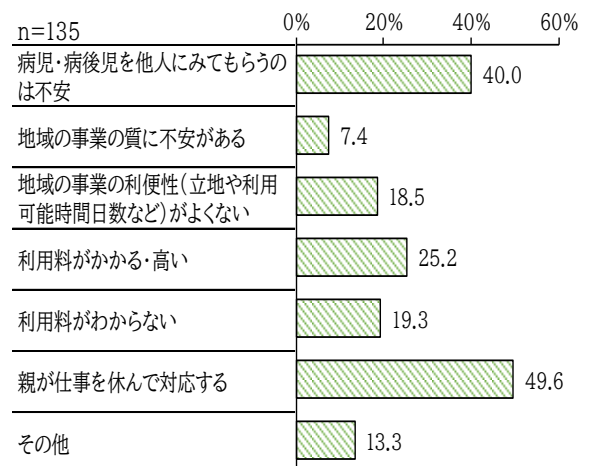
就学前

「親が仕事を休んで対応する」が57.1%で最も高く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が49.0%、「利用料がかかる・高い」が28.6%となっています。



小学生

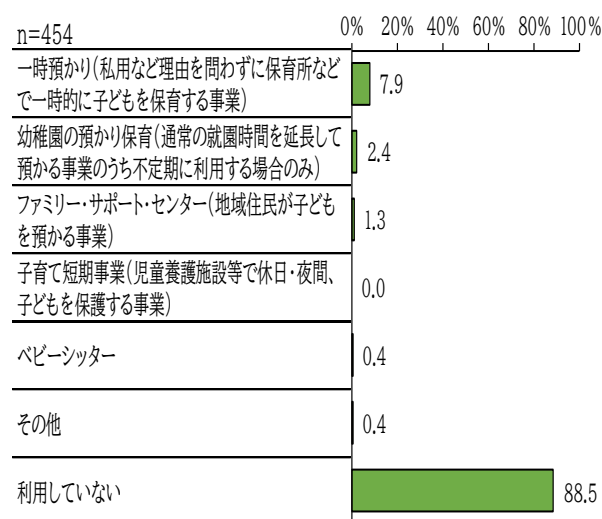
「親が仕事を休んで対応する」が49.6%で最も高く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が40.0%、「利用料がかかる・高い」が25.2%となっています。



9 宛名のお子さんの不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数(おおよそ)も()内に数字でご記入ください。 【就学前・問23】

「利用していない」が88.5%で最も高く、次いで「一時預かり(私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)」が7.9%、「幼稚園の預かり保育(通常就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)」が2.4%、「ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)」が1.3%、「子育て短期事業(児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)」が0.0%、「ベビーシッター」が0.4%、「その他」が0.4%となっています。



1年間の利用日数

「幼稚園の預かり保育」が「2~3日」(36.4%)で割合が高くなっています。

単位: %

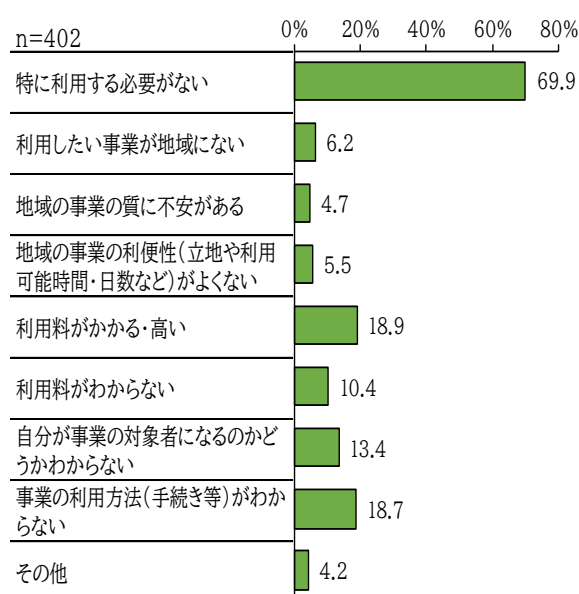
| 区分 | 全体(件) | 1日 | 2~3日 | 4~5日 | 6~9日 | 10~19日 | 20~29日 | 30日以上 | 無回答 |
|--------------------|-------|------|------|------|------|--------|--------|-------|-----|
| 1. 一時預かり | 36 | 5.6 | 16.7 | 13.9 | 2.8 | 22.2 | 19.4 | 19.4 | - |
| 2. 幼稚園の預かり保育 | 11 | 9.1 | 36.4 | 9.1 | - | 27.3 | 9.1 | 9.1 | 0.0 |
| 3. ファミリー・サポート・センター | 6 | 16.7 | 16.7 | 16.7 | - | 16.7 | - | 16.7 | - |
| 4. 子育て短期事業 | 0 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 5. ベビーシッター | 2 | - | 50.0 | - | 50.0 | - | - | - | - |
| 6. その他 | 2 | - | - | - | - | 100.0 | - | - | - |

問23で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

【就学前:問23-1】

「特に利用する必要がない」が69.9%で最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」が18.9%、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」が18.7%となっています。

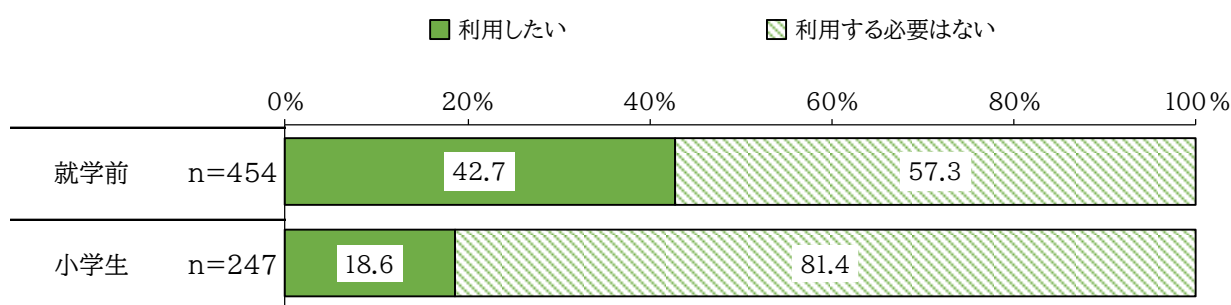


問 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください(利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を()内に数字でご記入ください。)なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生する場合があります。

【就学前:問24、小学生:問15】

就学前は、「利用したい」が42.7%、「利用する必要はない」が57.3%となっています。

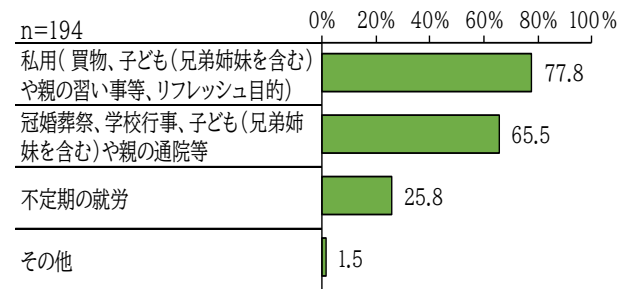
小学生は、「利用したい」が18.6%、「利用する必要はない」が81.4%となっています。



就学前

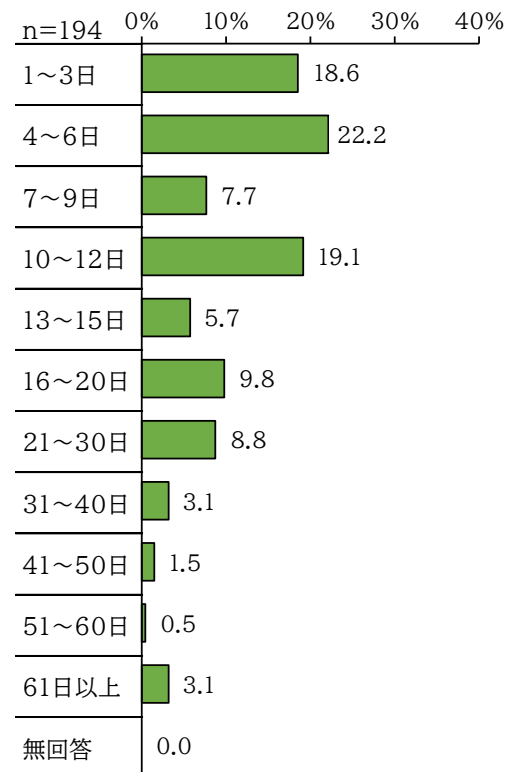
利用したい目的

「私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等、リフレッシュ目的)」が77.8%で最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等」が65.5%、「不定期の就労」が25.8%となっています。



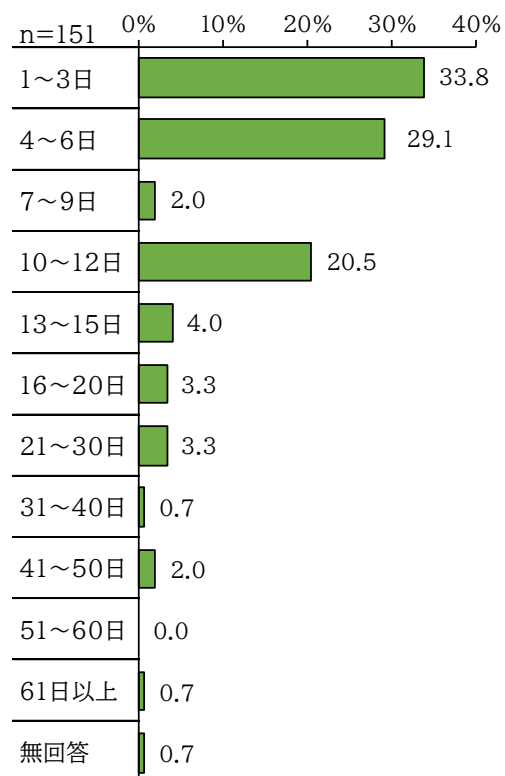
①合計利用日数

「4~6日」が22.2%で最も高く、次いで「10~12日」が19.1%、「1~3日」が18.6%となっています。



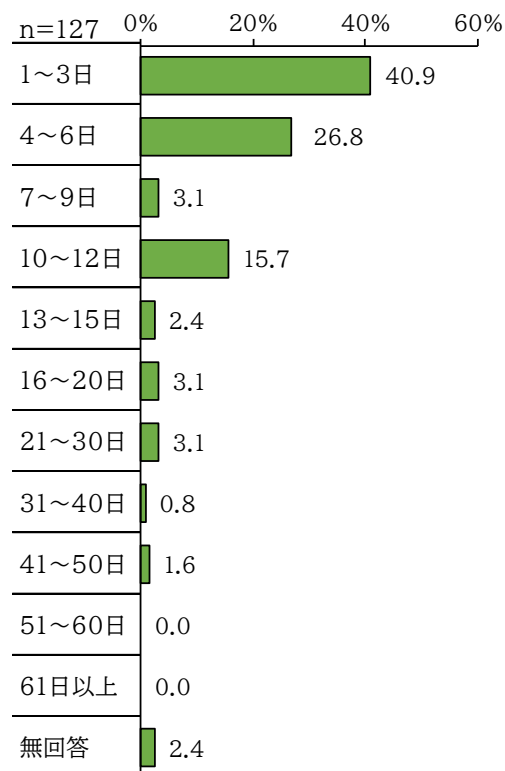
②ア 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等、リフレッシュ目的)の日数

「1～3日」が33.8%で最も高く、次いで「4～6日」が29.1%、「10～12日」が20.5%となっています。



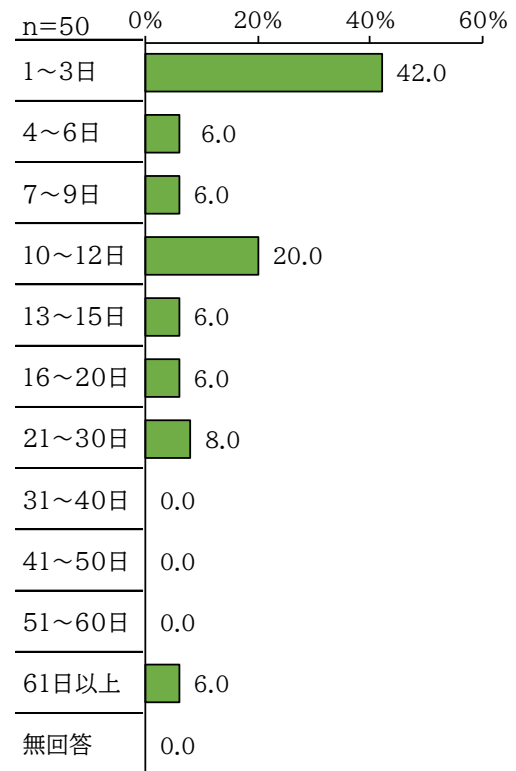
③イ 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等の日数

「1～3日」が40.9%で最も高く、次いで「4～6日」が26.8%、「10～12日」が15.7%となっています。



④ウ 不定期の就労の日数

「1～3日」が42.0%で最も高く、次いで「10～12日」が20.0%、「21～30日」が8.0%となっています。



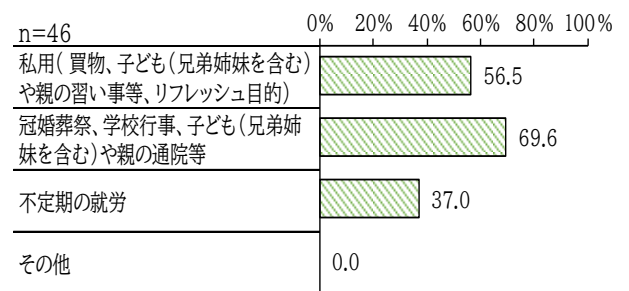
⑤エ その他の日数

「4～6日」が2件、「1～3日」が1件となっています。(有効回答数が少ないためグラフ省略)

小学生

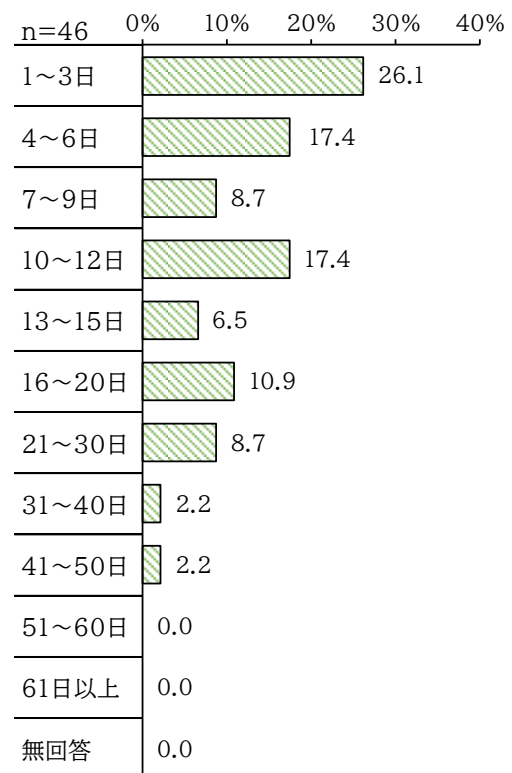
利用したい目的

「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等」が69.6%で最も高く、次いで「私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等、リフレッシュ目的)」が56.5%、「不定期の就労」が37.0%となっています。



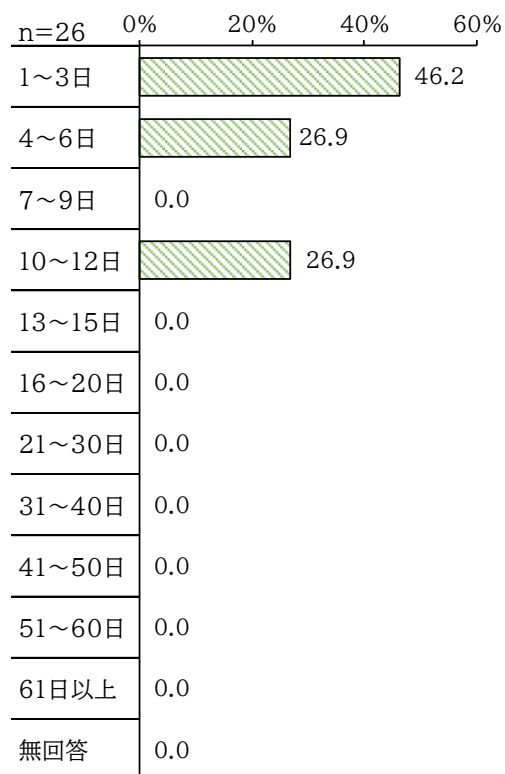
①合計利用日数

「1~3日」が26.1%で最も高く、次いで「4~6日」「10~12日」がともに17.4%、「16~20日」が10.9%となっています。



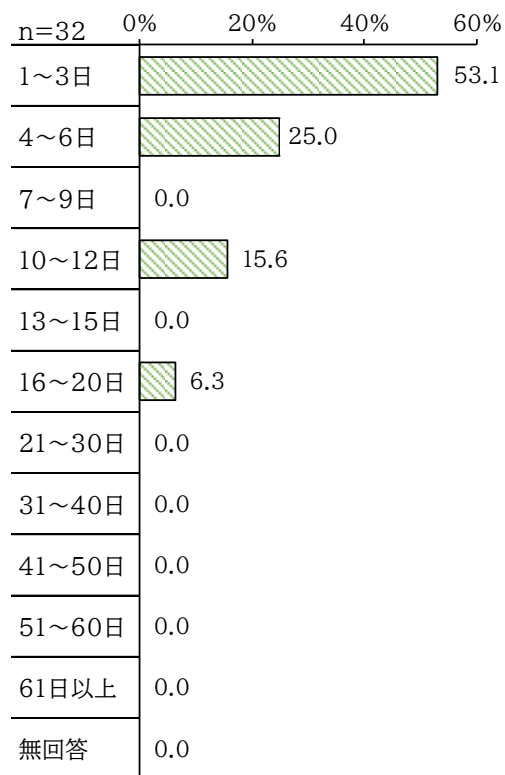
②ア 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等、リフレッシュ目的)の日数

「1～3日」が46.2%で最も高く、次いで「4～6日」「10～12日」がともに26.9%となっています。



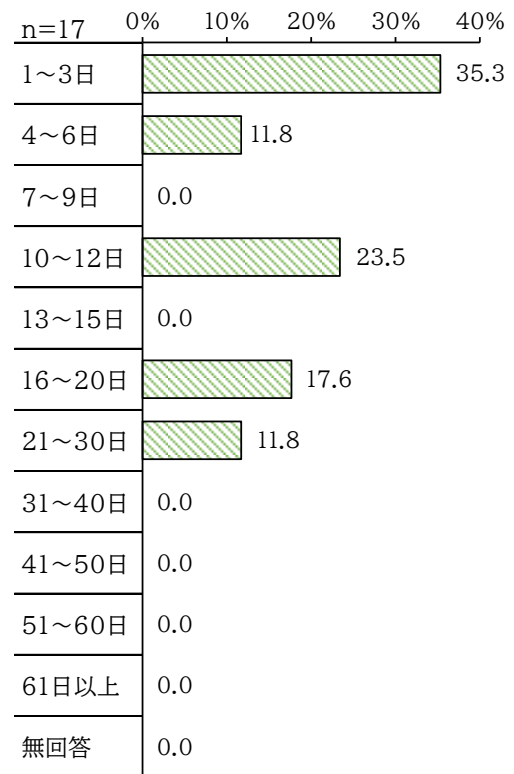
③イ 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等の日数

「1～3日」が53.1%で最も高く、次いで「4～6日」が25.0%、「10～12日」が15.6%となっています。



④ウ 不定期の就労の日数

「1～3日」が35.3%で最も高く、次いで「10～12日」が23.5%、「16～20日」が17.6%となっています。



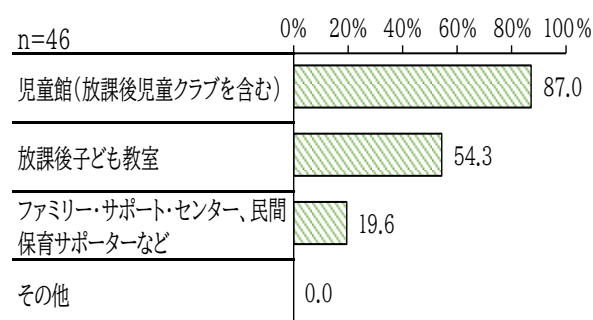
⑤エ その他の日数

有効回答数はありませんでした。

問15で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

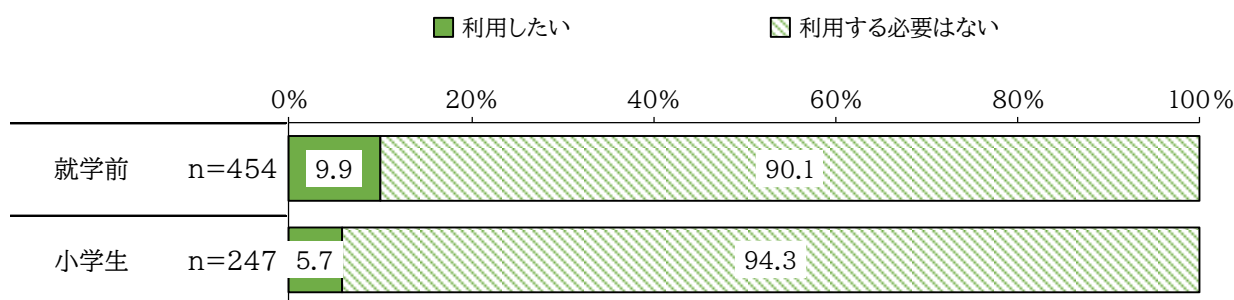
問 問15の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。 【小学生：問15-1】

「児童館（放課後児童クラブを含む）」が87.0%で最も高く、次いで「放課後子ども教室」が54.3%、「ファミリー・サポート・センター、民間保育サポーターなど」が19.6%となっています。



問 宛名のお子さんについて、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹含む)の育児疲れや育児不安、病気など)により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業(ショートステイ)(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)の利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください(利用したい泊数の合計と、目的別の内訳の泊数を(□)内に数字でご記入ください。なお事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかる場合があります。 【就学前：問25、小学生：問16】

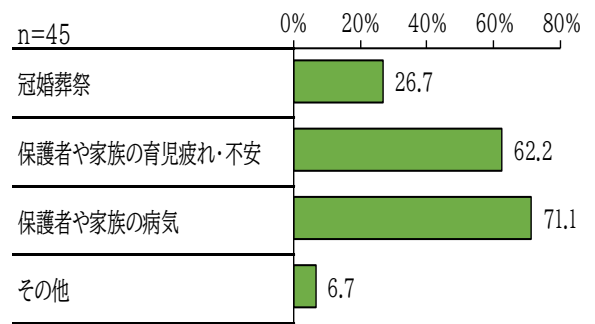
就学前は、「利用したい」が9.9%、「利用する必要はない」が90.1%となっています。小学生は、「利用したい」が5.7%、「利用する必要はない」が94.3%となっています。



就学前

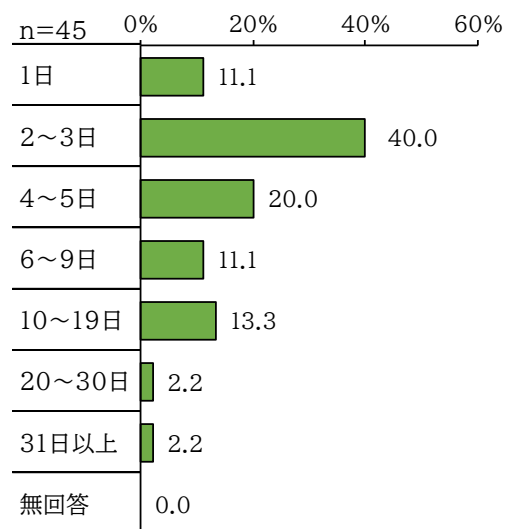
利用したい目的

「保護者や家族の病気」が71.1%で最も高く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」が62.2%、「冠婚葬祭」が26.7%となっています。



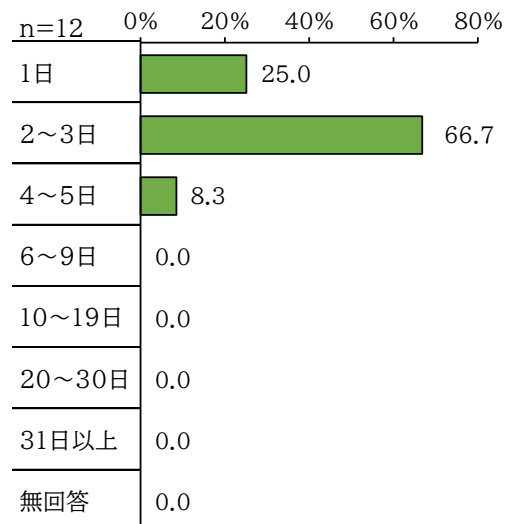
①短期入所生活援助事業の宿泊利用日数

「2～3日」が40.0%で最も高く、次いで「4～5日」が20.0%、「10～19日」が13.3%となっています。



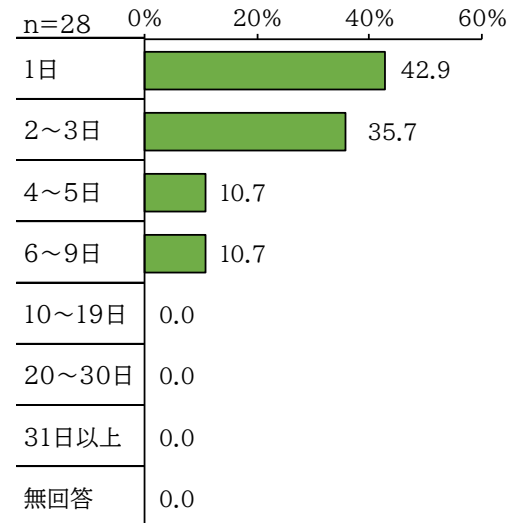
②ア 冠婚葬祭の宿泊利用日数

「2～3日」が66.7%で最も高く、次いで「1日」が25.0%、「4～5日」が8.3%となっています。



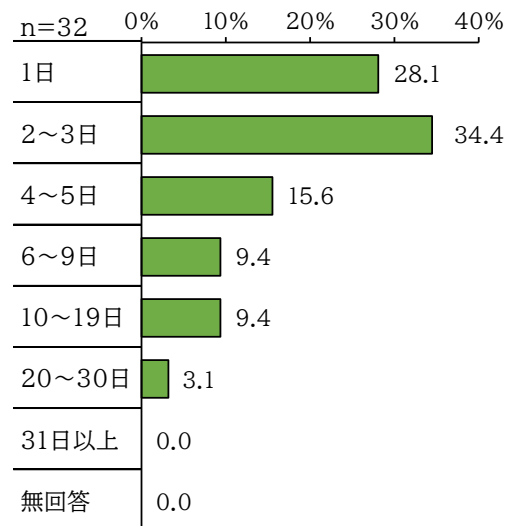
③イ 保護者や家族の育児疲れ・不安の宿泊利用日数

「1日」が42.9%で最も高く、次いで「2～3日」が35.7%、「4～5日」「6～9日」がともに10.7%となっています。



④ウ 保護者や家族の病気の宿泊利用日数

「2～3日」が34.4%で最も高く、次いで「1日」が28.1%、「4～5日」が15.6%となっています。



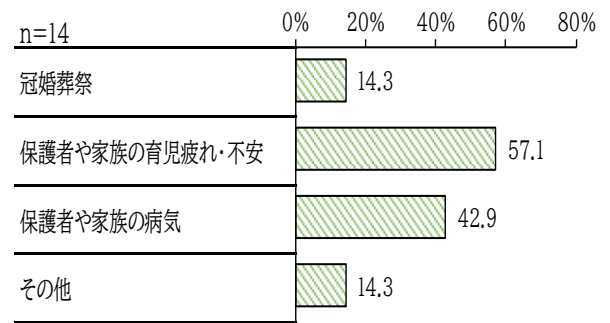
⑤エ その他の宿泊利用日数

「無回答」が3件となっています。(有効回答数が少ないためグラフ省略)

小学生

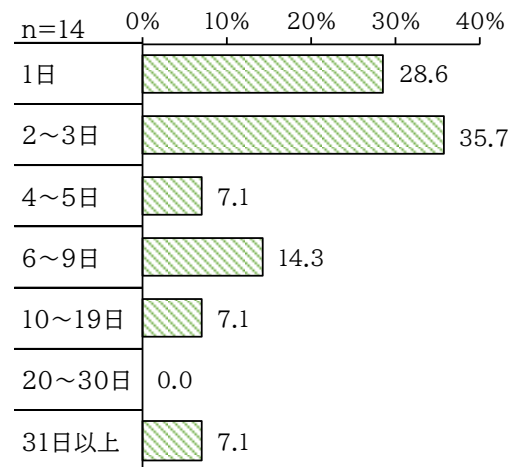
利用したい目的

「保護者や家族の育児疲れ・不安」が57.1%で最も高く、次いで「保護者や家族の病気」が42.9%、「冠婚葬祭」が14.3%となっています。



①短期入所生活援助事業の宿泊利用日数

「2～3日」が35.7%で最も高く、次いで「1日」が28.6%、「6～9日」が14.3%となっています。



②ア 冠婚葬祭の宿泊利用日数

「1日」が2件となっています。(有効回答数が少ないためグラフ省略)

③イ 保護者や家族の育児疲れ・不安の宿泊利用日数

「2～3日」が3件、「1日」「10～19日」がともに2件、「6～9日」が1件となっています。(有効回答数が少ないためグラフ省略)

④ウ 保護者や家族の病気の宿泊利用日数

「2～3日」が4件、「1日」「20～30日」がともに1件となっています。(有効回答数が少ないためグラフ省略)

⑤エ その他の宿泊利用日数

「1日」「2～3日」がともに1件となっています。(有効回答数が少ないためグラフ省略)

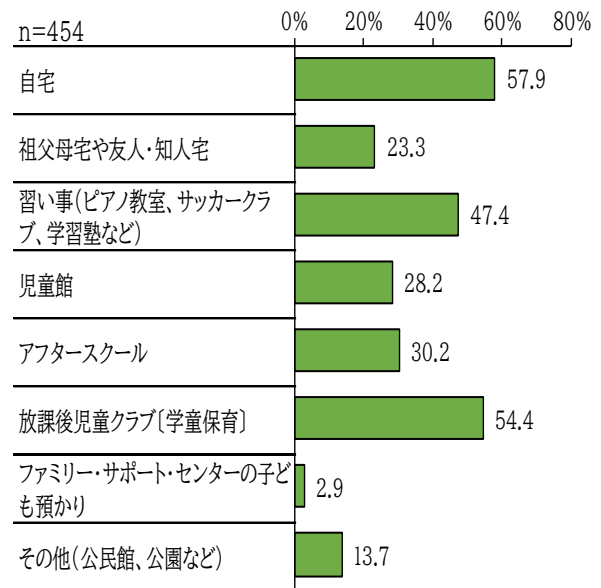
10 放課後の過ごし方について

(小学生)小学校低学年(1~3年)のお子さんがいる方にかがいます。

問 宛名のお子さんについて、小学校低学年(1~3年生)のうち、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する1週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も()内に数字でご記入ください。時間は必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください。 【就学前:問26、小学生:問17】

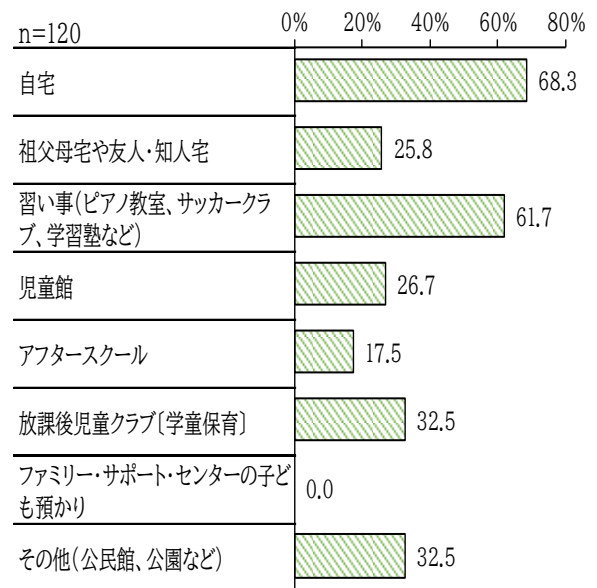
就学前

「自宅」が57.9%で最も高く、次いで「放課後児童クラブ〔学童保育〕」が54.4%、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が47.4%となっています。



小学生

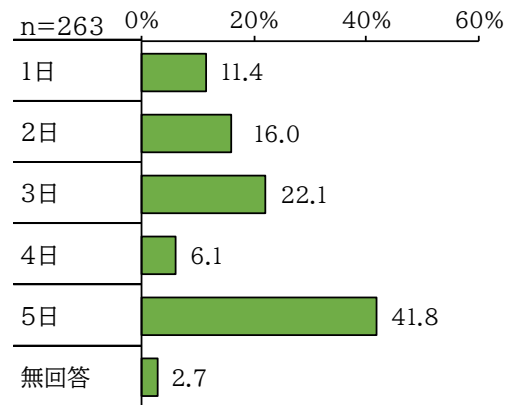
「自宅」が68.3%で最も高く、次いで「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が61.7%、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」「その他(公民館、公園など)」がともに32.5%となっています。



就学前の1週当たりの利用日数

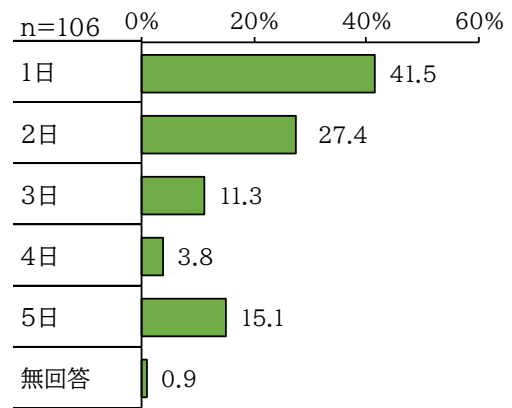
①自宅

「5日」が41.8%で最も高く、次いで「3日」が22.1%、「2日」が16.0%となっています。



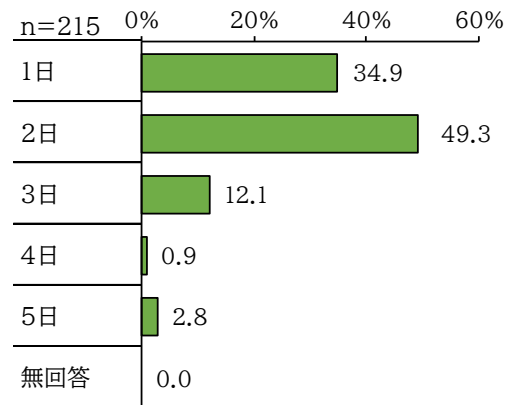
②祖父母宅や友人・知人宅

「1日」が41.5%で最も高く、次いで「2日」が27.4%、「5日」が15.1%となっています。



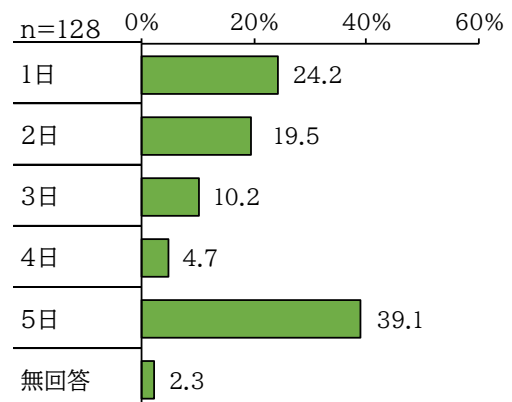
③習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)

「2日」が49.3%で最も高く、次いで「1日」が34.9%、「3日」が12.1%となっています。



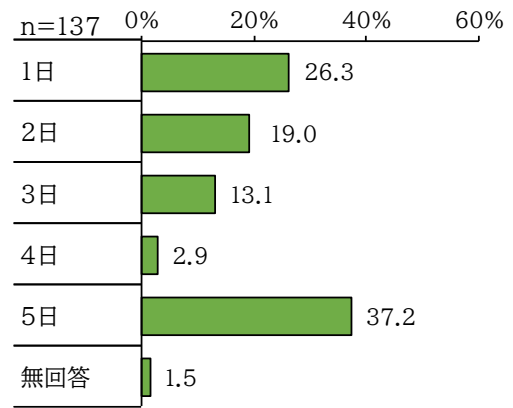
④児童館

「5日」が39.1%で最も高く、次いで「1日」が24.2%、「2日」が19.5%となっています。



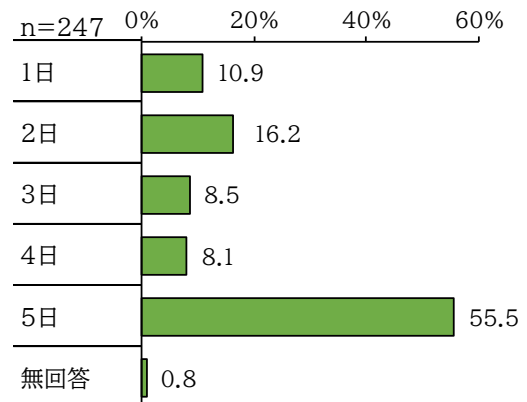
⑤アフタースクール

「5日」が37.2%で最も高く、次いで「1日」が26.3%、「2日」が19.0%となっています。



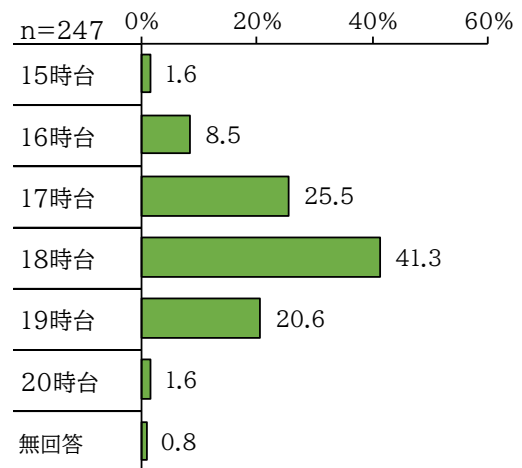
⑥放課後児童クラブ〔学童保育〕

「5日」が55.5%で最も高く、次いで「2日」が16.2%、「1日」が10.9%となっています。



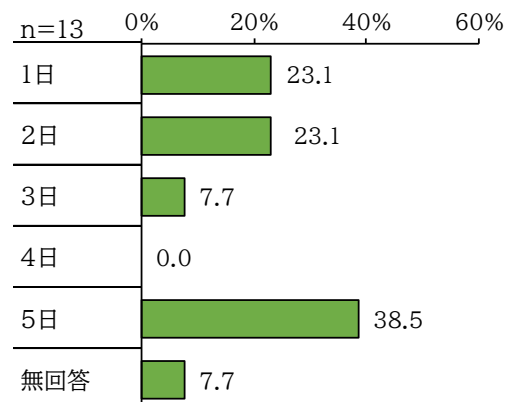
放課後児童クラブの下校時間

「18時台」が41.3%で最も高く、次いで「17時台」が25.5%、「19時台」が20.6%となっています。



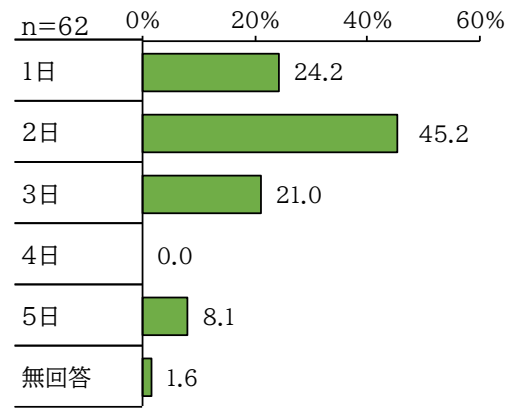
⑦ファミリー・サポート・センターの子ども預かり

「5日」が38.5%で最も高く、次いで「1日」「2日」がともに23.1%となっています。



⑧その他(公民館、公園など)

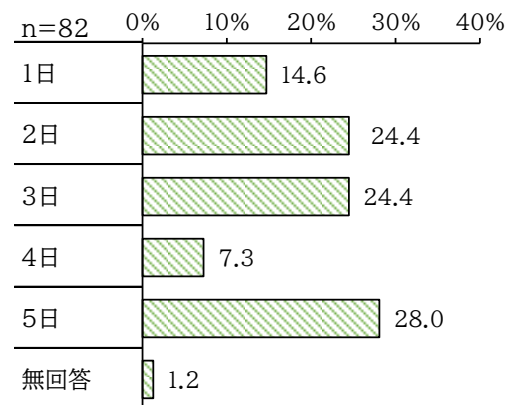
「2日」が45.2%で最も高く、次いで「1日」が24.2%、「3日」が21.0%となっています。



小学生の1週当たりの利用日数

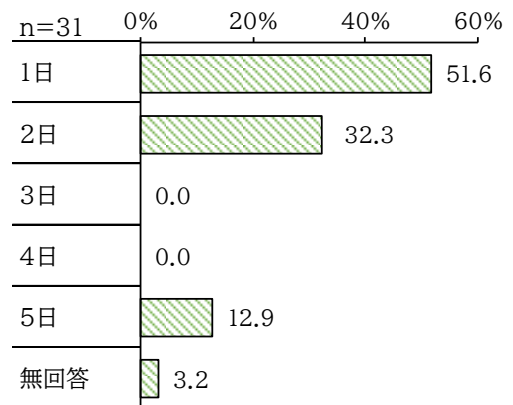
①自宅

「5日」が28.0%で最も高く、次いで「2日」「3日」がともに24.4%、「1日」が14.6%となっています。



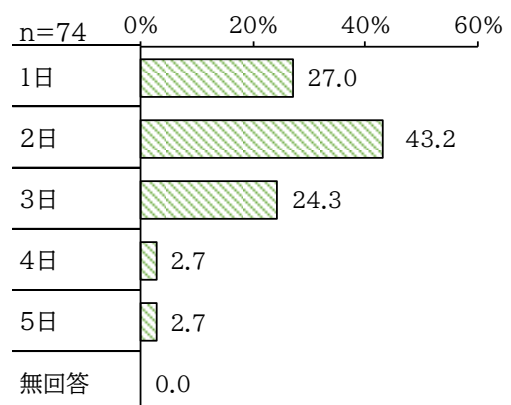
②祖父母宅や友人・知人宅

「1日」が51.6%で最も高く、次いで「2日」が32.3%、「5日」が12.9%となっています。



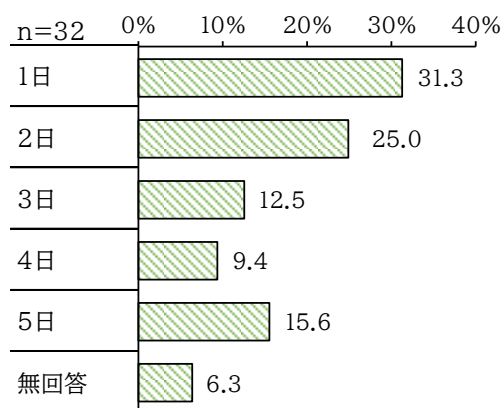
③習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)

「2日」が43.2%で最も高く、次いで「1日」が27.0%、「3日」が24.3%となっています。



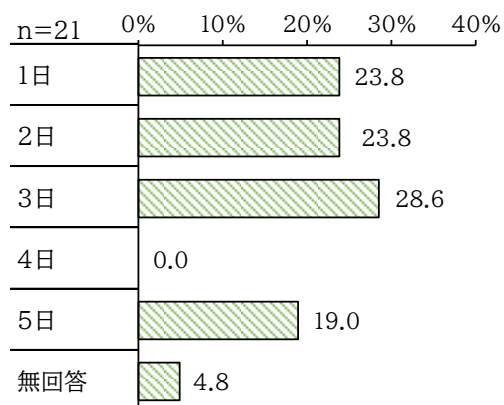
④児童館

「1日」が31.3%で最も高く、次いで「2日」が25.0%、「5日」が15.6%となっています。



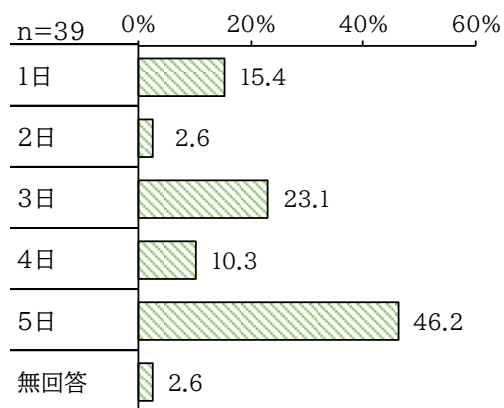
⑤アフタースクール

「3日」が28.6%で最も高く、次いで「1日」「2日」がともに23.8%、「5日」が19.0%となっています。



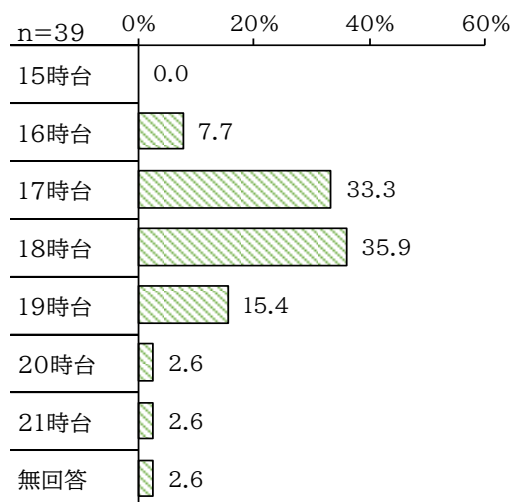
⑥放課後児童クラブ〔学童保育〕

「5日」が46.2%で最も高く、次いで「3日」が23.1%、「1日」が15.4%となっています。



放課後児童クラブの下校時間

「18時台」が35.9%で最も高く、次いで「17時台」が33.3%、「19時台」が15.4%となっています。

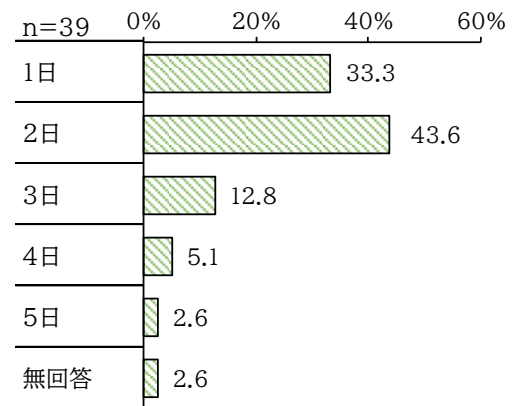


⑦ファミリー・サポート・センターの子ども預かり

有効回答数はありませんでした。(有効回答数がないためグラフ省略)

⑧その他(公民館、公園など)

「2日」が43.6%で最も高く、次いで「1日」が33.3%、「3日」が12.8%となっています。

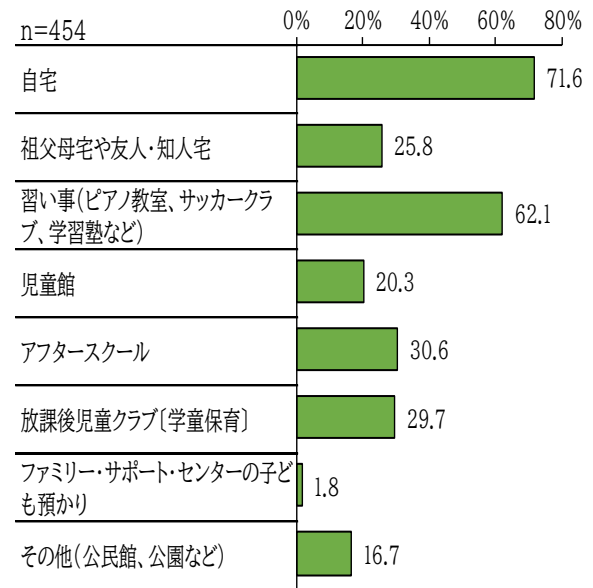


(小学生)小学校高学年(4~6年)のお子さんがある方にうかがいます。

問 宛名のお子さんについて、小学校高学年(4~6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの1週当たりの日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も()内に数字でご記入ください。時間は必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください。 【就学前:問27、小学生:問18】

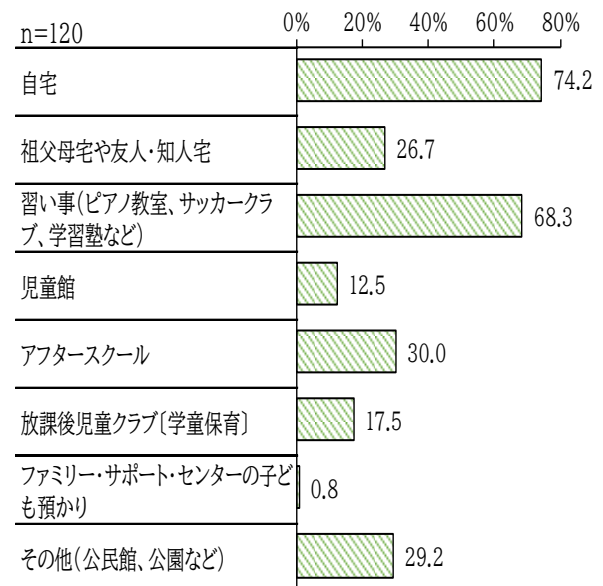
就学前

「自宅」が71.6%で最も高く、次いで「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が62.1、「アフタースクール」が30.6%となっています。



小学生

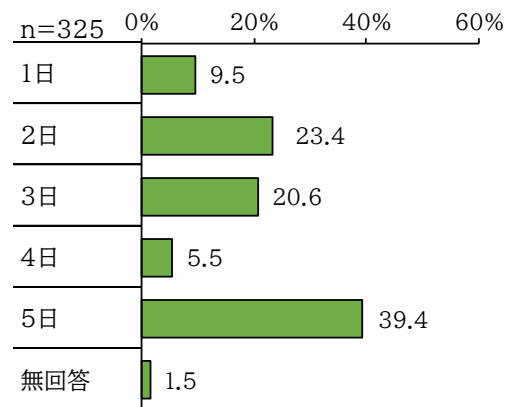
「自宅」が74.2%で最も高く、次いで「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が68.3%、「アフタースクール」が30.0%となっています。



就学前の1週当たりの利用日数

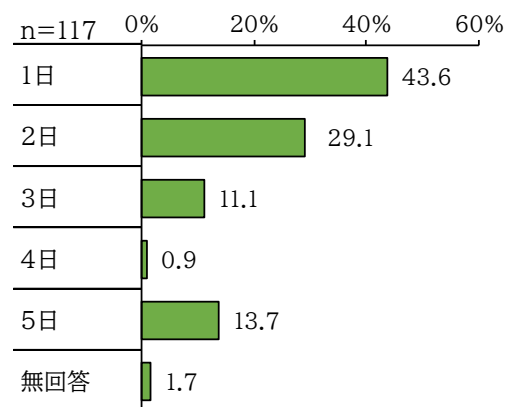
①自宅

「5日」が39.4%で最も高く、次いで「2日」が23.4%、「3日」が20.6%となっています。



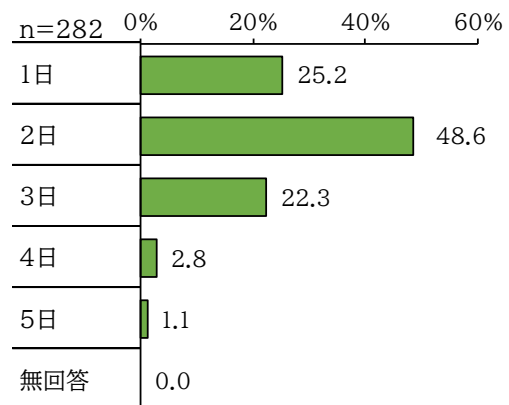
②祖父母宅や友人・知人宅

「1日」が43.6%で最も高く、次いで「2日」が29.1%、「5日」が13.7%となっています。



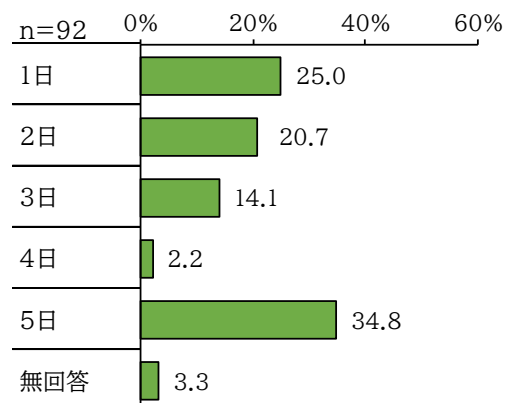
③習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)

「2日」が48.6%で最も高く、次いで「1日」が25.2%、「3日」が22.3%となっています。



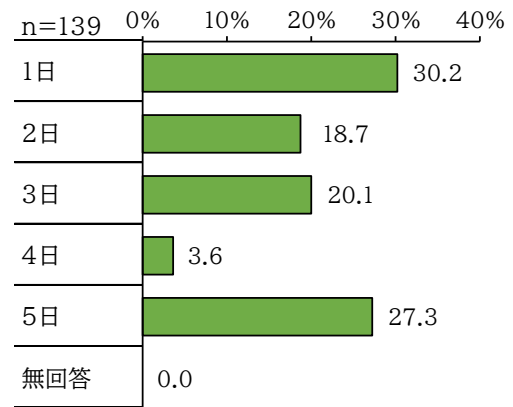
④児童館

「5日」が34.8%で最も高く、次いで「1日」が25.0%、「2日」が20.7%となっています。



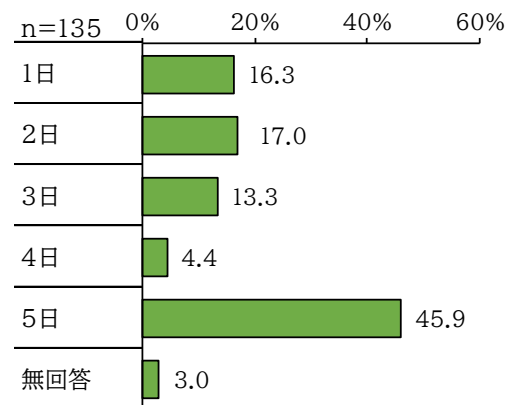
⑤アフタースクール

「1日」が30.2%で最も高く、次いで「5日」が27.3%、「3日」が20.1%となっています。



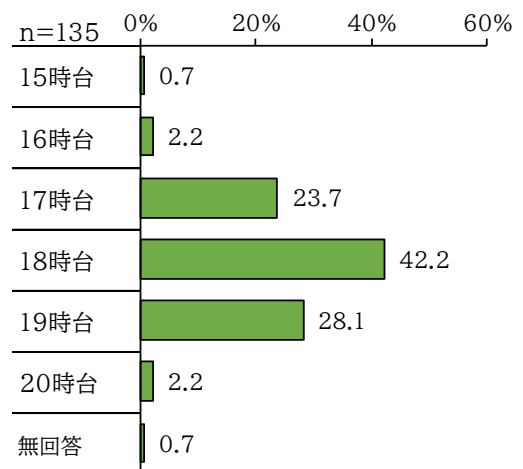
⑥放課後児童クラブ〔学童保育〕

「5日」が45.9%で最も高く、次いで「2日」が17.0%、「1日」が16.3%となっています。



放課後児童クラブの下校時間

「18時台」が42.2%で最も高く、次いで「19時台」が28.1%、「17時台」が23.7%となっています。

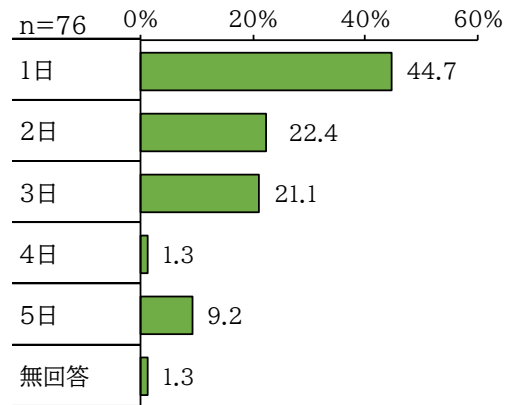


⑦ファミリー・サポート・センターの子ども預かり

「5日」が4件、「2日」が3件、「1日」が1件となっています。(有効回答数が少ないためグラフ省略)

⑧その他(公民館、公園など)

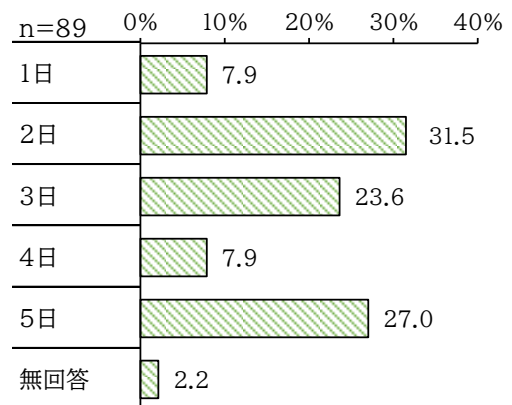
「1日」が44.7%で最も高く、次いで「2日」が22.4%、「3日」が21.1%となっています。



小学生の1週当たりの利用日数

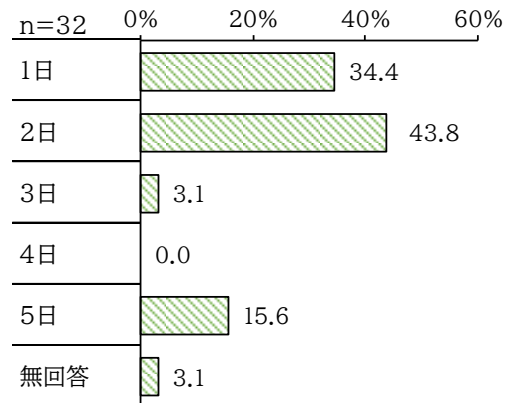
①自宅

「2日」が31.5%で最も高く、次いで「5日」が27.0%、「3日」が23.6%となっています。



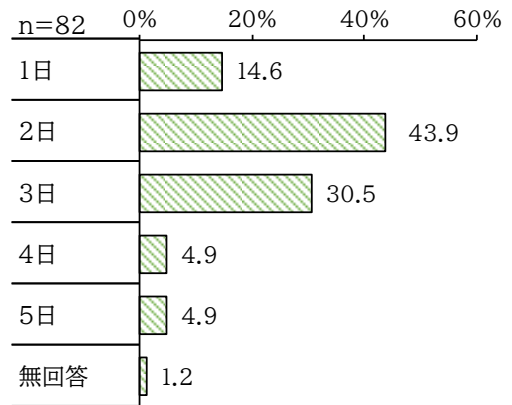
②祖父母宅や友人・知人宅

「2日」が43.8%で最も高く、次いで「1日」が34.4%、「5日」が15.6%となっています。



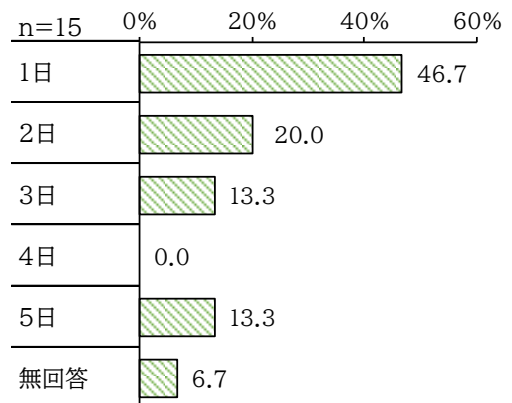
③習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)

「2日」が43.9%で最も高く、次いで「3日」が30.5%、「1日」が14.6%となっています。



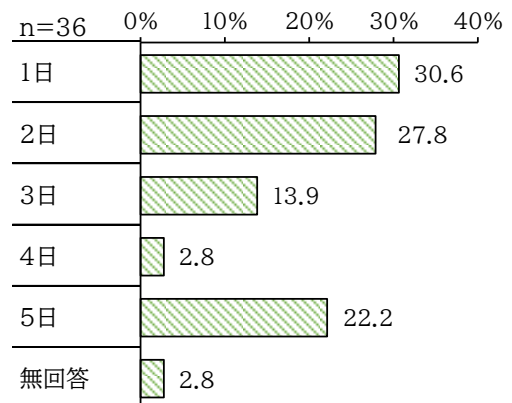
④児童館

「1日」が46.7%で最も高く、次いで「2日」が20.0%、「3日」「5日」がともに13.3%となっています。



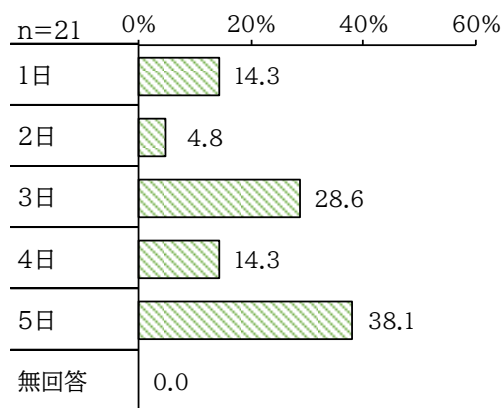
⑤アフタースクール

「1日」が30.6%で最も高く、次いで「2日」が27.8%、「5日」が22.2%となっています。



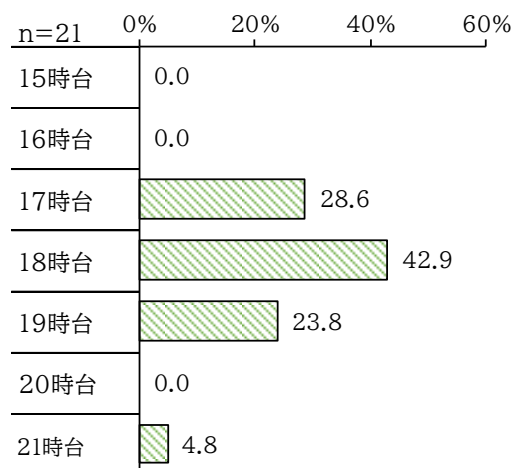
⑥放課後児童クラブ〔学童保育〕

「5日」が38.1%で最も高く、次いで「3日」が28.6%、「1日」「4日」がともに14.3%となっています。



放課後児童クラブの下校時間

「18時台」が42.9%で最も高く、次いで「17時台」が28.6%、「19時台」が23.8%となっています。

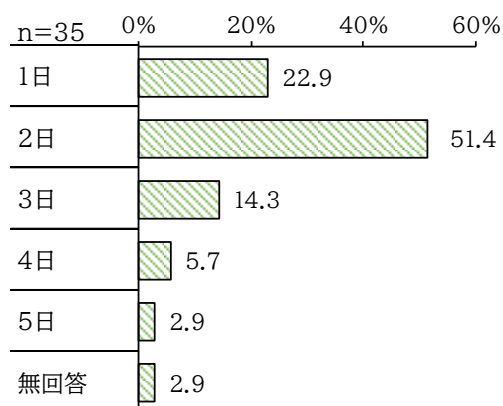


⑦ファミリー・サポート・センターの子ども預かり

「3日」が1件となっています。(有効回答数が少ないためグラフは省略)

⑧その他(公民館、公園など)

「2日」が51.4%で最も高く、次いで「1日」が22.9%、「3日」が14.3%となっています。



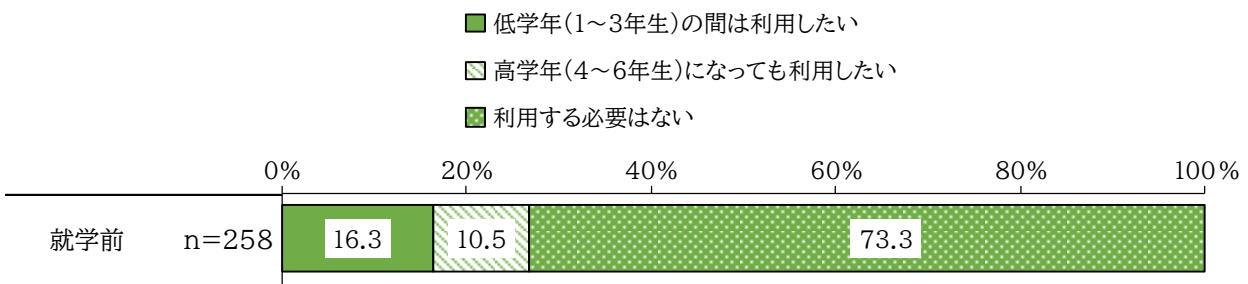
(就学前)問26または問27で「6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕」に○をつけた方にうかがいます。

問 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。次の(1)、(2)のそれぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、利用したい時間帯を、()内に(例)9時～18時のように24時間制でご記入ください。 【就学前:問28、小学生:問19】

就学前

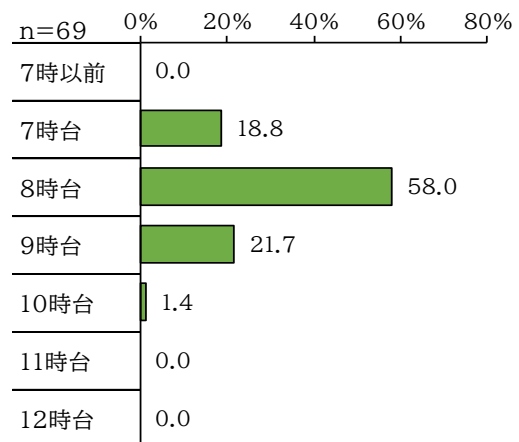
(1)土曜日

「利用する必要はない」が73.3%で最も高く、次いで「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が16.3%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が10.5%となっています。



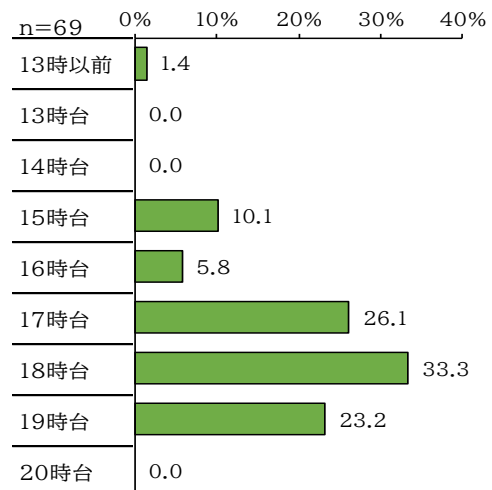
①放課後児童クラブの利用開始時間

「8時台」が58.0%で最も高く、次いで「9時台」が21.7%、「7時台」が18.8%となっています。



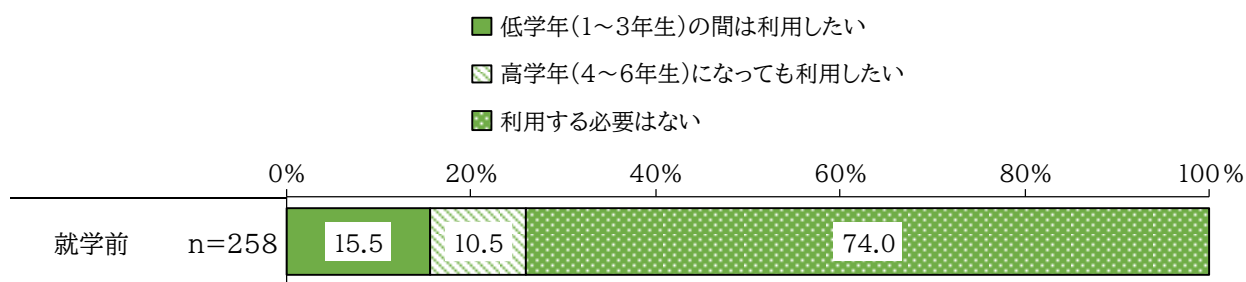
②放課後児童クラブの利用終了時間

「18時台」が33.3%で最も高く、次いで「17時台」が26.1%、「19時台」が23.2%となっています。



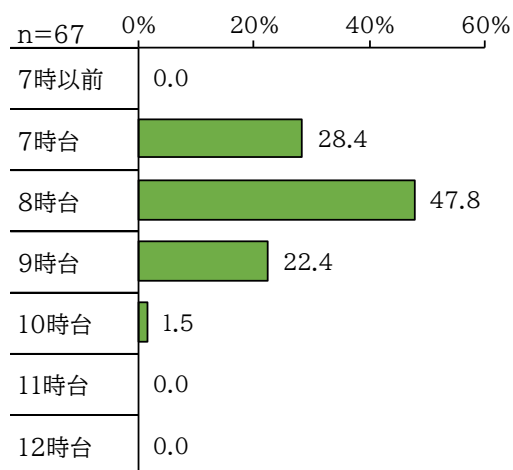
(2)日曜・祝日

「利用する必要はない」が74.0%で最も高く、次いで「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が15.5%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が10.5%となっています。



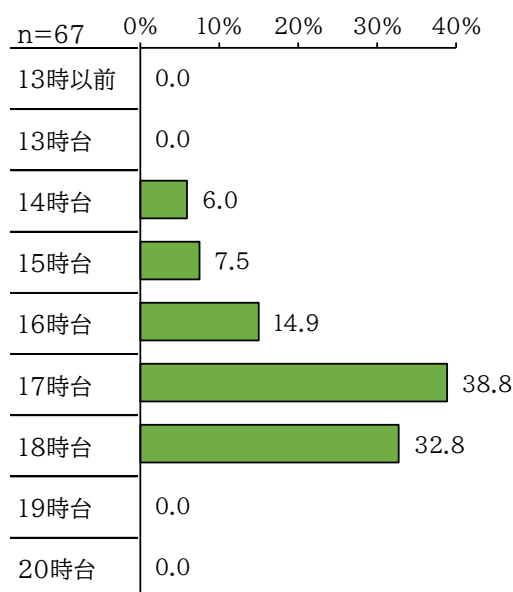
①放課後児童クラブの利用開始時間

「8時台」が47.8%で最も高く、次いで「7時台」が28.4%、「9時台」が22.4%となっています。



②放課後児童クラブの利用終了時間

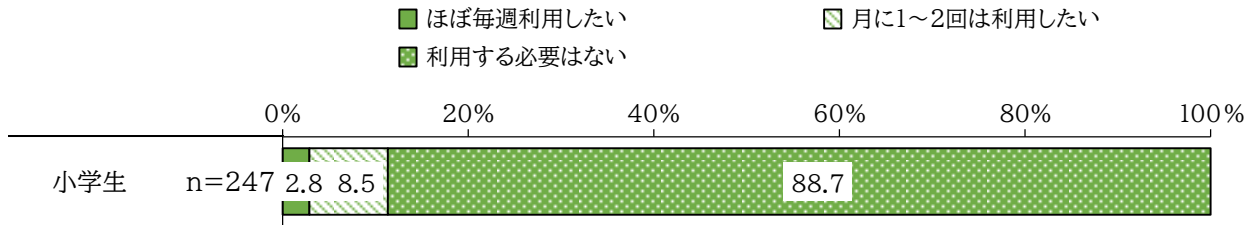
「17時台」が38.8%で最も高く、次いで「18時台」が32.8%、「16時台」が14.9%となっています。



小学生

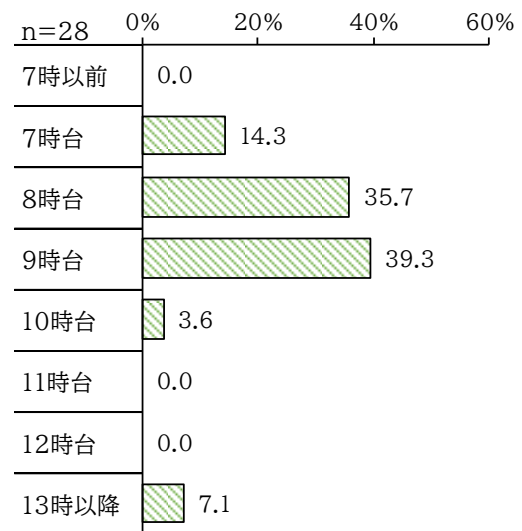
(1)土曜日

「利用する必要はない」が88.7%で最も高く、次いで「月に1~2回は利用したい」が8.5%、「ほぼ毎週利用したい」が2.8%となっています。



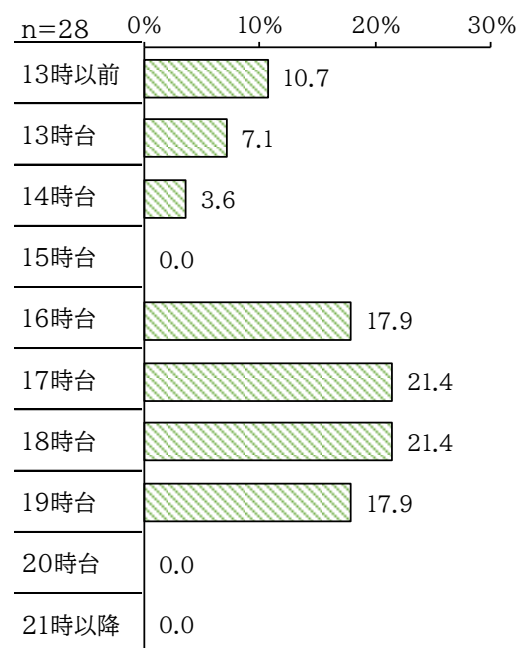
①放課後児童クラブの利用開始時間

「9時台」が39.3%で最も高く、次いで「8時台」が35.7%、「7時台」が14.3%となっています。



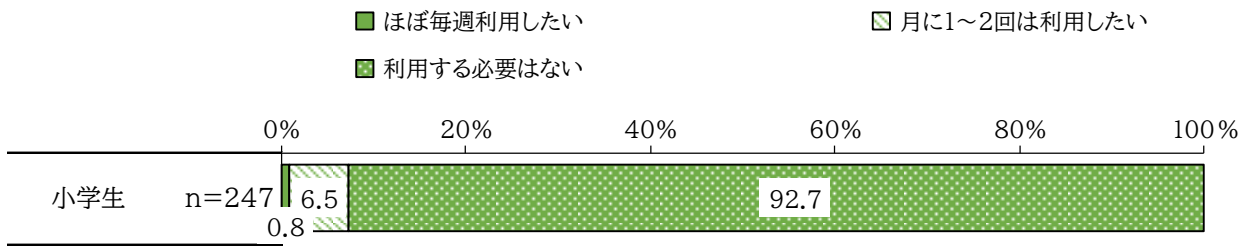
②放課後児童クラブの利用終了時間

「17時台」「18時台」がともに21.4%で最も高く、次いで「16時台」「19時台」がともに17.9%、「13時以前」が10.7%となっています。



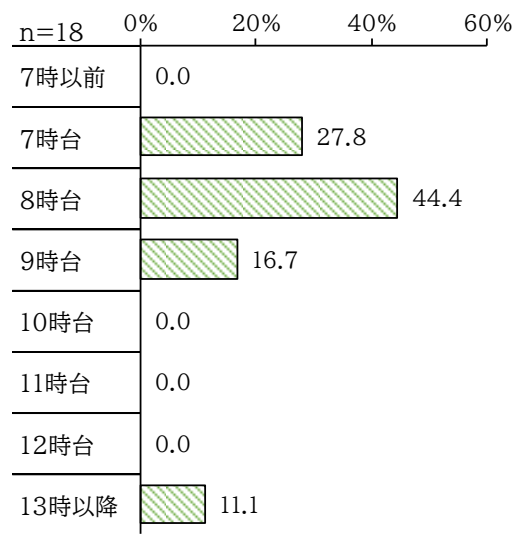
(2)日曜・祝日

「利用する必要はない」が92.7%で最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が6.5%、「ほぼ毎週利用したい」が0.8%となっています。



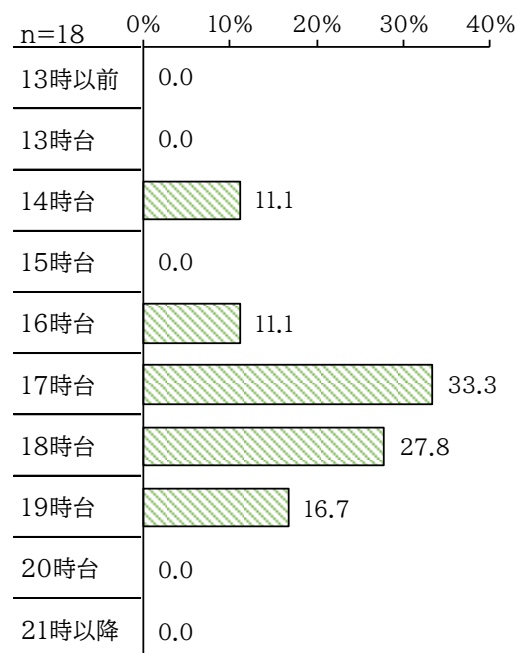
①放課後児童クラブの利用開始時間

「8時台」が44.4%で最も高く、次いで「7時台」が27.8%、「9時台」が16.7%となっています。



②放課後児童クラブの利用終了時間

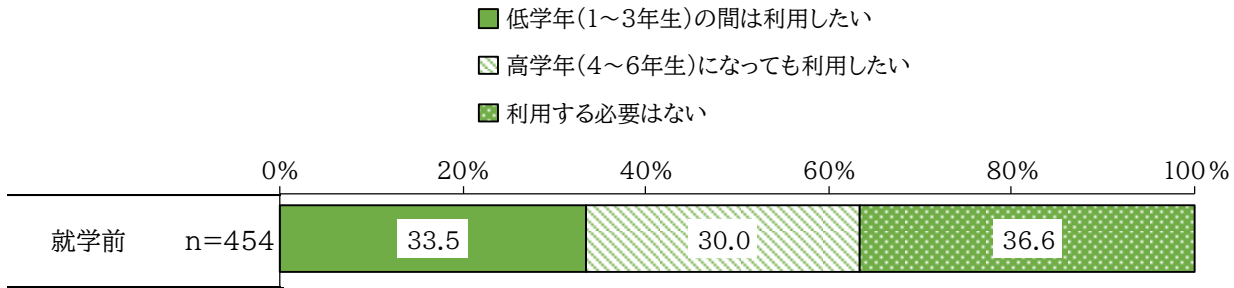
「17時台」が33.3%で最も高く、次いで「18時台」が27.8%、「19時台」が16.7%となっています。



問 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、()内に(例)9時～18時のように24時間制でご記入ください。 【就学前:問29、小学生:問20】

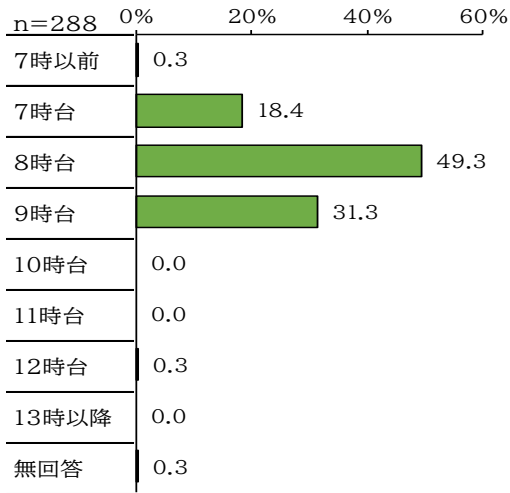
就学前

「利用する必要はない」が36.6%で最も高く、次いで「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が33.5%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が30.0%となっています。



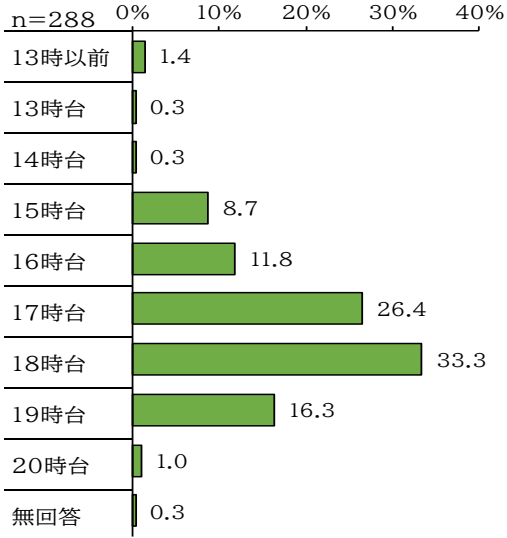
①放課後児童クラブの利用開始時間

「8時台」が49.3%で最も高く、次いで「9時台」が31.3%、「7時台」が18.4%となっています。



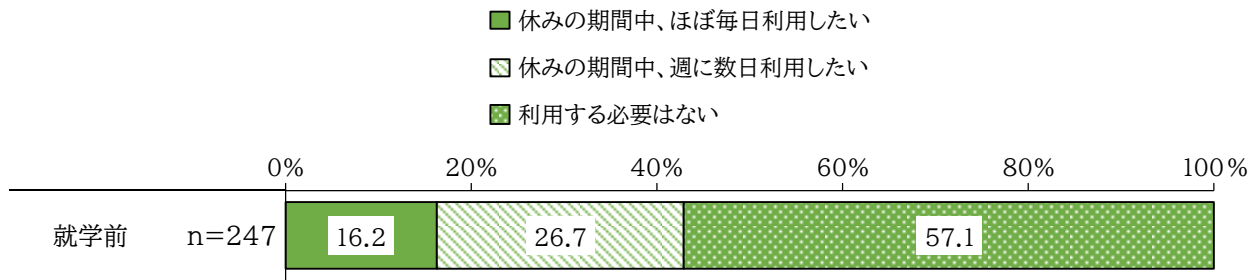
②放課後児童クラブの利用終了時間

「18時台」が33.3%で最も高く、次いで「17時台」が26.4%、「19時台」が16.3%となっています。



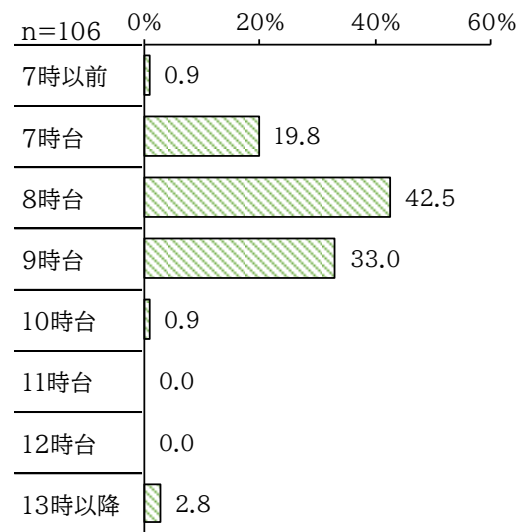
小学生

「利用する必要はない」が57.1%で最も高く、次いで「休みの期間中、週に数日利用したい」が26.7%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が16.2%となっています。



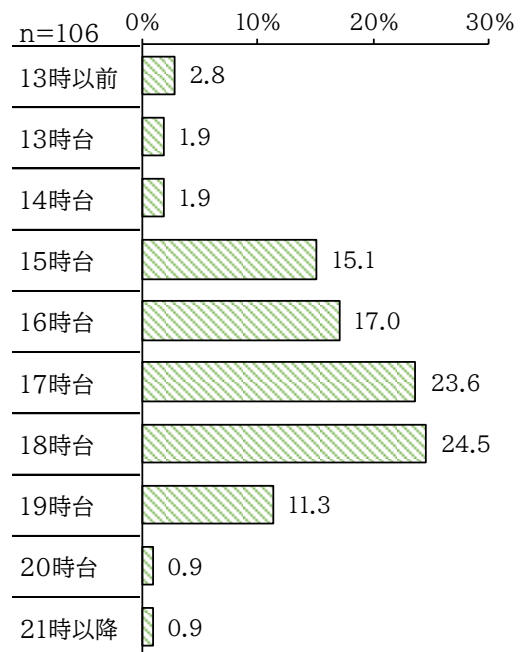
①放課後児童クラブの利用開始時間

「8時台」が42.5%で最も高く、次いで「9時台」が33.0%、「7時台」が19.8%となっています。



②放課後児童クラブの利用終了時間

「18時台」が24.5%で最も高く、次いで「17時台」が23.6%、「16時台」が17.0%となっています。

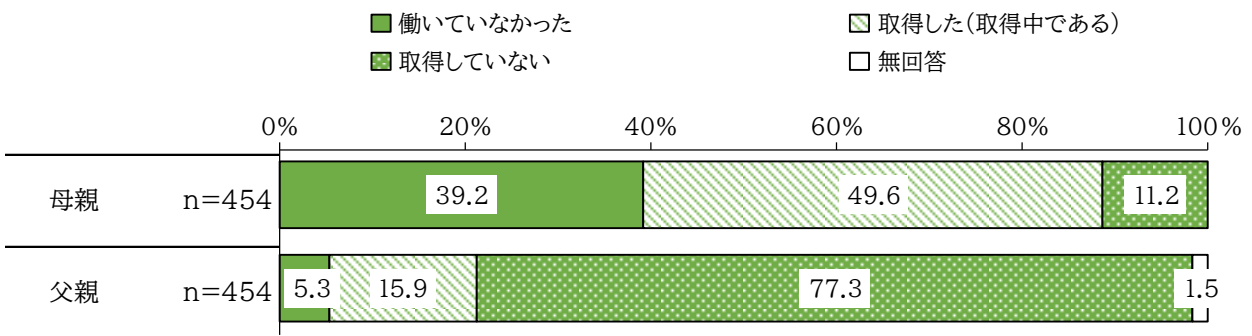


11 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する()内には数字でご記入ください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。
【就学前:問30】

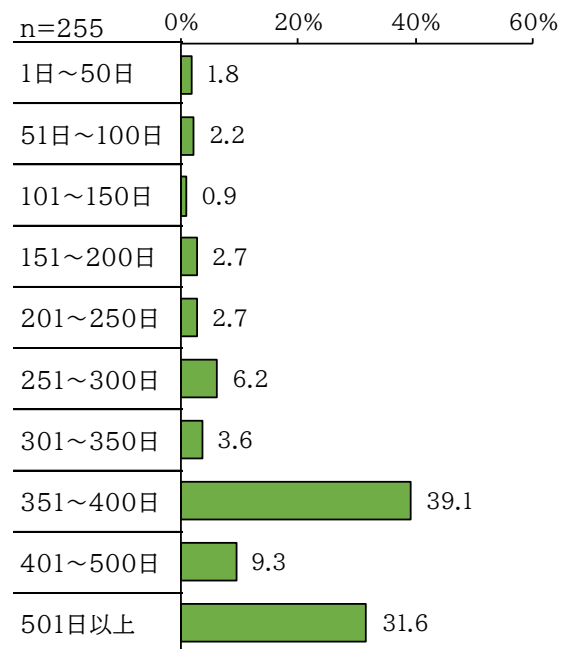
母親は、「取得した(取得中である)」が49.6%で最も高く、次いで「働いていなかった」が39.2%、「取得していない」が11.2%となっています。

父親は、「取得していない」が77.3%で最も高く、次いで「取得した(取得中である)」が15.9%、「働いていなかった」が5.3%となっています。



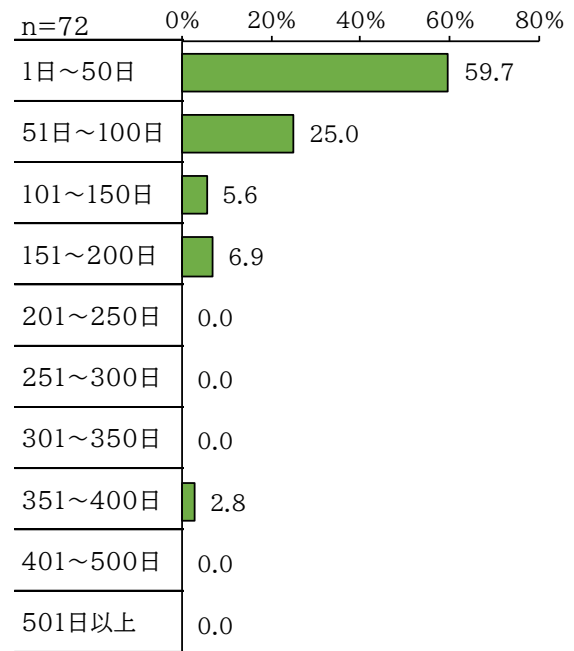
母親の育児休業取得期間

「351～400日」が39.1%で最も高く、次いで「501日以上」が31.6%、「401～500日」が9.3%となっています。



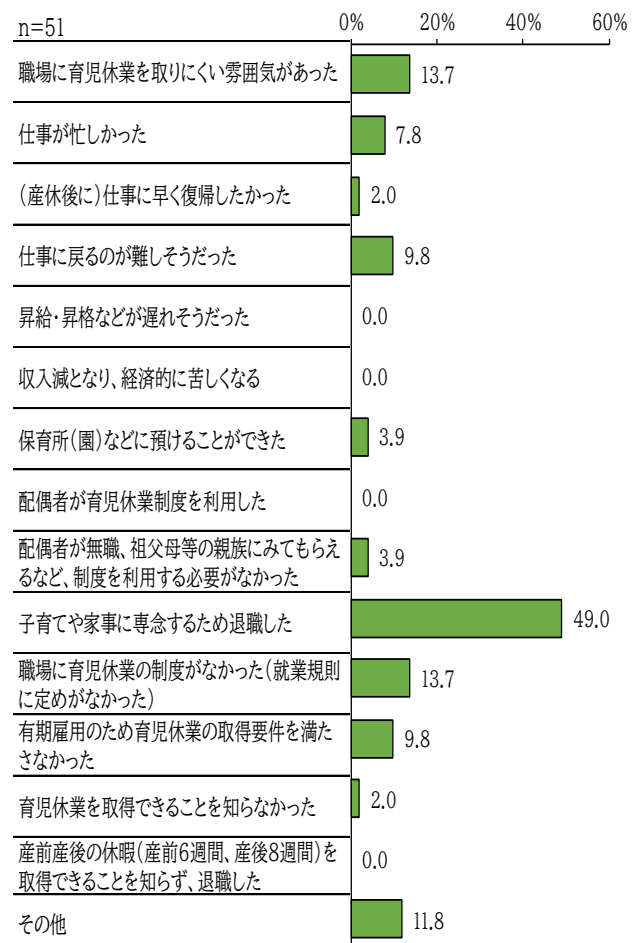
父親の育児休業取得期間

「1～50日」が59.7%で最も高く、次いで「51日～100日」が25.0%、「151～200日」が6.9%となっています。



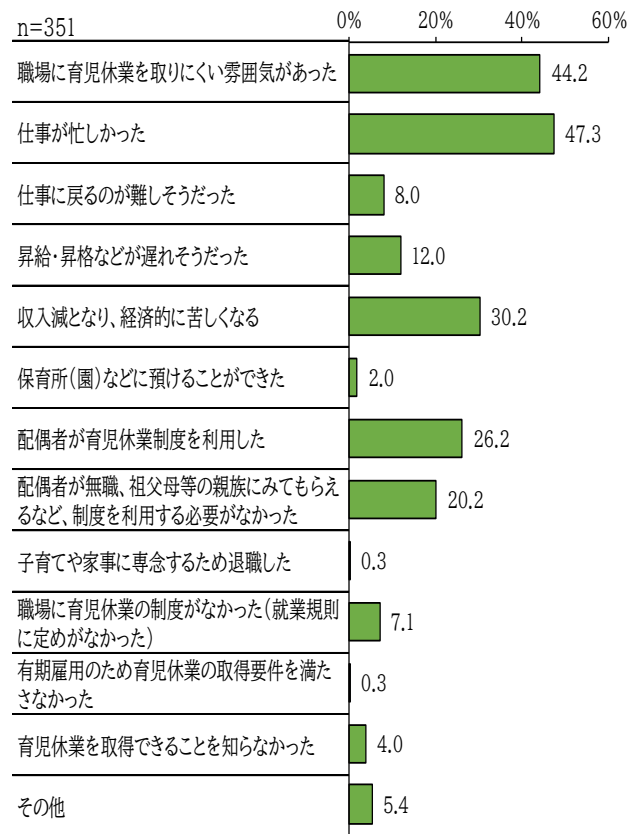
母親の育児休業を取得していない理由

「子育てや家事に専念するため退職した」が49.0%で最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」がともに13.7%となっています。



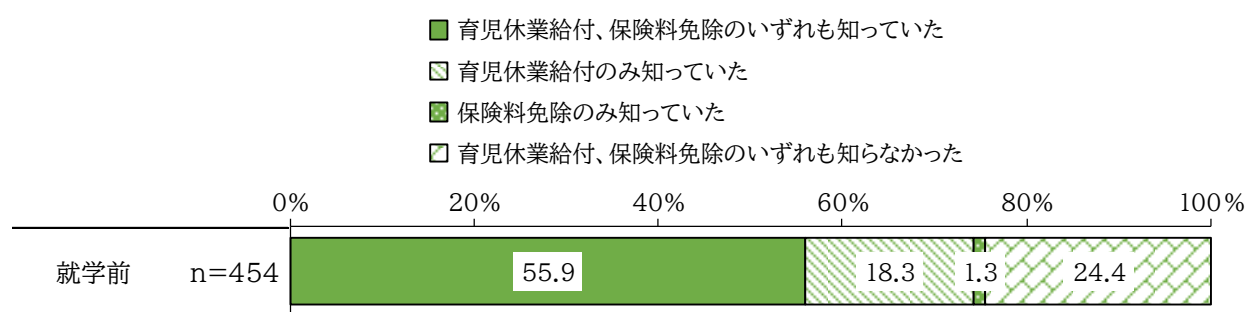
父親の育児休業を取得していない理由

「仕事が忙しかった」が47.3%で最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が44.2%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が30.2%となっています。



問 子どもが原則1歳(保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6ヶ月、延長により2歳)になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。 【就学前:問31】

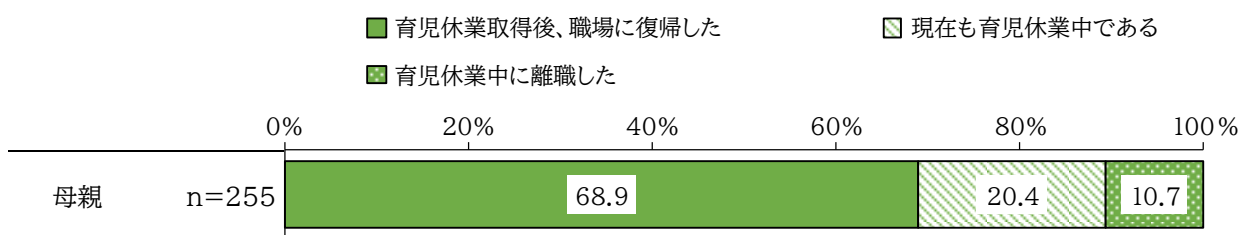
「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が55.9%で最も高く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が24.4%、「育児休業給付のみ知っていた」が18.3%となっています。



問30で母親・父親が「2. 取得した(取得中である)」と回答した方にうかがいます。
 問 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。 【就学前:問30-2】

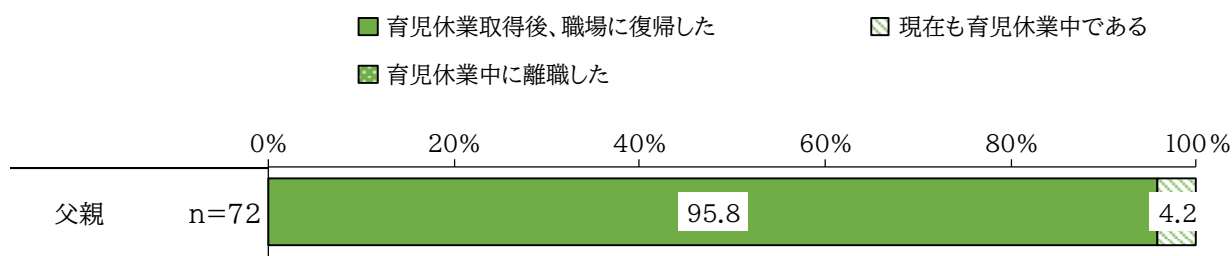
(1)母親

「育児休業取得後、職場に復帰した」が68.9%で最も高く、次いで「現在も育児休業中である」が20.4%、「育児休業中に離職した」が10.7%となっています。



(2)父親

「育児休業取得後、職場に復帰した」が95.8%で最も高く、次いで「現在も育児休業中である」が4.2%となっています。

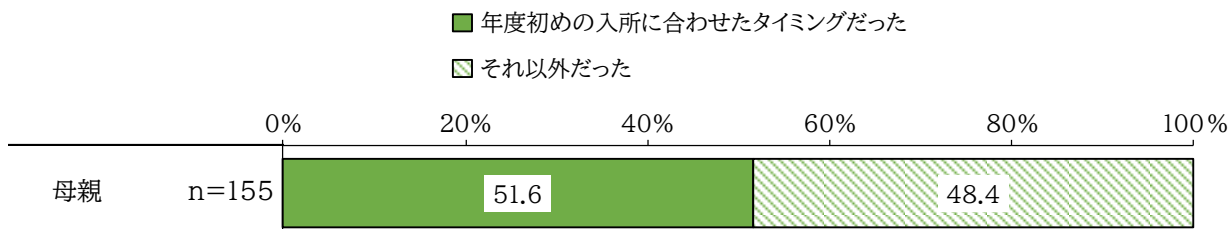


問30-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった」を選択してください。【就学前：問30-3】

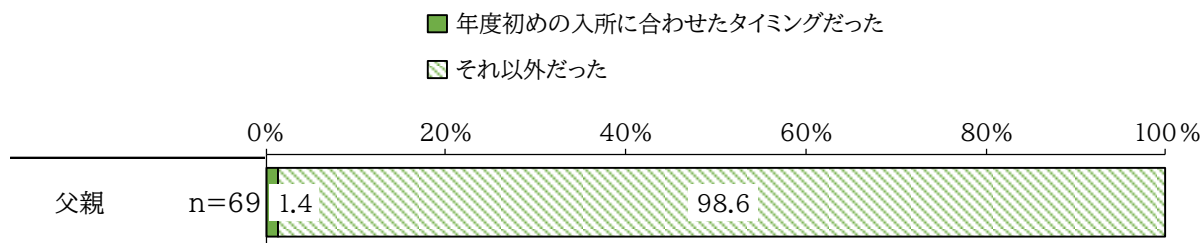
(1)母親

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が51.6%、「それ以外だった」が48.4%となっています。



(2)父親

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が1.4%、「それ以外だった」が98.6%となっています。

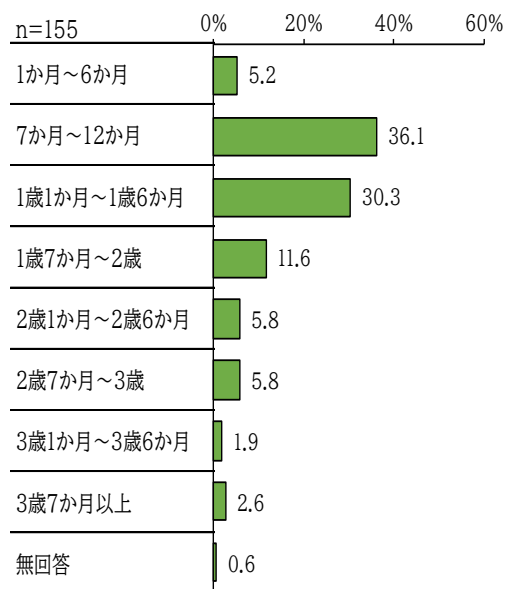


問 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。()
内に数字でご記入ください。 【就学前:問30-4】

(1) 母親

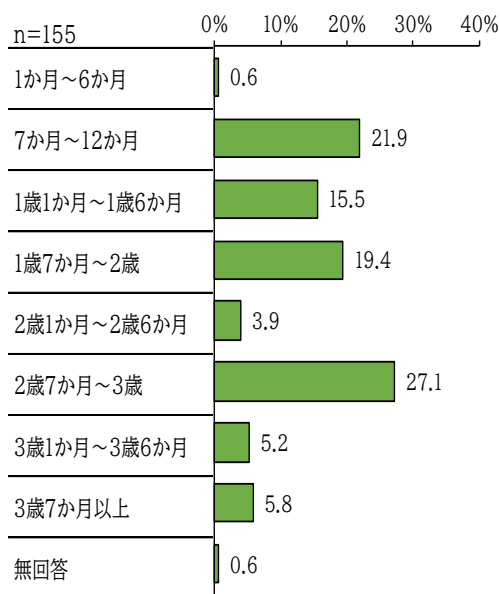
① 実際の取得期間

「7か月～12か月」が36.1%で最も高く、次いで「1歳1か月～1歳6か月」が30.3%、「1歳7か月～2歳」が11.6%となっています。



② 希望取得期間

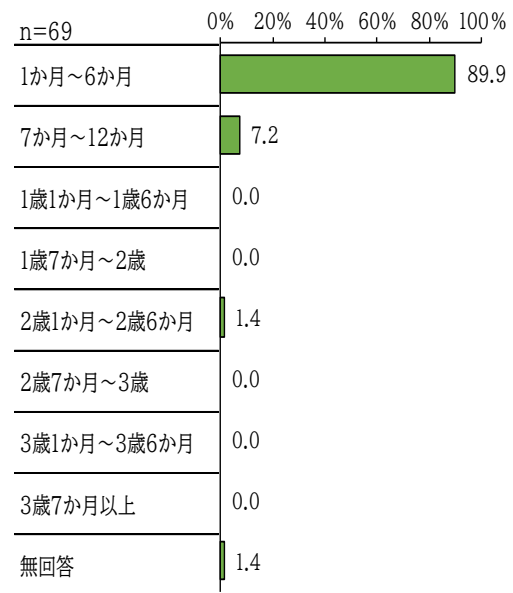
「2歳7か月～3歳」が27.1%で最も高く、次いで「7か月～12か月」が21.9%、「1歳7か月～2歳」が19.4%となっています。



(2)父親

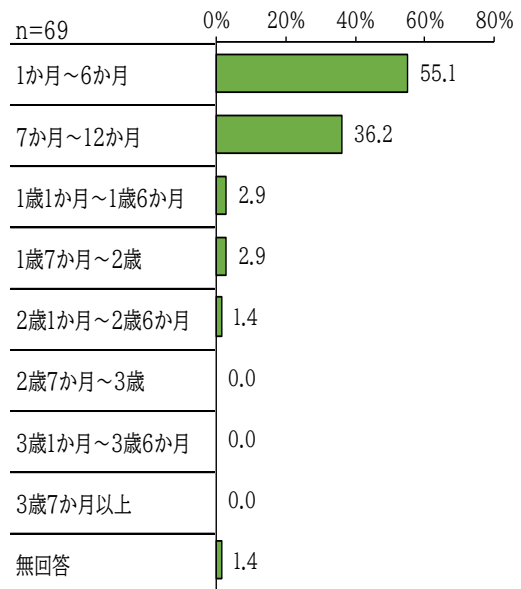
①実際の取得期間

「1か月～6か月」が89.9%で最も高く、次いで「7か月～12か月」が7.2%、「2歳1か月～2歳6か月」が1.4%となっています。



②希望取得期間

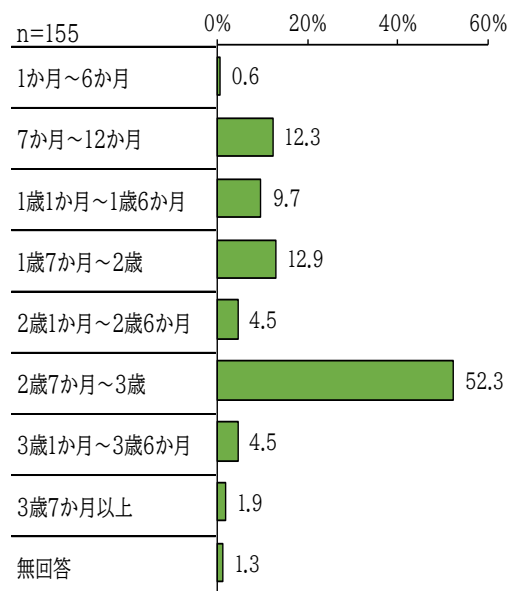
「1か月～6か月」が55.1%で最も高く、次いで「7か月～12か月」が36.2%、「1歳1か月～1歳6か月」「1歳7か月～2歳」がともに2.9%となっています。



問 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。()内に数字でご記入ください。
【就学前:問30-5】

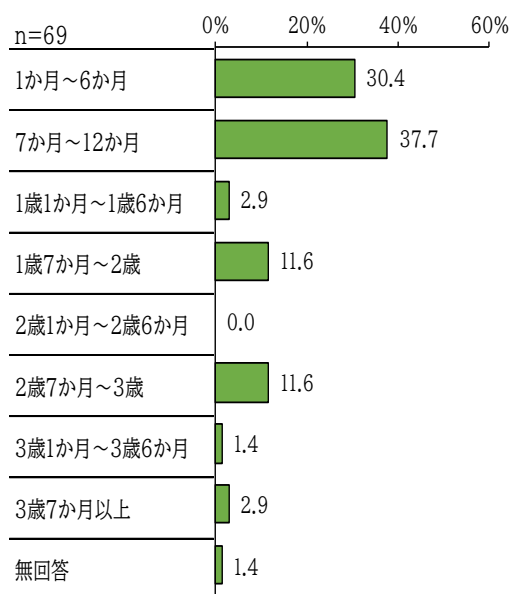
(1)母親

「2歳7か月～3歳」が52.3%で最も高く、次いで「1歳7か月～2歳」が12.9%、「7か月～12か月」が12.3%となっています。



(2)父親

「7か月～12か月」が37.7%で最も高く、次いで「1か月～6か月」が30.4%、「1歳7か月～2歳」「2歳7か月～3歳」がともに11.6%となっています。



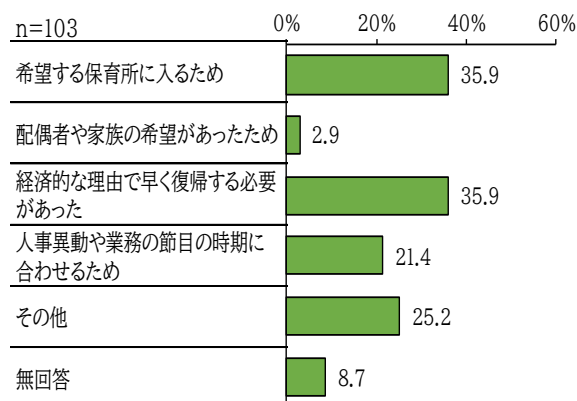
問30-4で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。 【就学前:問30-6】

(1)「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

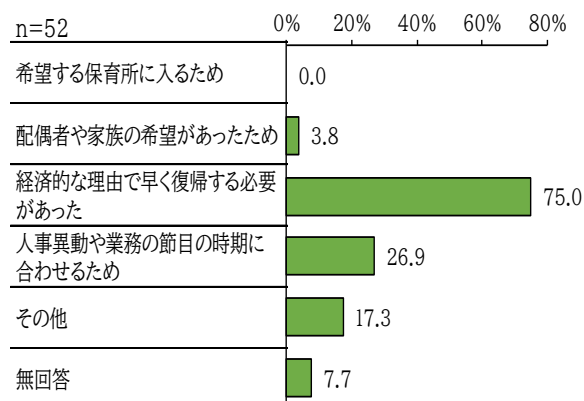
①母親

「希望する保育所に入るため」「経済的な理由で早く復帰する必要があった」がともに35.9%で最も高く、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が21.4%となっています。



②父親

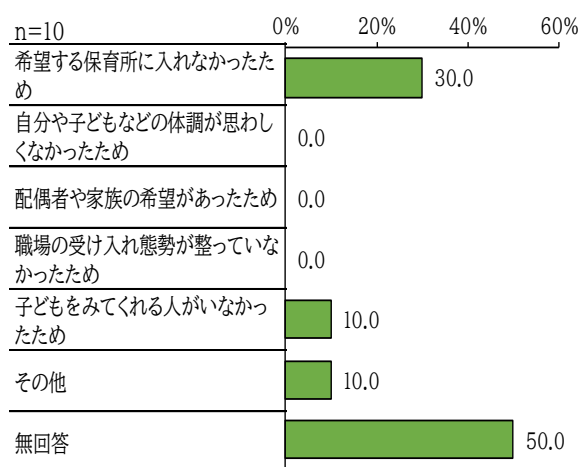
「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が75.0%で最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が26.9%となっています。



(2)「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

「希望する保育所に入れなかったため」が30.0%で最も高く、次いで「子どもをみってくれる人がいなかったため」が10.0%となっています。



②父親

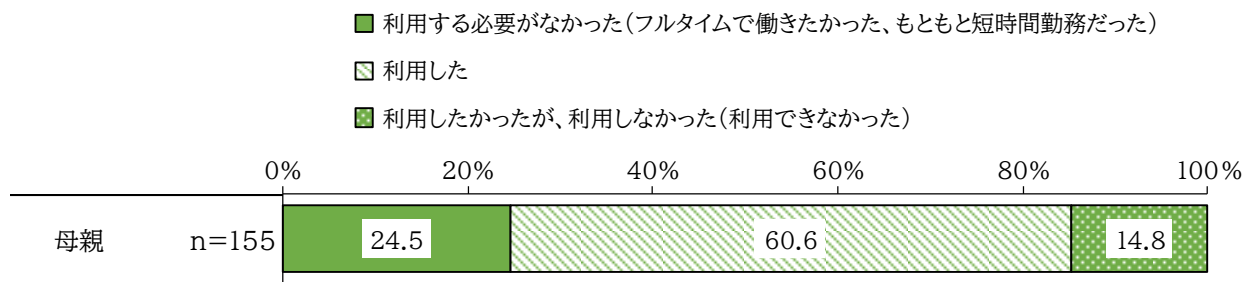
有効回答がありませんでした。

問30-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。 【就学前:問30-7】

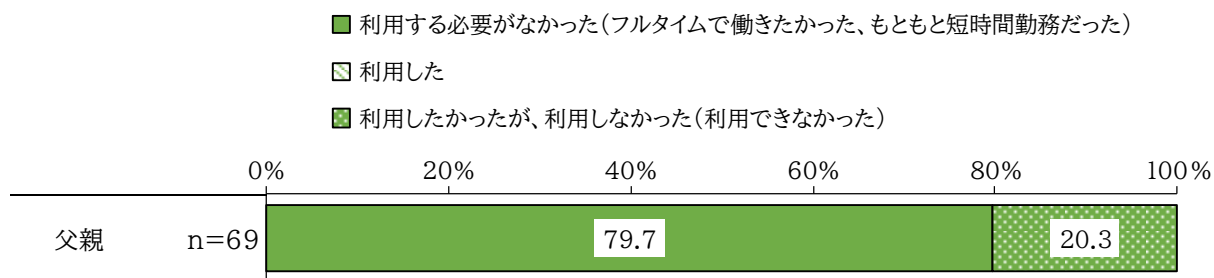
(1) 母親

「利用した」が60.6%が最も高く、次いで「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」が24.5%、「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」が14.8%となっています。



(2) 父親

利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」が79.7%が最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」が20.3%となっています。

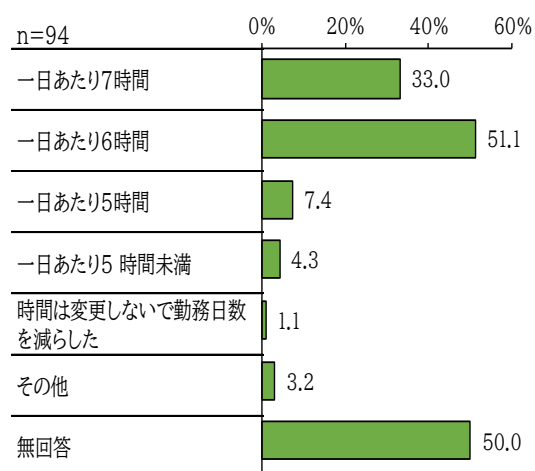


問30-7で「2. 利用した」を利用した方にうかがいます。

問 利用後は何時間の勤務になりましたか。最も近い回答を選び当てはまる番号1つに○をつけてください。

【就学前:問30-7-1】

母親は、「一日あたり6時間」が51.1%が最も高く、次いで「一日あたり7時間」が33.0%となっています。



父親は、有効回答がありませんでした。

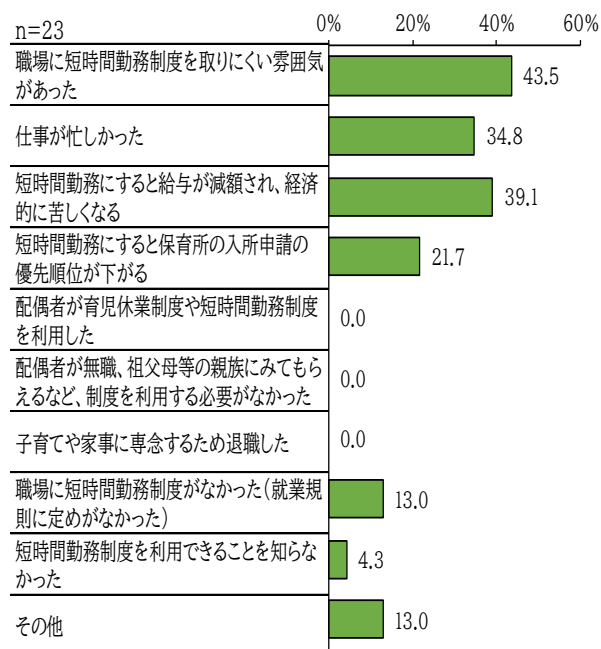
問30-7で「3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」と回答した方にうかがいます。

問 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。

【就学前:問30-8】

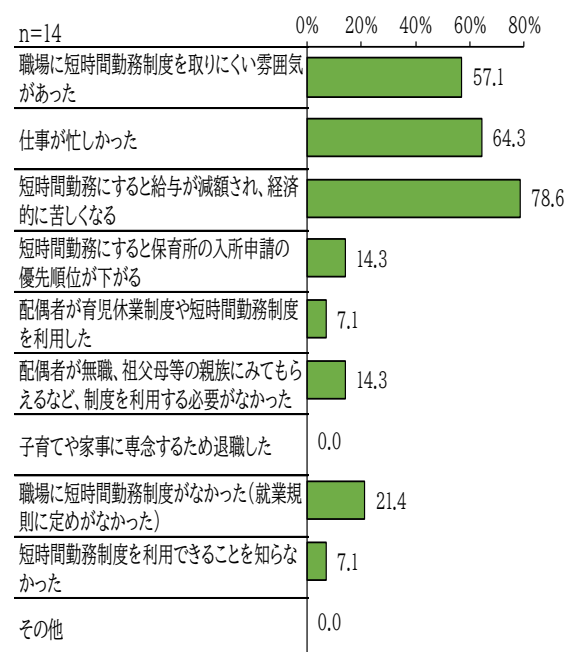
(1)母親

「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が43.5%で最も高く、次いで「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が39.1%、「仕事が忙しかった」が34.8%となっています。



(2)父親

「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が78.6%で最も高く、次いで「仕事が忙しかった」が64.3%、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が57.1%となっています。

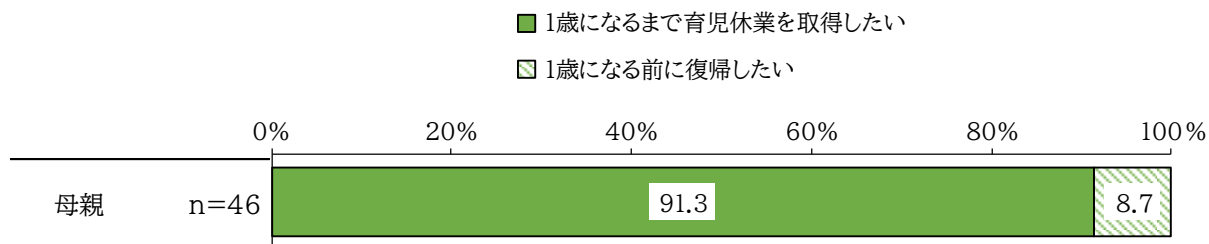


問30-2で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず預けられる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。 【就学前:問30-9】

(1)母親

「1歳になるまで育児休業を取得したい」が91.3%、「1歳になる前に復帰したい」が8.7%となっています。



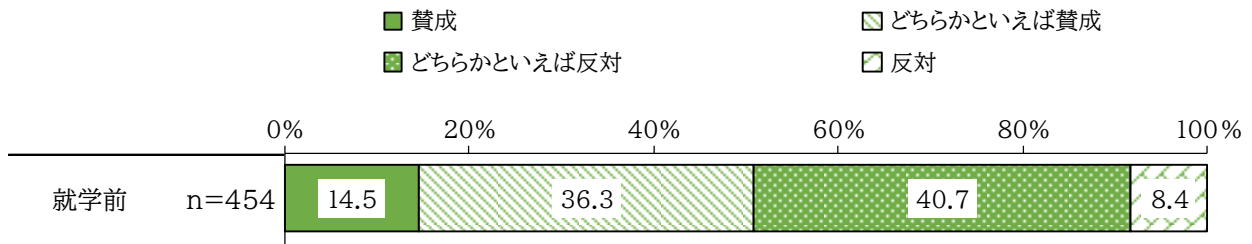
(2)父親

「1歳になる前に復帰したい」が3件となっています。(有効回答数が少ないためグラフは省略)

12 町立保育園の民営化(社会福祉法人や民間企業等に運営主体を移すこと)について

問 町立保育園の民営化(社会福祉法人や民間企業等に運営主体を移すこと)についてどのようにお考えですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。 【就学前:問31】

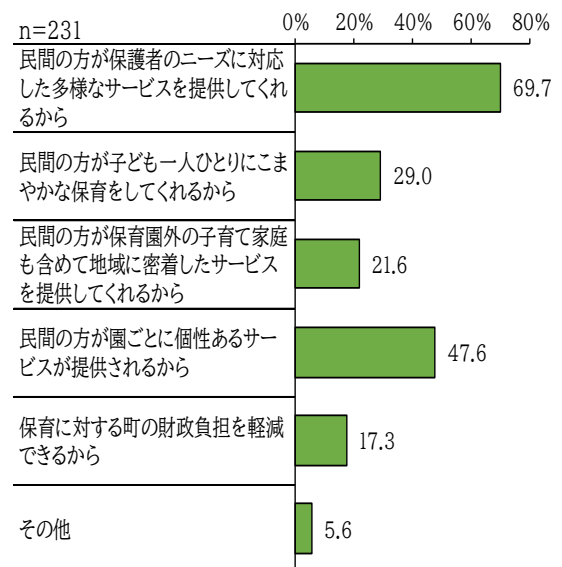
『賛成』(「賛成」と「どちらかといえば賛成」の計)が50.8%、『反対』(「どちらかといえば反対」と「反対」の計)が49.1%となっています。



問31で「1. 賛成」か「2. どちらかといえば賛成」を選んだ方にお尋ねします。

問 選んだ理由に当てはまる番号すべてに○をつけてください。 【就学前:問31-1】

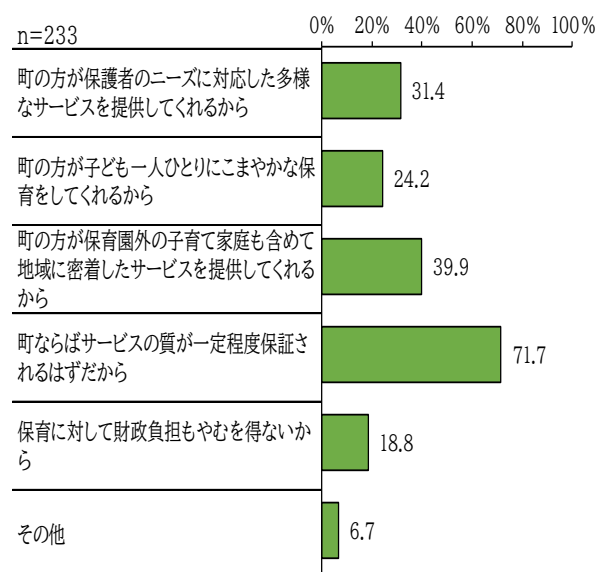
「民間の方が保護者のニーズに対応した多様なサービスを提供してくれるから」が69.7%で最も高く、次いで「民間の方が園ごとに個性あるサービスが提供されるから」が47.6%、「民間の方が子ども一人ひとりにこまやかな保育をしてくれるから」が29.0%となっています。



問31で「3. どちらかといえば反対」か「4. 反対」を選んだ方にお尋ねします。

問 選んだ理由に当てはまる番号すべてに○をつけてください。 【就学前:問31-2】

「町ならばサービスの質が一定程度保証されるはずだから」が71.7%で最も高く、次いで「町の方が保育園外の子育て家庭も含めて地域に密着したサービスを提供してくれるから」が39.9%、「町の方が保護者のニーズに対応した多様なサービスを提供してくれるから」が31.4%となっています。



問 民間の参入が進む際には、サービスの質を確保することが重要となります。民間の保育サービスの質を確保するために必要な条件は何と考えますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。 【就学前:問32】

「保育士が安心して長く働きつづけられる労働条件(給与、勤務形態など)」が78.2%で最も高く、次いで「町の保育方針の遵守を義務付けるなど、一定の保育水準が保たれる仕組み」が70.5%、「行政が、運営内容に関する監督・指導を行い、保育内容について責任を持つこと」が49.6%となっています。

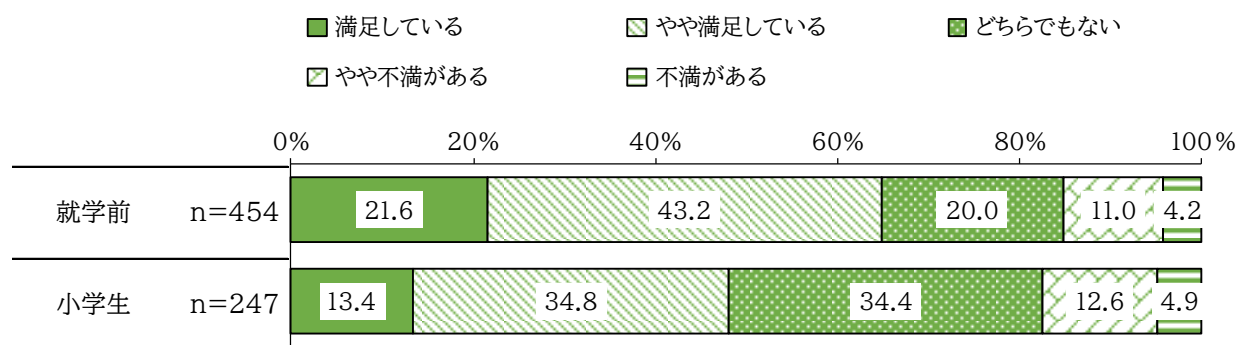


13 本町の子育て支援の現状に対する満足度について

問 あなたは、東浦町での子育ての環境や支援について、どのように感じていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。 【就学前:問33、小学生:問21】

就学前は、『満足している』(「満足している」と「やや満足している」の計)が64.8%、「どちらでもない」が20.0%、『不満がある』(「やや不満がある」と「不満がある」の計)が15.2%となっています。

小学生は、『満足している』(「満足している」と「やや満足している」の計)が48.2%、「どちらでもない」が34.4%、『不満がある』(「やや不満がある」と「不満がある」の計)が17.5%となっています。

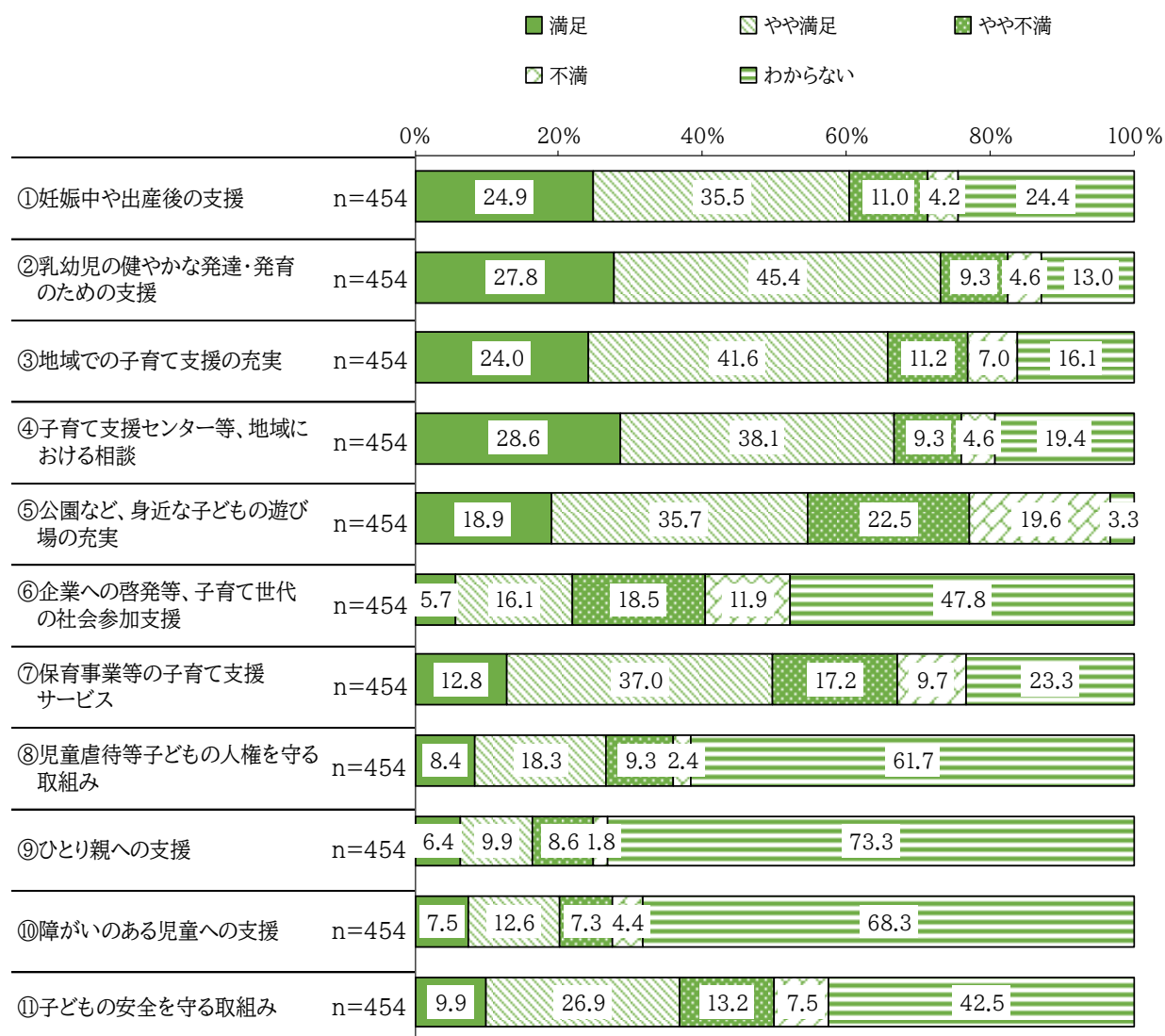


問 あなたは、東浦町における下記①～⑩(小学生は①～⑨)の項目についてどのように感じていますか。それぞれの満足度について、当てはまる番号1つに○をつけてください。

【就学前:問34、小学生:問22】

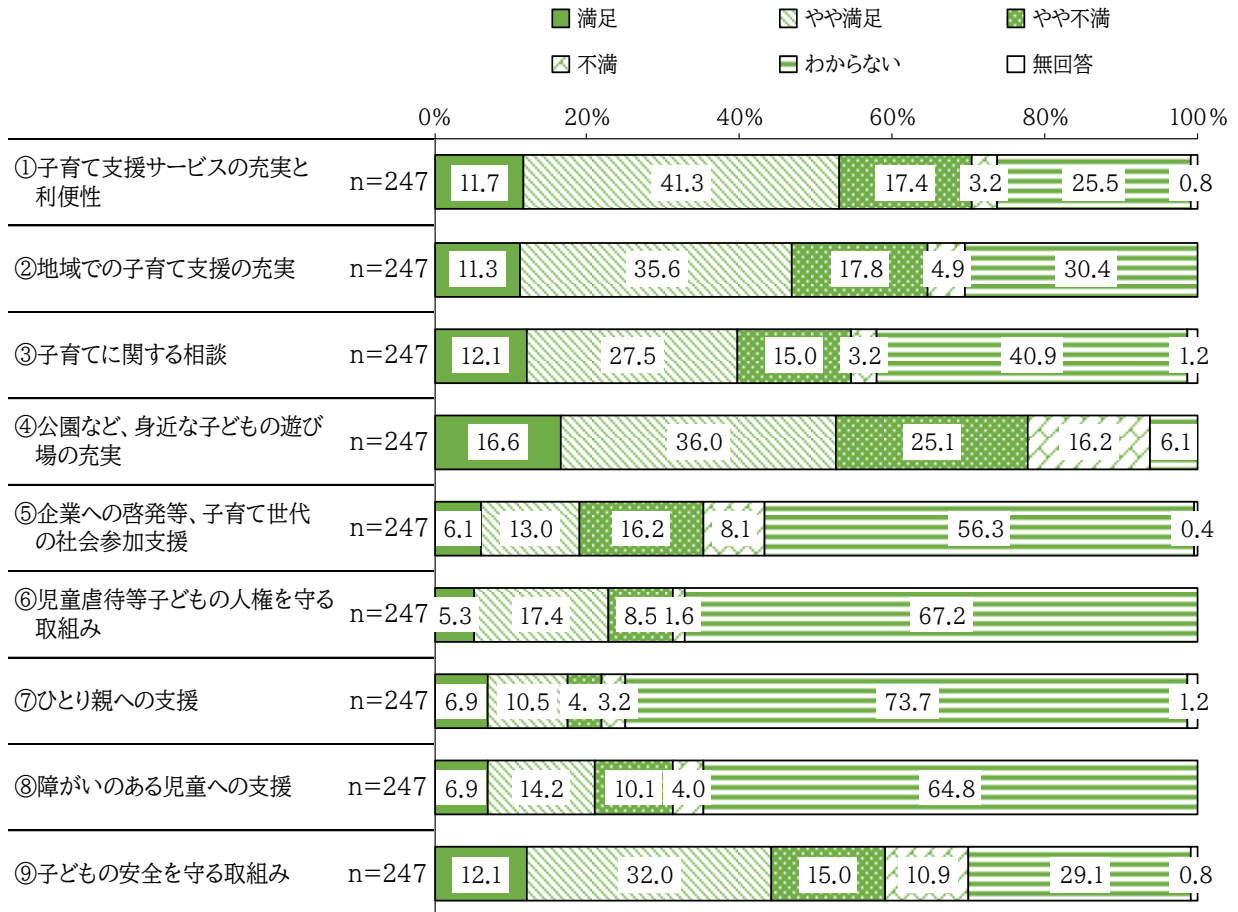
就学前

「②乳幼児の健やかな発達・発育のための支援」が『満足』(「満足」と「やや満足」の計)(73.2%)で割合が高くなっています。一方、「⑤公園など、身近な子どもの遊び場の充実」が『不満』(「やや不満」と「不満」の計)(42.1%)で割合が高くなっています。



小学生

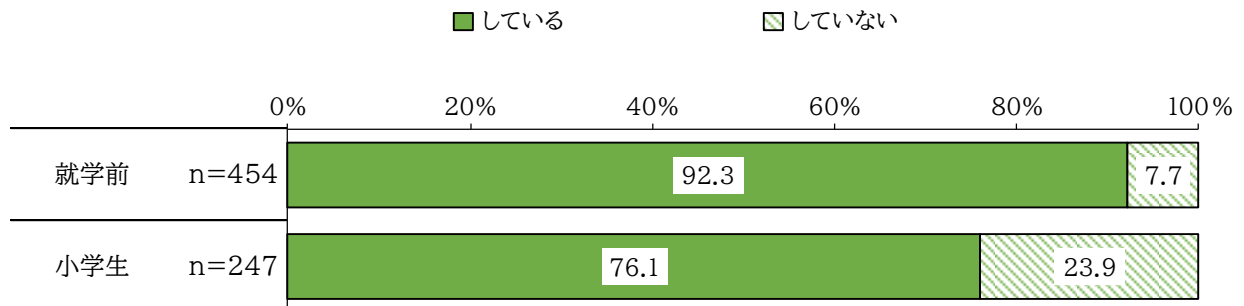
「①子育て支援サービスの充実と利便性」が『満足』（「満足」と「やや満足」の計）（53.0％）で割合が高くなっています。一方、「④公園など、身近な子どもの遊び場の充実」が『不満』（「やや不満」と「不満」の計）（41.3％）で割合が高くなっています。



14 子どもの生命と健康を守ることにについて

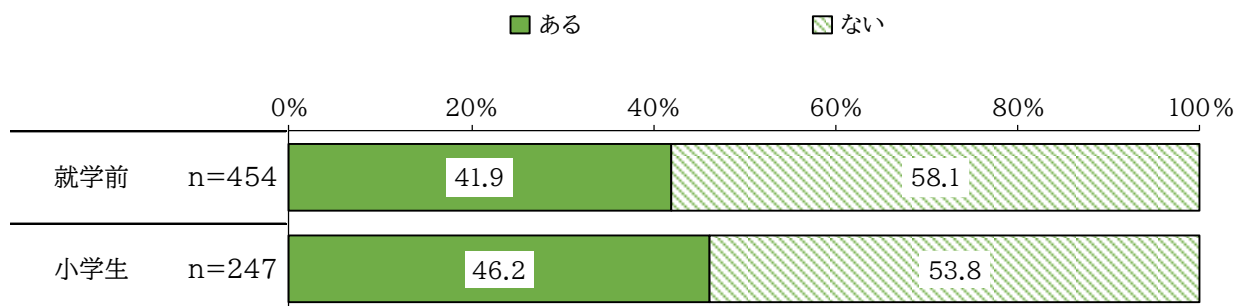
問 あなたのご家庭では、お子さんの家庭内事故の防止対策をしていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。 【就学前:問35、小学生:問23】

就学前は、「している」が92.3%、「していない」が7.7%となっています。
小学生は、「している」が76.1%、「していない」が23.9%となっています。



問 お子さんのしつけについて、虐待との線引きに迷うことがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。 【就学前:問36、小学生:問24】

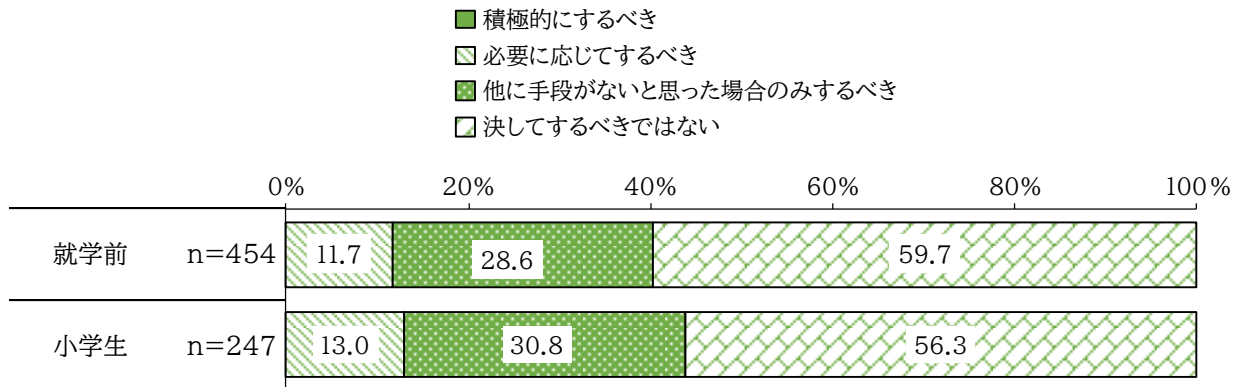
就学前は、「ある」が41.9%、「ない」が58.1%となっています。
小学生は、「ある」が46.2%、「ない」が53.8%となっています。



問 しつけのために子どもに体罰をすることをどう思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。 【就学前:問37、小学生:問25】

就学前は、「決してすべきではない」が59.7%で最も高く、次いで「他に手段がないと思った場合のみすべき」が28.6%、「必要に応じてすべき」が11.7%となっています。

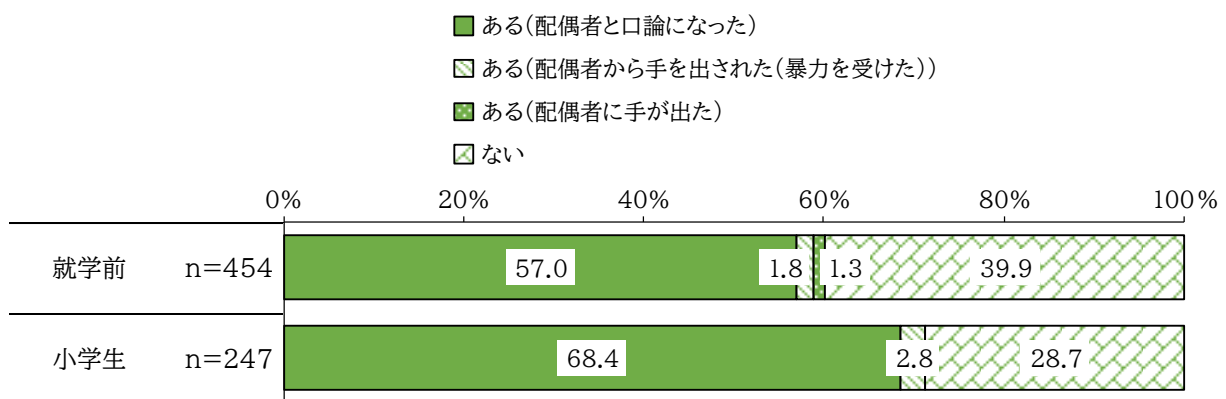
小学生は、「決してすべきではない」が56.3%で最も高く、次いで「他に手段がないと思った場合のみすべき」が30.8%、「必要に応じてすべき」が13.0%となっています。



問 お子さんの見ている前で夫婦げんかをしたことがありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。 【就学前:問38、小学生:問26】

就学前は、「ある(配偶者と口論になった)」が57.0%で最も高く、次いで「ない」が39.9%、「ある(配偶者から手を出された(暴力を受けた))」が1.8%、「ある(配偶者に手が出た)」が1.3%となっています。

小学生は、「ある(配偶者と口論になった)」が68.4%で最も高く、次いで「ない」が28.7%、「ある(配偶者から手を出された(暴力を受けた))」が2.8%となっています。

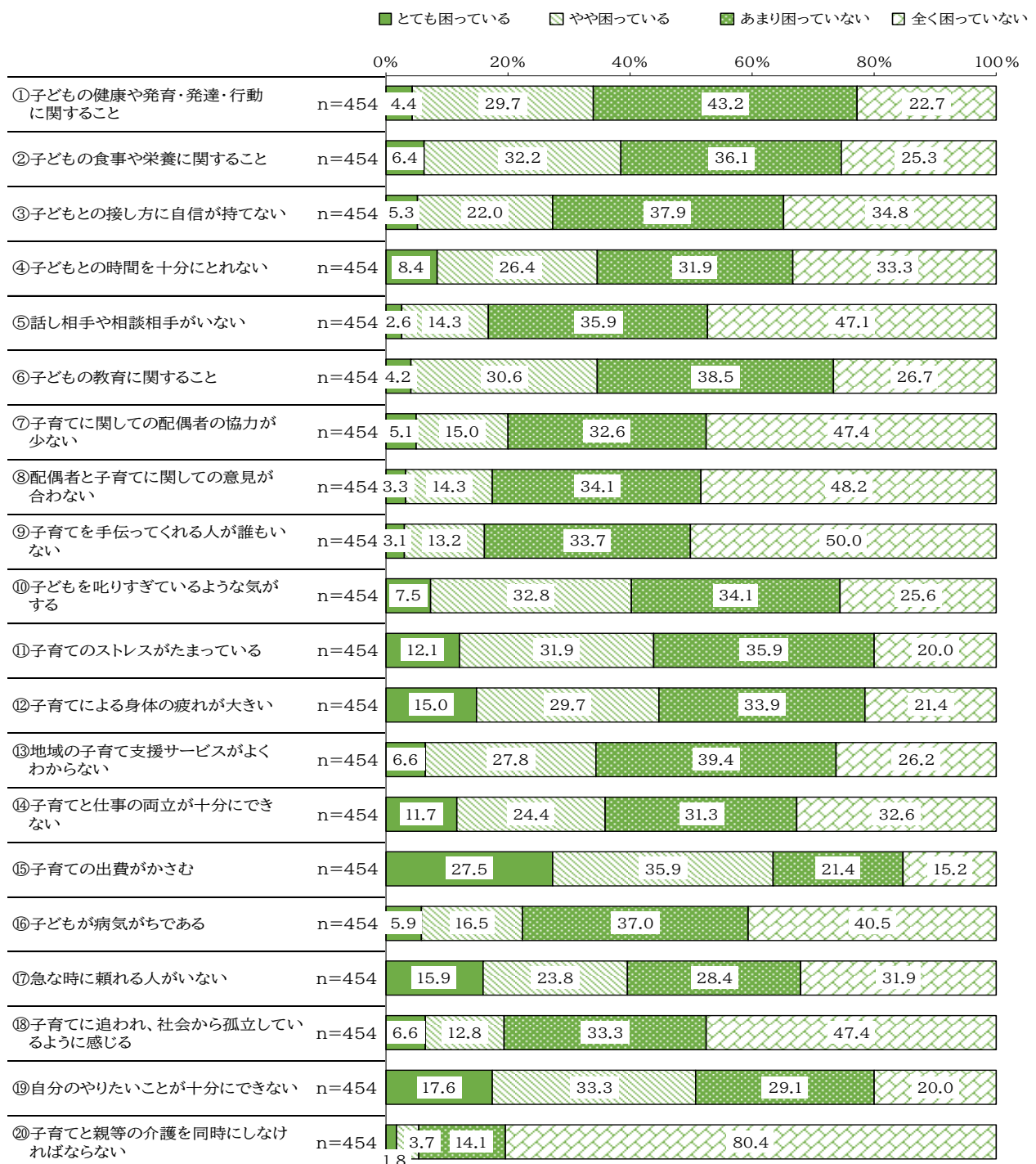


15 子育て等に関する困りごとについて

問 現在、子育てをしていて感じる困りごとは何ですか。下記①～⑳の項目について、それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。 【就学前:問39、小学生:問27】

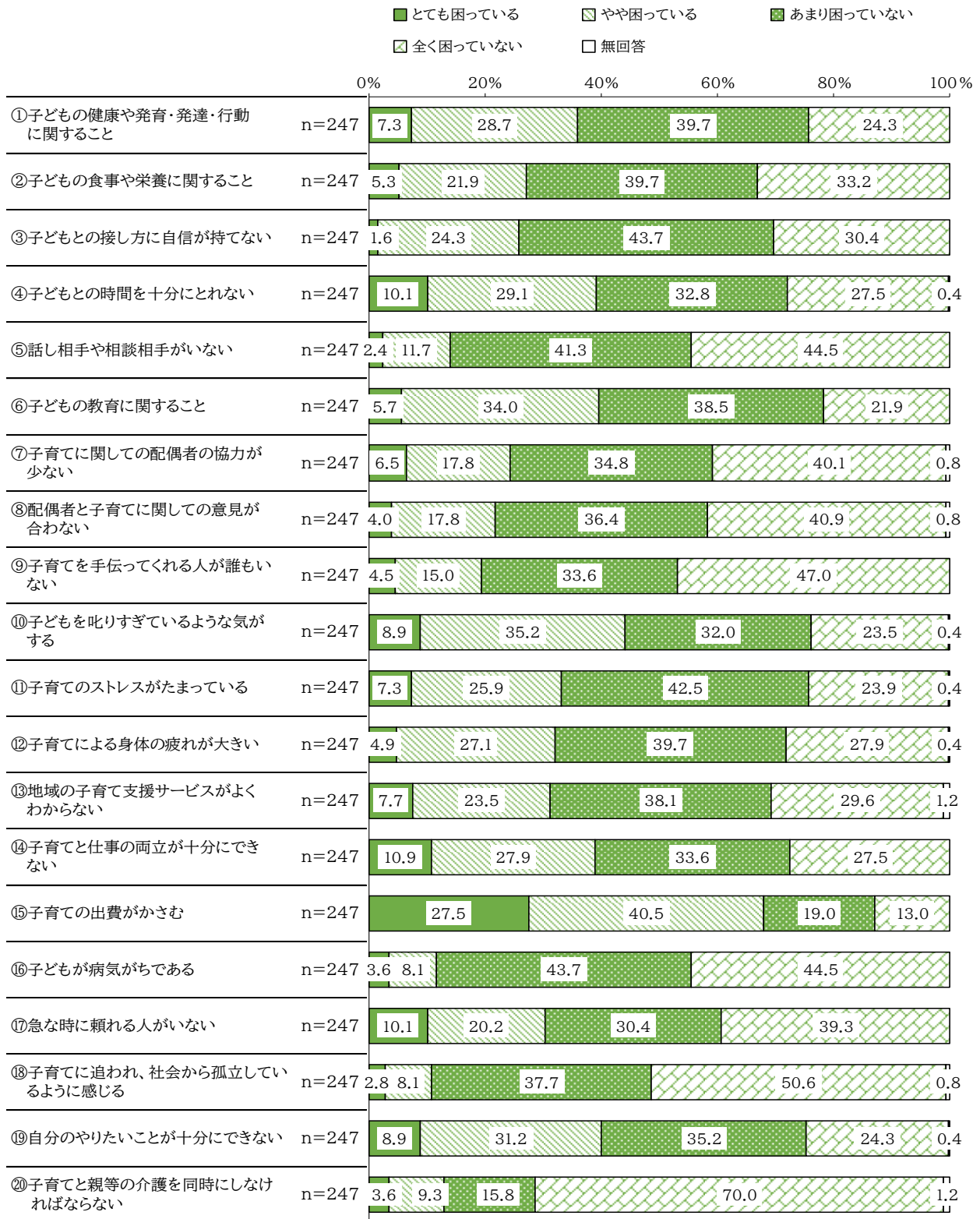
就学前

「⑩自分のやりたいことが十分にできない」が『困っている』(「とても困っている」と「やや困っている」の計)(50.9%)で割合が高くなっています。一方、「⑳子育てと親等の介護を同時にしなければならない」が『困っていない』(「あまり困っていない」と「全く困っていない」の計)(94.5%)で割合が高くなっています。



小学生

「⑩子どもを叱りすぎているような気がする」が『困っている』（「とても困っている」と「やや困っている」の計）（44.1%）で割合が高くなっています。一方、「⑱子育てに追われ、社会から孤立しているように感じる」が『困っていない』（「あまり困っていない」と「全く困っていない」の計）（88.3%）で割合が高くなっています。



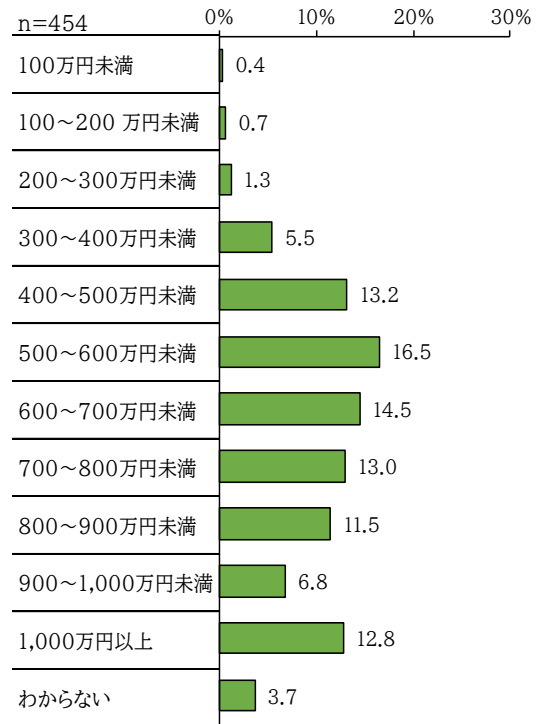
16 ご家庭の経済状況について

問 ご家族の経済状況についてうかがいます。昨年(令和4年)1年間の家族全員の収入の合計額はおよそいくらでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

【就学前:問40、小学生:問28】

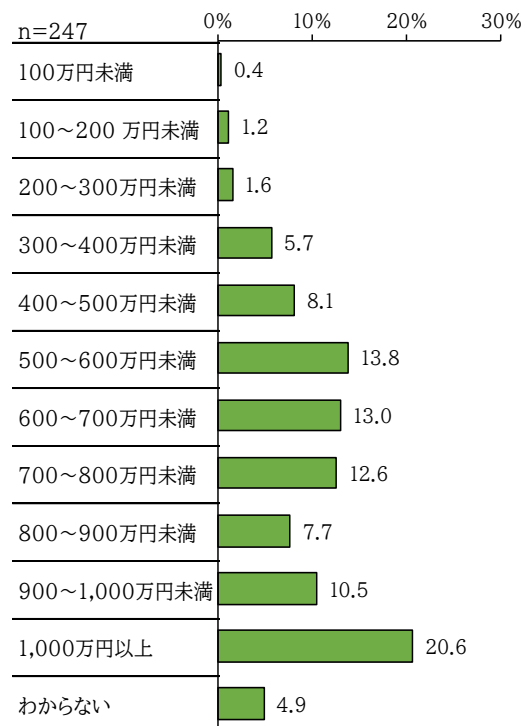
就学前

「500～600万円未満」が16.5%で最も高く、次いで「600～700万円未満」が14.5%、「400～500万円未満」が13.2%となっています。



小学生

「1,000万円以上」が20.6%で最も高く、次いで「500～600万円未満」が13.8%、「600～700万円未満」が13.0%となっています。

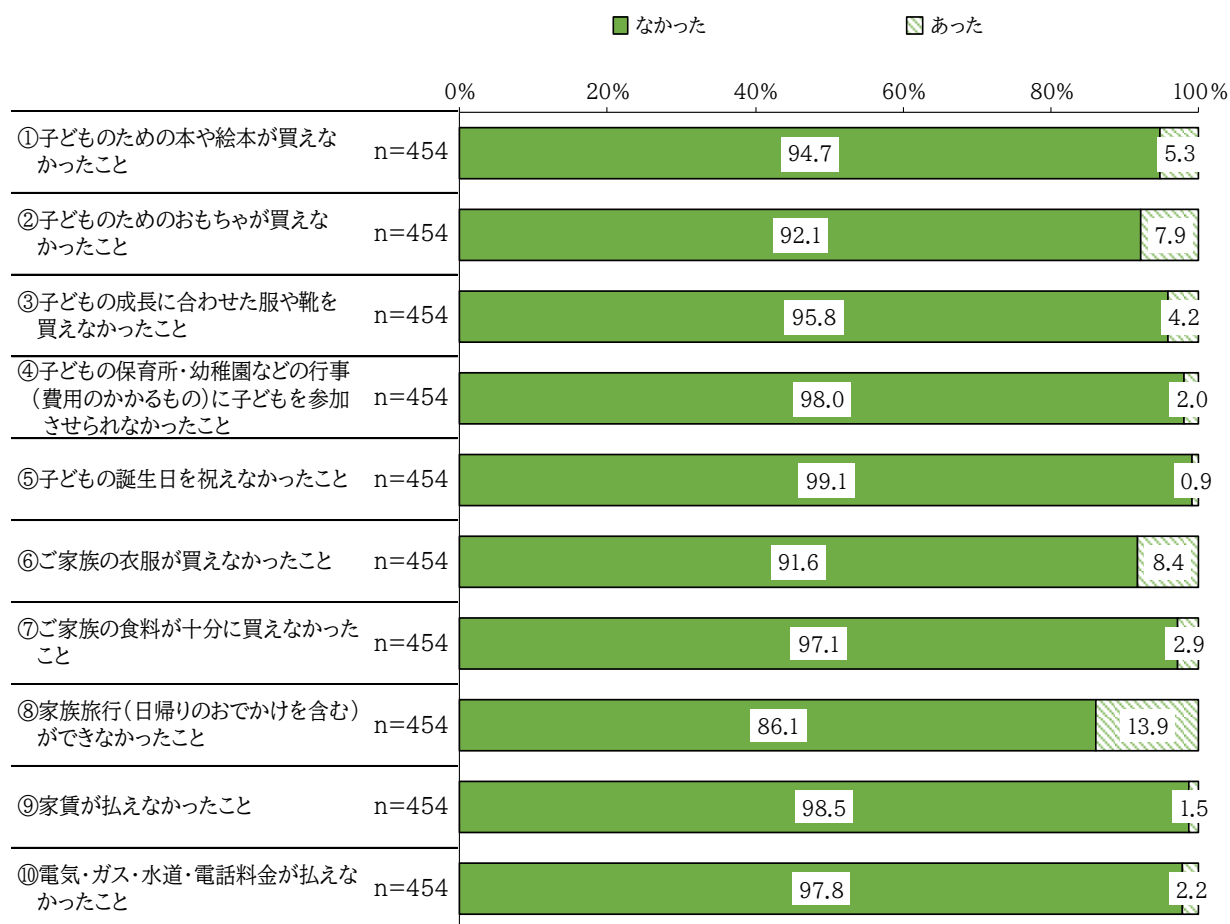


問 あなたの世帯では、過去1年間に、経済的な理由で、次のようなことがありましたか。下記①～⑩の項目について、それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

【就学前:問41、小学生:問29】

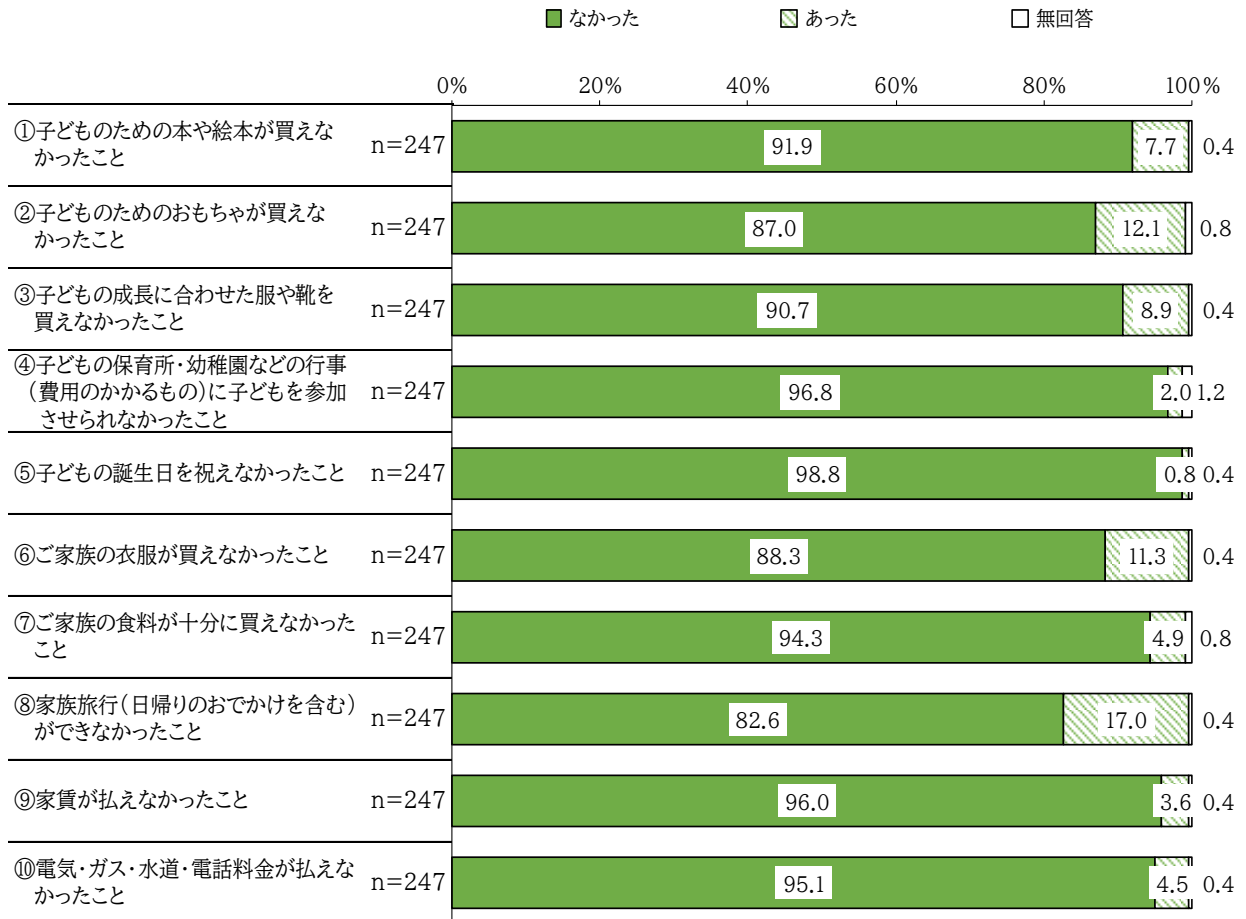
就学前

「⑧家族旅行(日帰りのおでかけを含む)ができなかったこと」が「あった」(13.9%)で割合が高くなっています。



小学生

「②子どものためのおもちゃが買えなかったこと」「⑥ご家族の衣服が買えなかったこと」「⑧家族旅行(日帰りのおでかけを含む)ができなかったこと」が「あった」(12.1%、11.3%、17.0%)で割合が高くなっています。



Ⅲ 自由意見

問 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。 【就学前:問42、小学生:問30】

就学前

1. 保育園・幼稚園(68件)

①保育園の入園・退園条件(10件)

- 第二子以降出産時、上の子が3歳児クラス未満の場合は保育園から強制的に退園となるが、継続登園させてほしい。名古屋市などは継続登園可能。子育てで一番大変な時期に上の子も退園となると負担が大きい且つ、保育園に通うことで多くを学んでいた子どもからその環境を奪うことになり、そのことを考えると第二子を作るタイミングを考えてしまう。(2人目もほしいがすぐ作れない)周りも同様の意見持ってる人が多いため、子育て支援に力を入れるならこの対応を考えていただきたいです。
- 第二子が近々誕生予定ですが、その子が上の子と同じ保育園に入園できるか、おそらくは難しいと考え、仕事の復帰に不安があります。また、数年後の上の子の学童についても、入ることができるのか不安です。
- 育休中も2歳児以下も保育園に通えるようにしてほしい。それか、休園扱いにしてほしい。いちいち退園になって、また入園手続きするのが大変。令和6年4月からやってほしいです。

②保育の質(21件)

- 食物アレルギーがあるので、対応食や、始めから使っていない給食の園を増やしてほしい。
- 保育士、幼稚園教諭が、園に十分配置されるようになってほしいです。現場の先生方の負担を考えると、補助の先生でももう少し配属されれば、お一人の負担が減り、保育や教育の質の向上にもつながると思います。
- 教育として、保育所等でも小学校または、さらなる先を目指して、英語や、身体を使ったスポーツをどんどん進めていくべきである。

③延長保育・預かり保育・早朝保育(6件)

- 早朝保育の時間を早めてもらえると助かります。7時から預けられると通常の出勤時間に間に合うため。
- 町外で共働きをしており、満3歳までしか残業免除されない職場のため、今は1時間残業すると19時の保育園お迎えに焦りを感じ両立が難しいと気持ちが折れそうになることが度々あります。近隣の市のように、20時まで預かってくれる保育園があるとありがたいです。金曜日だけとか、まずは週1回からでも大丈夫です。延長預け入れの時は夜ご飯の提供も合わせて検討をお願いします。料金は食事代込みで1回1,000円くらい、私はもう少し高めでも利用したいです。
- フルタイムで共働きのため習い事をさせてあげられない。習い事をさせるために、働き方を変えるのも困難。そのため、保育園の延長時間に英語や体操、ダンス、プール等の教室を開いてほしい。

④保育環境の整備(10件)

- 教育・保育環境の施設が古いので建て直しをしてほしい。またその際は最新のシステム等を取り入れてほしい。
- 児童館も保育園の建物も古く感じるので地震などが少し心配です。
- 町の保育園の建物を建て替えてほしい。もっと広くしてほしい。

⑤施設数の増加希望(5件)

- 保育園などでいいから、0歳児から預けられる場所が増えてくれると働きやすくなるため嬉しい。
- 町立、私立どちらでもいいので幼稚園を町内に増設してほしい。
- 一時預かり、一時保育が可能な施設を増やしてほしいです。

⑥保育士等の就労環境(16件)

- 生路保育園は先生の人数が少ないと思います。子ども達が怪我をして、みてられなくてすみません。って言うくらいなら、もう少し先生の人数増やすべきだし、遊具に登るための台がビールケースを使用してるのも、ありなんですか。それで怪我をして病院行ったことがありますがいまだに、保育園で使用してますが。
- 保育士を増やしてほしい。目が行き届いていないように思う。
- 子どもを保育園に預けていますが、保育士の数が足りていないと感じます。子どもがどのように日中過ごしているのか知りたいですが、先生が多忙のためコミュニケーションがとりにくいです。朝、子どもを送りに行ったときに泣いている子どもがいても、先生の目が届いていない時があります。先生方への不満ではなくて、保育士の数がすごく足りていないことを伝えたいです。

2. 小学校(5件)

①教育の質(4件)

- 学校や保育園での必須物販(お道具箱、はさみ、ノート、制服類、などなど)を全員に支援してほしい。
- 町全体としてICTによる業務の効率化などが図られていない。学校現場でも同様にICT活用があまりなされていない。前町長は学校現場に対する施策がたくさんあった。何度も足を運んでいた。現町長が何をやろうとしているのか全く伝わってこない。学校現場に足を運ぶところからやってもらいたい。教育に力を入れない行政に魅力を感じない。
- ランドセルが重くて値段が高いのも気になるので、武豊みたいにリュックもOKにしてほしいです。

②教育環境の整備(1件)

- 教育・保育環境の施設が古いので建て直しをしてほしい。またその際は最新のシステム等を取り入れてほしい。

3. 放課後児童クラブ(学童)・放課後子ども教室(12件)

①運営基準(12件)

- 高学年4～6年生の放課後が心配です。仕事と子育てを両立するために安心して預けられる場所があると良いです。
- 放課後児童クラブの利用を拡大してほしい。定員がいっぱいで長期休暇に入れれないのは本当に困る。
- 放課後クラブの待機人数が多いと聞きました。入れなかったらどうしようと不安があります。兄弟児が入院などした時にサポートを頼める人がおらず心配です。放課後クラブで有料のお弁当や給食を出してほしいです。

4. その他の子育てサービス(47件)

①一時保育(一時預かり)(6件)

- 2歳からは動きまわるし、2人目妊娠中で一人で子育てが大変でした。産前産後に保育園に預けられる制度がありますが、私はつわりが辛かったのでつわり中に子どもを預けたら良かったと思いました。
- リフレッシュ保育の日数をもっと増やしてほしい。
- 希望するときに気軽に一時保育が利用できるようになったら、とてもありがたいなと思います。

②休日保育(2件)

- 祝日預け先がないのは時代に合っていない。また、土日が急な仕事等での預け先があると安心して働ける。働けと行政は言うが、実際やっていることは働くなと言っているようなもの。そんな矛盾に気付いていないのが問題。支援云々言う前に自分等の仕事内容を見直し理解し直してほしい。充実した支援はそれから。土台から子育てに寄り添っていない。
- 保育園の標準時間内より小学校の下校の方が早くなると単純に働き方を変えたりしないといけなくなるので困る。長期休みのみの預かり枠も作って増やしてほしい。町単位の問題ではないだろうが、単純に共働き世帯が多い現代で定時より下校が早いということが問題では。

③病児保育(6件)

- 病児保育の預かり時間の延長。
- 病児保育の人数の拡大をしてほしい。
- 病児保育の利用へのハードルの高さが気になります。突然の体調不良に病院での診察、証明、その後やっと予約。利用したくても、やっとお昼になってしまうと思うと利用できません。

④子育て支援センター(6件)

- うららんをたまに利用します。おむつ用のゴミ箱を設置してもらえるととても嬉しいです。おむつを持ち帰る用のゴミ袋、うららんを利用するために購入しています。ショッピングモールなどはゴミ箱が設置してあるので、持ち帰る用のゴミ袋は基本的に不要です。
- 出産してから美容室や歯医者になかなか行けません。今は一時保育を利用したりして行っていま

すが支援センター等に託児付きの出張美容室や歯医者さんなどがあると人気が出ると思います。

- 祝日に利用できる支援センター等の場所がほしい。

⑤児童館(6件)

- 児童館は学童の子が大半のエリアを占めているので入りにくい現状です。園終わりに気軽に立ち寄れる場であれば嬉しいです。
- 育児で大変なときや悩んだとき、支援センターや児童館で先生方が話しかけてくれたり、家では余裕がなかった私の代わりに子どもたちをたくさん褒めてくださって何度も救われた経験があります。児童館が地区ごとにあることや保育園の園庭開放は地域の交流もできてとても良いことだと思います。上の子は私が働いていなくても近くの保育園に入ることもできて、東浦町に引っ越してきて本当によかったです。ただ、児童館も保育園の建物も古く感じるので地震などが少し心配です。
- 長期休暇(夏休み、冬休み、春休み)に児童館へ通う子どもに昼食を用意するサービスを行ってほしい。有償で構いません。

⑥発達支援(障がい児)(3件)

- 東浦町の子育て支援に関することには充分満足しています。ただ障がいを持つ子ども、子を持つ親に対する支援、事業所の環境などにも、もう少し目を向けていただきたいと考えています。
- 障がい児保育、インクルーシブ教育に力を入れてほしい。障がいがあっても、町立保育園で受け入れられるように体制を整えてほしい。
- 障がい児を抱えた家庭の場合、共働きをしにくい環境となり、家計的に苦しいまではいかないが楽はできない状況となりますし、健常児の子どもと比較するとさらなるハンデを背負っているように感じます。健常児と同じ時間くらい施設なりで子どもをみていただけるのであれば、とても助かります。

⑦保健センター(1件)

- 保健センターなどで保育園に通ってない子どもも給食を食べられると嬉しい。その時に、食べさせ方などの相談指導が一緒にできると嬉しい。保護者と一緒に遊んでご飯食べて遊ぶの流れを 11 時頃から 14 時頃までの時間帯で週に 1 度程度あるといいなと思った。

⑧産婦人科(1件)

- 東浦に出産のできる綺麗な産婦人科があると嬉しいです。

⑨施設(屋内施設等)(11件)

- 日祝で屋内で身体を動かせる施設がほしいです。雨や真夏、真冬などお外に行けない時に、ストレスを発散させてあげたいです。町外ですが、碧南市では児童施設が日曜と祝日にもやっており、ありがたいです。平日仕事だと町内の児童施設を利用する機会が限られてしまいます。
- 雨の日に遊べる場所がほしい。体育館の無料開放等の屋内で活発に遊べる場所がほしい。
- 子どもの室内の遊び場を支援センターや児童センター以外にもほしい。キッズスペースが充実してたり座敷のある飲食店がもっとほしい。・オムツとかおしりふきとかのたくさんないと困るものの割引券などがあるとありがたい、消耗品でお金をたくさん使わないといけなくて娯楽に回せるお金

が少ない。

⑩その他(PTA 等)(5件)

- 保育園の役員は、町の方がやってほしい。
- 小学校の PTA、保育園の保護者会など法律的にも任意の加入団体であり本来保護者に入退会の選択の自由があるはずが、東浦町の場合全員強制加入になっているところが問題である。保護者によっては精神的、肉体的に大きく負担になる場合がある。保護者の負担は家庭での子育てに影響する。希望者だけの加入にするべき。
- 保育園の保護者の会について、石浜西保育園に関しては外国籍の親やシングルの親は免除になっており、少子化の影響もあるが強制的に役員にされること、ボランティアの割に負担が多いことについてもう少しどうにかならないのか介入していただきたい。

5. 保護者の支援(56 件)

①経済的支援(42 件)

- 子どもの教育にお金がかからないと助かります。現金支給ではなく、学校に通うことにお金がかからなかったり、習い事や買い物で使える商品券など子どものために使えるものを配っていただけるとすごく嬉しいです。
- 未就園児の保育料の基準を下げしてほしい。生活がままならないので仕事をしたいが保育料が高くて預けられないです。
- 生活費を助けるクーポン券の発行は大変ありがたいです。

②相談支援(2件)

- 町内の保健師さんに気軽に質問が出来るアプリや、メール。
- 相談窓口はたくさんあるが自分から電話をすることとなるとハードルが高くなる。社会から孤立しているママのためにも事業の一環として電話をするというのは、どうだろうか。もしかしたらこれが子どもたちを守ることに繋がっていくのではないだろうか。

③送迎(3件)

- 保育園の迎え時間が 3 時から 4 時にならないか。早朝を 7 時からにしてほしい。
- 通学に関しては夏の暑い時期だけスクールバスを利用できればいいのになと思います。例えば、うららを夏の間(7月・9月)だけ小学生用(中学生もかな)にも運行するとか。時間と気温をふまえて、せめて下校時だけでもスクールバスになってくれるといいな、と思います。バス内に取り残される心配もあるので、そこは確認を徹底する前提で。(利用者は保護者のバス停までのお迎え必須とか)
- 将来的に、毎月のオムツ定期利用サービス、習い事の送迎サービス(民間可能)や、皆んなが子育てしてみたいより良い町になるよう、取り組んでほしい。明石市ほどではないが、魅力ある支援が必要と思います。

④情報提供(7件)

- 認可外の保育園についての情報が少なく、認可外の保育園を探すのに苦労した。
- 子育て支援の少なさ、名古屋市のように子育て支援カタログなどあったら良い。
- 子どもの保育園、幼稚園、小学校の情報や、地域のやっているイベント、地域のやっている習い事、子育て支援の情報を収集するのが非常に困難だと感じます。結局は、親の交友関係によって得られる情報に大きな差があると感じています。園を利用している方の口コミをもっとオープンに見られたり、子育て支援情報もインターネットで見れたり、地域の情報もインターネットで見られたりすると良いと感じています。支援センターに通って、職員の方や、他の保護者の方と仲良くなれないといきつけないような情報、園や学校の他の保護者との交友関係がないと知ることができない情報が多すぎるなど感じています。

⑤職場支援(2件)

- 育てながら働く(育児に専念したいのに働かなければいけない)ことにもう少しスポットが当たればと思います。町だけでは難しいでしょうが。会社も法令通りやっていたら良いという考えです。働き辛い、子育てができない。時短勤務もせめて小学生の間まで選べるとか、看護休暇を小学生も利用できるとか。子ども誰でも通園制度も一時保育と何のかわりがあるのか分かりません。かわるがわる来る子の不安定な気持ちに在園児も戸惑いそうだなと思います。いろいろな制度が増えて一見子育てしやすそうに見えるかもしれないけれどズレている。本当に必要な支援をもっと実際子育てをしている家庭やこれから産む世代に聞くべきだと思っています。
- 両実家が遠方のため、産後は誰に助けてもらおうかとても悩みました。ファミサポやベビーシッターなど考えましたが、買い物をお願いしたり他人が家に上がりキッチンなどを利用することがどうしても自分の中で許せず、結局主人が仕事を調整して頑張ってくれました。男性が育休(3ヶ月程度)を取る環境、育休後は残業せずに帰宅できるのが普通になってほしいと切に願います。夫婦一緒に子育てして成長を喜び合いたい。

6. 地域環境(34件)

①遊び場・公園等の整備(14件)

- 車を気にせず、自転車(ストライダー)などの練習場所があってほしい。
- 私の住んでる近辺には歩いて行けるところに公園がない。小さくて良いので少しあるとよい。15分ほど歩くとあるが、そこまでの道のりも歩道がなく、車がよく通るので危ない。仕方なくまめつき川の川沿いを散歩するが、両サイドが、川か、土手で、自由に歩かせられない。子どもが増えてきている地域なので、ぜひ公園を作ってほしい。
- 公園の整備と遊具を充実させてほしいです。

②歩道等の整備(14件)

- 小学校への通学路の安全確保に真剣に取り組んでほしい。
- 東浦町の道が狭い、狭い道に歩道がない、道が狭くても、車は通る、という状況で、子どもが歩くには安全面が心配である。

- 通学路などの歩道の整備。(ガードレール設置や道路幅の見直しなど)

③イベント(3件)

- 夫婦参加型の町でのセミナーの平日や土曜日開催は見かけたのですが、日曜しか休みがとれなかった時期だったので、参加したことはありませんでした。子育てに関する夫婦間での気持ちのすり合わせを行うような取り組みが日・祝日にあれば、参加させてみたかったです。
- コロナの影響でいろいろなことが中止になりお祭りや交流の場が減ってしまったように思います。「最近復活してきましたが、その時に経験できなかったことを少しでも経験できる場があればいいなと思います。今の年長さんや小学生一年生などは保育園で親子で一緒に取り組むことなどは全くできませんでした。東浦町には広い公園がたくさんあるのでそこを活かしてイベントがもう少しあるといいなと思います。
- 近所の方とあまり顔見知りになる機会がなく子どもたちがこれから通学したりするのに防犯面が気になります。難しいかもしれませんが町内や地区の人とふれあったり関わることでできる行事やイベントや、細かい地域ごとの憩いの場等ができるとうれしいです。

④地域での交流、見守り(3件)

- 小学生の下校について。女の子でも男の子でも学年はわかりませんが1人で下校している姿を良くみます。今の時代、何が起こるか分からないからこそ何か起こる前に対策した方が良いのでは。この先、生路小学生に通わせるのが不安と言う声が出ています。朝も遅刻の子が1人で歩いてたりする姿を見て良いのかなと思うことがあります。何か対策をお願いします。
- 子育て世帯が子育てグッズや服など使いたいもの、使わなくなったものを有償無償問わず交渉で譲り合えるようなシステムがほしい。需要と供給がマッチすればゴミも減るし、安価で手に入れば嬉しい。もう使わなくなった服やおもちゃを他の赤ちゃんに使ってもらえるのも嬉しいので。そういう場を町として定期的に設けてもらいたい。
- 以前住んでいた東京都荒川区には子育てに関する洋服やおもちゃなどを交換したり、寄付したり、無料で頂いたりする場を子育てセンターのような所で定期的に行ってくれており、非常に助かっていました。そういう場があったらいいなと思います。

7. 医療・保健(8件)

①医療等の充実(6件)

- 子どもが3人います。大学資金の貯蓄を優先して生活しているのであまりお金に自由がありません。大学教育料無償化や子ども医療費無償化等支援をしていただくと助かります。
- 医療費を他の市町村のように、高校まで無償にするなど、子育て世帯への負担を減らし、未来の子どもたちの健康を守ってほしいです。
- 認可保育園の医師の常駐。(薬をあげる際の制約が多い)

②健診・訪問等の充実(2件)

- 3歳健診の目の検査と耳の検査が難しいと思った。年齢にあっていない。
- 里帰り出産時など他府県で妊婦健診を受けた場合、妊婦健診の補助券を全国どこでも使用でき

るようにしてほしいと思います。「産後保健センターや役場に行けば返金します」となっていますが、保護者と行政どちらにも負担になっているように思います。はじめから全国共通で使えるようにしてもらえれば双方の手間がない。本当は妊婦健診も健康保険証が使えて、その上でさらに妊婦健診補助券があればもっといいと思います。保育・教育にいたる前の妊娠・出産に関しての意見ですが。

8. その他(35 件)

①町職員・専門職の対応(3件)

- ニュースになる不適切保育の現場は民間経営の保育所が多く、公営の保育所はあまり聞かない気がします。民間委託するのであれば役場の監視機能はしっかりしてほしいです。
- 子どもの発達や成長に詳しい小児の心理カウンセラーの方に常駐していただきたいです。
- 3歳までは、町内ですが別の保育園に通わせてました。その園での経験ですが、その園でのベテラン先生が園児や保護者に対して差別することや、掃除道具を持ってただけで一緒にいる新人先生に話しかけまくり、保護者や園児が来ても無視する。親身になって対応してくれる新人先生たちには、保護者に対して適当に合わせればいいようなことを話してるのを耳にしたことがあり役場に電話してやろうかと思ったこともあります。公務員の方も大変だとは思いますが、社会で働く人それぞれが、年々就業時間は短くされ、仕事は増える一方なのは一緒だと思います。市民である人(子ども含め)全ての方に優しく対応できる態勢をのぞみます。

②支援の充実(11 件)

- いつもありがとうございます。子育てか、福祉かではなく社会全体で子育てができるゆとりと環境になれたらなと思います。
- 子育て支援の充実を希望します。周辺自治体に負けない支援策をしていただけるとありがたいです。
- 他の市や町があるように東浦町にも子育て支援が拡充されて、子育てに優しい町になってほしいです。

③アンケートについて(4件)

- 質問が長過ぎる。
- こういった手軽なアンケートは、忙しい世帯への配慮とまた、町の改革への意気込みを感じ、嬉しく思いました。
- そもそも働きながら子育てしてる世帯にこんなに時間のかかるアンケートを実施すべきではない。回答する時間がない。アンケートを小分けに送付できるようにすべき。アンケートの未就学児1,000人無作為抽出は母数が少なく、バイアスのかかった回答になるのでは。本当に民意を反映した政策を行いたいのであれば、全世帯に回答してもらうべき。それでも、回答する余裕のない家庭などのバイアスは一定数かかるはず。

④その他(17 件)

- 親も子どもも安心安全で過ごすことができる社会にして頂きたいです。

- もっと福利厚生をしっかりとって住み良い町にしてください。
- もし今後、民間企業を取り入れていくのであれば、役所として定期的な指導や、現場の保育士が定期的な研修ができる場の提供などや上記で挙げられていたことに加え、特にトップの方は保育士として下積みをしていらっしゃる場所を起用していただきたいです。役所の管轄から民間企業に移行した施設で、保育士の免許を取得のみして、ほとんど現場で働いたことがない方がトップのところを知っていますが、上の方が現場の状況の理解ができていないようで、園長と保護者の間にも溝があるようでした。もし民間企業を検討中であるならば、子どもたちを安心して通わせることができる企業の起用をお願いします。

小学生

1. 保育園・幼稚園(11件)

①保育の質(4件)

- 障がい児がいるため、保育園に通っていた頃は加配がないなど、他の地域より厳しいと感じました。
- 就労証明を厳しく見てほしい。実際には休みだったり、リモートで家にいるのに、いつも通り迎えに行く話を聞く。正直者が馬鹿みたいになるのは、やめてほしい。
- 保育の現場で、一部の保育士が子どものより良い成長より、タスクに追われてイライラして保育にあたっている。それによりその職場で働く人も萎縮し、本来子どもための保育が、その保育士のご機嫌取りに時間を割いている現状がある。視察に行くといい顔をするので、実際働いている人からお困りの声をすいあげて、その上の方が職場教育サポートをしてほしい。

②延長保育・預かり保育・早朝保育(1件)

- 子育てに対する行政のサービスが、よく分からない。保育園、学校や児童館の受け入れ時間がもう少し早いと有難い。

③保育環境の整備(3件)

- 保育園はトイレの数が少なすぎるのではないかな。
- 昨今の地震などから保育園や学校などの建物の老朽化が気になる。
- 保育園、小学校、中学校と自由に使えるお金が少ないと聞きました。建物も古いですね。災害時の避難場所となることも見据えて対策をお願いします。

④保育士等の就労環境(3件)

- 保育士、保健師、看護師が少ないと思う。保育士、学校の先生も若い。頑張っているのは伝わるが、子どもも多様化している。全体的に人員を増やしてほしい。毎年新人なのも心配になる。
- 保育園や学童などの職員の増員や賃金の見直しをもう少し検討して頂きたい。
- まずは、保育士さんや先生の給与アップ、労働時間の改善が最優先だと思います。家庭から女性が、社会を支えていると感じます。子どもを預かってもらえる環境を整えば安心して働けるし、経済的にも余裕が出るのでは。

2. 小学校(23件)

①教育の質(13件)

- 学校のオンライン対応も遅すぎるため、コロナやインフルエンザの登校停止時にもオンライン授業などでの対応がありません。
- 各学校に別室登校できる体制を整えてほしい。
- 部活や学校での劇、運動会、全てにおいて簡素化ばかりで、子どもの成長に必要な物、時間が奪われていて、すごくこの先が不安になっています。先生たちの負担は分かりますが、カットするばかりでなく、子どもたちに必要なことは工夫をして復活していただきたいと思います。

②教育環境の整備(6件)

- 保育園はトイレの数が少なすぎるのではないか。
- 保育園、小学校、中学校と自由に使えるお金が少ないと聞きました。建物も古いですね。災害時の避難場所となることも見据えて対策をお願いします。
- 小学校の体育館に冷房を設置してほしい。夏の体育や、地震等の避難場所になった場合、熱中症の危険がありすぎる。少しでも意見を反映していただけるとありがたいです。

③教師等の就労環境(4件)

- 子どもを授かり初めて、教職員の方々のご苦勞等を知りました。また、それに対する対価があまりにも低いことも同時に知りました。教職員の方々の環境を整えてあげてください。
- 学校教育者(小学校教員)の質が悪すぎます。学校の対応も悪いです。教育委員会の対応もとても残念でした。本当にどうかしてほしいです。
- 学校はまずは勉強をする所、先生は教える場所です。子どもたちは学ぶ姿勢が必要ですが、特に低学年では子どもたちをどれだけ惹きつけて楽しい授業をするかが大切なのは、と思います。表情、話し方、動作など、再確認したり、若い先生の授業を見たりして、子どもたちが笑顔で生き生きしたクラスになるようにしてほしいです。

3. 放課後児童クラブ(学童)・放課後子ども教室(21件)

①運営基準(18件)

- 小学生の子どもを、夏休みや冬休み、春休みなど、住んでる地域の児童クラブが満員で預かりが難しいため、働きたいが就労することが難しい。一人っ子なので、高学年でも一人での長時間の留守番は大変心配で、本人も嫌がるため、大型の休みの時だけでも、受け入れの枠を増やしてほしい。
- 児童クラブでの給食提供、または宅配弁当の注文をさせていただきたいです。
- 昨今共働きが主流で学童を希望する家庭が増えています。しかし、施設自体が狭く定員が少ないです。現にもう1人の子どもは学童に入れませんでした。定員を増やすだけでなく施設を拡張して頂きたい。

②活動内容の拡充(2件)

- 学校や保育園、児童館で有料でもいいので習い事のような活動をしてほしい。名古屋のトワイライトとか羨ましい。
- 指導者はどうするかという問題があるのは充分承知しているが、高学年になったら部活動のような、日常的に学区内で学校の友だちと体を動かしたりできるような活動があるといいなと思う。

③職員等の就労環境(1件)

- とてもお世話になってますので学童の先生への手当てを増やして頂きたいです。

4. その他の子育てサービス(13件)

①一時保育(一時預かり)(2件)

- 保育園など親が用事がある時は時間に融通を持たせて預かってほしい。
- 何かあった時に子どもの預け先に困る。兄弟の通院や習い事の時など数時間預かってもらえる場所があると心強い。有料だと働いていないと気軽には利用しにくい。

②児童館(3件)

- 学校や保育園、児童館で有料でもいいので習い事のような活動をしてほしい。名古屋のトワイライトとか羨ましい。
- 働いていなくても急な用事などに対応できるように、児童館や小学校での預かりができるようにしてほしい。
- 児童館の別棟が古そうで、地震で倒壊しないか心配。新しい建物に建て替えられないか。

③発達支援(障がい児)(4件)

- グレーゾーンの子達が増えていて困ってる気がします。我が子も高校進学迷うと思います。グレーゾーンの子達のための支援学校が出来たら良いなと思います。
- 子どもに軽度の障がいがあります。障害手帳は非該当です。親戚が近くにおらず、児童クラブを拒否され短時間勤務に変更しました。ファミサポ利用しましたが、送迎や日々の調整の負担もありました。ハンデがある子どもを育てていても、両親の支援がなくても、フルタイムの仕事と両立できるようになるとうれしいです。
- 障がい児の親もフルタイムで働けるように支援してほしい。放課後デイサービスの早朝延長利用できる施設をお願いしたい。障がい児の家庭は皆裕福な家庭だと思ってるのかと不思議に思う。放課後デイサービスについても東浦町として注力してほしい。

④産婦人科(1件)

- 子育て支援と言いながら、町内に産婦人科がない。残念。

⑤施設(屋内施設等)(1件)

- 東浦図書館では、良い本がほとんどありません。シリーズ物も揃っていません。Z 会で子どもの学習をしています、Z 会お勧めの本、教材として使用している本が全くといってありません。ぜひ参考にして頂き、図書館を充実させて下さい。

⑥その他(PTA等)(2件)

- PTA活動について、共働き世帯が増えたこと、母子父子家庭や介護をされている家庭もあるため、活動する必要があるのかを見直して頂きたい。(PTAが廃止された自治体もあるため。)廃止をした分、気軽に保護者が学校へ出向くイベントなどがあると参加しやすいのでは。
- 小学校のPTA活動が半ば強制的になっており、何らかの時間の拘束をされます。例えば、PTA活動に参加出来ない場合は、個人で代わりの人へ変わって頂く相談をしなければならないことが必須になっている仕組みです。それは、おかしなことだと思います。活動の時間帯がバラバラなために、就業時間を削って予定を立てなければいけない。母子家庭や父子家庭では、それがとても苦痛です。共働き世帯も多いと思いますが共に正社員である場合ですと、簡単に融通は利かないと思われまます。

5. 保護者の支援(28件)

①経済的支援(16件)

- 高校生まで医療費無料を早くやってほしいです。給食費は無料又は補助していただき、質を上げてほしいです。(食材や調味料等安心な物を使用してほしい)
- 子育て世帯に対しての金銭的支援が少なすぎるように感じます。子ども手当の収入による金額の違いにも不満です。
- 教育費用の補助が充実してほしい。高校、大学受験、塾の補助をもっと充実してほしい。

②相談支援(2件)

- スクールカウンセラーと保護者が容易に繋がれるような仕組みにしてほしい。相談などをメールで出来るとか面談の予約をWEBで行えるとか。
- ファミリーサポートのサービス内容が明確に記載された冊子等の案内を見たことがなく、聞きに行けば教えて頂けるのかもしれないですが。聞きに行くことに少しハードルが高く感じてしまい利用しませんでした。困った時に受けられるサービスについて、気軽に分かりやすく提案してもらえるようになるとありがたいと感じました。

③送迎(3件)

- 低学年に関して、学校から習い事までの送迎の一部負担などしてほしい。
- 仕事で遠方にいる時ですが、学校での体調不良での呼び出しにすぐに対応出来ないことがあります。ファミリーサポート等の送迎サービスで学校から病院併設の病児保育への送迎するサービスはあるのでしょうか。
- 2人が別々の保育園となり、送迎する時間の融通が効かない。2歳児と年長だったが、緒川新田と石浜西に入り、仕事の始まりに書類上の通勤時間でギリギリ間に合う時間で計算され、片方の保育園は9時を過ぎるし、私も仕事に多々遅刻していて何度もお願いして、朝だけ8時から登園できるようになった。どちらの保育園も、自分の保育園に先に送り、帰りも自分の保育園に先に迎えに来る前提で話を進められとても困った。保育園が大変なのはわかりますが、2カ所に送迎する場合、朝や夕方は道が混んでいて、Google 通りには帰れません。朝は送迎車が多く、駐車場待ちもあります。保育園の先生にも、職場にも何度も頭を下げ続けた一年でした。私はそんなに周りに

迷惑をかけているのかと何度も思った。正直心が何度も折れかけました。今後、こんな思いをする人がいないように、行政に適切なシステムを構築してもらいたいです。

④情報提供(6件)

- 東浦町ふ保育は充実しているが教育の充実を感じる事が少ない。来年度から中学生になりますが、制服や部活動などの情報発信が遅く心配になることが多かったです。制服についても東浦町だけ販売店を限定させたり、メーカーまで完全指定しているようで他の市町よりも高額になっているようです。他の市町はコンペ方式などの経緯などしっかり情報発信しています。
- 小学生ではさほど悩みはなくなったものの、乳幼児期の時の方が孤独感や困ることなどがあったように思います。後からこんなにも子育て情報など紹介してくださっていたことに気付きましたが、引越してきた当時など知る術がなかったことも調べる余裕もなかったことが大きいのかもかもしれません。
- 情報の発信に関して良い方法があれば考えてもらえると参加や協力などが行いやすいと思います。

⑤祖父母・友人等の支援(1件)

- 近くに住んでる祖父母にも協力してもらえることが当たり前とされてるが、祖父母も仕事や予定があつたりと毎日お願いできる訳でもない。また自分の親ではないとお願いするのも気を使う。少し多めにお金を支払ってでも煩わしさから解放されるならそれはそれでありがたい。

6. 地域環境(25件)

①遊び場・公園等の整備(9件)

- 子どもだけで日常的に出かける近所の公園の遊具が少なすぎる。(空きスペースは十分ある)子どもにとって魅力のある公園にしてほしい。
- 公園が少ない。
- 自転車を練習する公園がない。ボールで遊べる公園がない。

②歩道等の整備(8件)

- 教育とは別だが、通学路に危険な箇所が多い。道路の刻印が剥がれてる、薄くなってるなど、町内探せばきりが無い。白線などが消えると、本来通らないといけ無いところを通らずに内側を走ってきたして危険。危ない箇所は違った色を塗るなどしてほしい。運転者の5割以上は交通規則わかっているのか、という運転をしてる人が多い。少しずつでいいが、まずはそういうところを改善して欲しい。高齢者ドライバーの事故が頻繁に起きてる中、安全に登校していても事故にあわないとは限らない。子ども達はがんばっている、大人がそのサポートをしていかないとはいけない。
- 道路が暗かったり、狭い道も多いため、遊び場は沢山あっても子どもだけで行くのが道中危険と感じることが多い。習い事も自分が送迎しないと行けないと躊躇ってしまう。防犯カメラ、街灯、見通しの良い道路、パトロールなど整備をしてほしい。
- 車の通りが多いにもかかわらず、歩道が狭く危険なので、1人でおつかいなど怖くて行かせられない。もっと安全安心で通えるように歩道や自転車道の整備を積極的にしてほしいと感じています。

③イベント(4件)

- モルックの大会に参加しています。今後もあまり運動が得意でなくても、子どもが参加しやすい大会があるとうれしいです。
- 部活の縮小やコロナ禍で地域の行事が減って、スポーツなどに触れる機会が少なく、思い出が少ない学生生活になっていると思う。5年前に、大府市と東浦町のイベントで、SASUKE のリメイクした記念イベントが行われたが、そういった試みを是非お願いします。
- いろいろなイベントを企画していただけるのはありがたいのですが、全て有料にするのは辞めてほしいです。学校の部活動などもドンドン廃止になり地域の人がやるからと全て有料、お金払ってまで部活動やる余裕なんて正直ありません。ですが今しか子どもがやれないと感じるからやろうと思っていますが、正直な意見言わせていただくと子育て世代の生活苦をわかってないですね。

④地域での交流、見守り(4件)

- 地域の中に子どもが自由に過ごせる場所が、自分が子どもの頃に比べてなくなっている。子どもだけではなく、地域の人がなんとなく集えるような場所があるといい。小さな子も、児童館な支援センターだけではなく、ご近所の多様な年代の人達で見守ってけるといい。
- 登校時にはたくさんの方の見守りがありますが、下校時はほとんどありません。学年下校の時が一番危ないです。
- 部活がなくなり、経験する機会、体を動かす機会、興味を持つ機会、他校との交流が減ってるのは残念だ。

7. 学びの環境(4件)

①習い事(2件)

- 放課後の空き教室を利用して習い事を実施は無理でしょうか。
- 町内の習い事の種類を増やしてほしい。

②学習支援(2件)

- 小学生のうちに海外留学体験させてみたい。
- 地元企業などに、寄付を募ったりうまくお金が回ることを願っております。部活や課外活動がなくなって、子ども達の勉強以外の学びが心配です。先生の負担軽減はわかりますが、業者へ委託するなどある程度活動をした方が良いと思います。子ども達が時間も体力を持て余して変な方に進まないといいです。

8. 医療・保健(11件)

①医療等の充実(10件)

- 高校生まで医療費無料を早くやってほしいです。
- 18歳までの医療費無料、もしくは負担額の上限をつけてでも親の負担を減らしていただけないなと思います。
- インフルエンザ予防接種費用の助成。

②健診・訪問等の充実(1件)

- 我が子は、発達性ディスレクシアがあることが疑われるが、学校に問い合わせても、積極的な配慮にはつながりにくかった。東浦民報 395 号には、就学時健診で配慮が必要な子どもを把握して保護者と連携していると書いてあるが、健診結果が活用されていないと感じる。早期発見、早期配慮に繋げてほしい。

9. その他(21 件)

①町職員・専門職の対応(1件)

- 無職の母親が珍しいのか保健センターの女性に不快な返答をされた。他にも子どもの健診で、日頃どうですかと聞かれたから答えただけなのに的を射ないアドバイスのようなものをされ意味がわからなかった。乳児の頃、夜間添い乳をしている、何度か目を覚ますと言うと断乳したら夜通し寝ると言われたが、確実でない方法であるにも関わらず絶対そうだからという姿勢を崩さないのが理解できない。保健師との会話中、見ているのでお話していいですよと言われたため任せていたが、子どもがよその子に殴られていた。職員何人かが見ていたのにも関わらず止めてくれず、二発目を受けた後息子がやり返そうとしたらうちの子がダメだよと注意されていた。まず先に手を出した方を注意するべきでは。

②不登校児への支援(2件)

- 我が家の長男、小学生の時、不登校児でした。学校に行けない場合の居場所や学びの確保をぜひお願いします。子どもも親も取り残され不安でした。学校いけなくても大丈夫という雰囲気と制度を整えてあげてください。
- 不登校の子どもに対する支援の充実、サポートをお願いします。成人するまで自立してほしいので。

③いじめ・暴力について(1件)

- 小学生の子ども、同じクラスに暴力的な児童がいて迷惑している。やり返さないので被害を受けるだけで具体的な解決策がない。うちの子だけでなくクラスのほとんどの保護者からクレームがいつているよう。こういった子を隔離してほしい。被害者がただ耐えなければいけない環境がおかしい。安心できない。

④支援の充実(6件)

- もっと「東浦で子育てがしたい」と思える独自のサポートがないと、どんどん子どもの数が減っていくのではないのでしょうか。逆に、知人でも引越しなどを考える際に「子育てサポート」の充実具合で市町村を選ぶ人も多いです。従来のように、近隣の市町村が始めたことを真似するだけでなく、新しい政策で取り組んでほしいです。
- 自然に接することが出来る非常にいい環境で、支援も充実していると感じています。
- 於大公園や自然学習の森、それから小学校の校庭が開放されていることなど、子どもがのびのびと遊べる環境が整っていて子育てしやすいと思います。

⑤アンケートについて(2件)

- 質問が少しわかりづらく答えにくかった。

- 私には、このようなアンケートは、町は子育て世帯への支援に前向きな姿勢であり味方であるかのような偽善PR行為にしか見えず、短慮な振る舞いであり、順序が逆のように思えてなりません。長文かつ乱文、乱筆失礼いたしました。東浦町のより一層のご発展を心よりお祈りいたします。

⑥その他(9件)

- うららバスの利便性向上してほしい。
- 小学生に上がってから引っ越してきたので子育てに関して助けがほしい時期は過ぎていますが、近隣の市町村に比べていろいろなことが遅れていると感じます。東浦町に来てよかった、住んでいてよかったと思えるような街にしてもらいたいです。
- 支援制度向上はそもそも適切な地区開発によって人口増加と循環が必要。しかしこれまでの町政は緒川新田地区など町政の中心から離れた地区においては高齢化が進む中で少子化に歯止めがかかっていない。正直打開策すら打たれていない。支援制度を見直すならばまずは町の基礎となる地域の興盛策を進めるべき、市街化調整区域など、人の流入は人的ネットワークの再構築などが見込まれるためそれら見直しが必要と考えます。